

静岡県委託事業 「令和4年度賀茂地域住民アンケート調査」

賀茂地域住民の意識調査結果

(一社) 伊豆半島創造研究所

令和5年3月

目 次

はじめに

1 背景・目的	P 1
---------	-----

第1章 賀茂地域の現状

1 賀茂地域の人口動態	P 2
2 産業の状況	P15
3 社会基盤整備状況	P23

第2章 賀茂地域住民アンケート

1 学生アンケート	P27
2 住民アンケート	P39
3 二十歳の若者アンケート	P49
4 考察	P56

おわりに	P59
------	-----

資料編

- ① 業務スケジュール
- ② 学生アンケート用紙
- ③ 学生アンケート依頼文
- ④ 学生アンケート配布先一覧
- ⑤ 学生アンケート資料
- ⑥ 住民アンケート用紙及び回答用紙
- ⑦ 学生アンケート概要版
- ⑧ 住民アンケート依頼文
- ⑨ 住民アンケート伊豆新聞掲載記事及び広告
- ⑩ 二十歳の若者アンケート案内
- ⑪ 二十歳の若者アンケート依頼文
- ⑫ 住民アンケート依頼文
- ⑬ 賀茂地域住民アンケート調査報告会案内
- ⑭ 住民アンケート概要版
- ⑮ 二十歳の若者アンケート概要版

はじめに

1 背景・目的

静岡県賀茂地域（下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町）の住民意識調査は、今回で3回目となる。

平成28年度（2016年）には、学生アンケート（小中高の最高学年が対象）及び各市町でのワークショップを行い「Work Like バランスが自慢の賀茂地域」を将来像として取りまとめた。この「Like」は、当時、流行していたWork Life バランスの「Life」は生活という意味合いであったため、もう少し個人に焦点を当てた考え方である。

令和元年度（2019年）の2回目の調査は、学生アンケートに加え、その結果を資料として一般住民アンケート、さらに20歳になる賀茂地域出身の人たちへのアンケートを行った。

本年度（2022年）の調査は、2回目と同様の調査であり、学生へのアンケートは、平成28年度に調査した小学校6年生が高校3年生となり、意識の変化を調査したことになる。

この6年間で、一般社団法人美しい伊豆創造センターが設立（2017年）され、伊豆半島は世界ジオパークに認定（2018年）、東京オリンピックパラリンピック（2021年実施）では自転車競技の会場となり、NHKの大河ドラマでは「鎌倉殿の13人」が放映（2022年）された。伊豆縦貫自動車道は、大平IC～月ヶ瀬ICが開通（2019年）した。河津七滝IC～河津逆川ICも供用開始（2023年）され、約15分程度の時間短縮となり、天城越え部分の事業化が期待される。

しかし、賀茂地域は、引き続き人口減少や少子高齢化が他地域より早く進み、多くの課題に直面しており、本年「県立高校の在り方に係る地域協議会（賀茂地区）」も始まり、今後、学校や学級の存続など、更に深刻な問題が増加していくことが予想される。

このような状況を踏まえて、新型コロナウイルス感染症による時代変化を鑑み、賀茂地域に暮らす幅広い年齢層から意見を抽出し、賀茂地域の未来を考え、今後の政策の方向性を決めていく材料とする為、実施するものである。

第1章 賀茂地域の現状

1 賀茂地域の人口動態

賀茂地域の人口は、平成2年は89,080人であったが、令和4年には、32,040人減少し、57,040人となり、平成2年比で64.0%となっている。

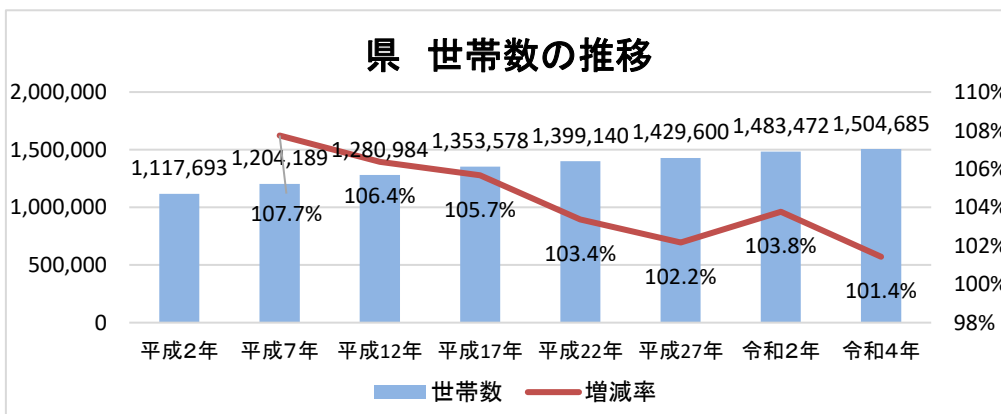
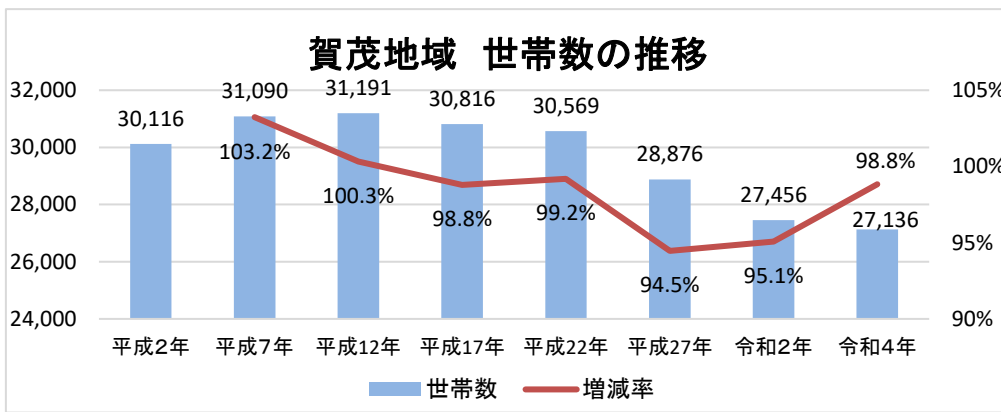
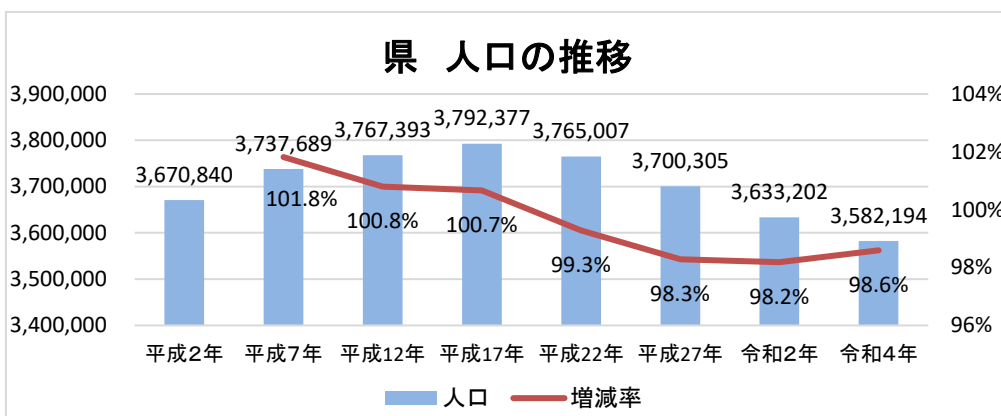
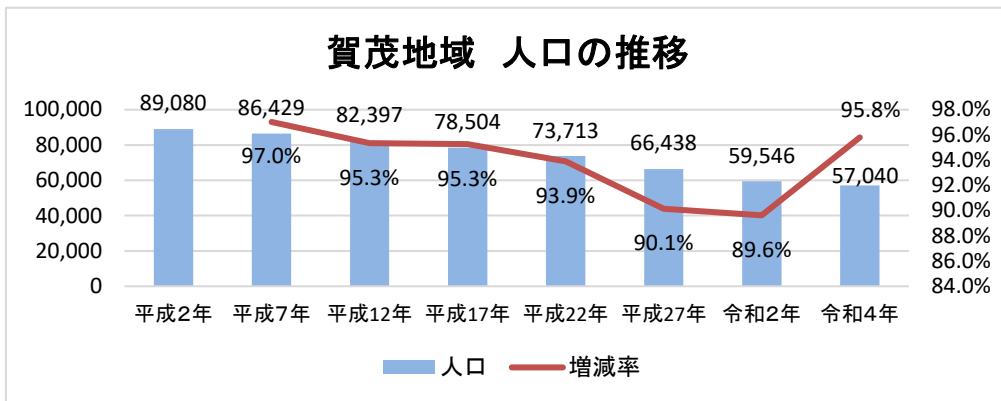
また、世帯数は平成2年比90.1%に減少しているが、人口減少に比べて減少率は低くなっている。一世帯あたりの人数は、平成2年の2.96人対して、令和4年は2.10人まで減少しているが、河津町においては、平成2年比102.9%と増加し、東伊豆町では平成2年比97%であるが、令和2年比100.5%と僅かではあるが上昇している。

<人口及び世帯数の推移>

上段：人口(人)、下段：世帯数(世帯)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和4年	対比(%)	
									R4/H2	R4/R2
下田市	30,081	29,103	27,798	26,557	25,013	22,916	20,183	19,390	64.5	96.1
	10,911	11,075	11,119	10,917	10,794	10,397	9,641	9,449	86.6	98.0
東伊豆町	16,719	16,741	15,807	15,165	14,064	12,624	11,488	11,076	66.2	96.4
	5,698	6,086	6,010	5,959	5,988	5,620	5,502	5,527	97.0	100.5
河津町	9,118	9,036	8,705	8,303	7,998	7,303	6,870	6,586	72.2	95.9
	2,817	2,996	3,024	3,022	3,029	2,919	2,936	2,898	102.9	98.7
南伊豆町	11,200	10,725	10,304	10,003	9,516	8,524	7,877	7,598	67.8	96.5
	3,503	3,632	3,675	3,728	3,710	3,435	3,314	3,305	94.3	99.7
松崎町	9,266	8,841	8,515	8,104	7,653	6,837	6,038	5,686	61.4	94.2
	2,965	2,973	2,980	2,986	3,018	2,832	2,663	2,607	87.9	97.9
西伊豆町	12,696	11,983	11,268	10,372	9,469	8,234	7,090	6,704	52.8	94.6
	4,222	4,328	4,383	4,204	4,030	3,673	3,400	3,350	79.3	98.5
賀茂地域計	89,080	86,429	82,397	78,504	73,713	66,438	59,546	57,040	64.0	95.8
	30,116	31,090	31,191	30,816	30,569	28,876	27,456	27,136	90.1	98.8
県計	3,670,840	3,737,689	3,767,393	3,792,377	3,765,007	3,700,305	3,633,202	3,582,194	97.6	98.6
	1,117,693	1,204,189	1,280,984	1,353,578	1,399,140	1,429,600	1,483,472	1,504,685	134.6	101.4

出典：平成2年、7年、12年、17年、22年、27年、令和2年は国勢調査、令和4年は「静岡県推計人口」(各年10月1日)



(1) 人口動態

人口動態の状況を見ると、令和元年から令和4年の間で、人口増減、自然増減ともに県全体も含めすべての市町で減少している。令和2年河津町で社会増減数が増加していたが、令和4年では減少している。一方、令和2年では減少していた東伊豆町、南伊豆町は令和4年では増加している。

<人口動態（令和2年2月1日現在）>

(単位：人)

市町名	人口				自然増減数	自然増減率(%)	社会増減数	社会増減率(%)
	令和元年2月	令和2年2月	増減数	増減率(%)				
下田市	21,399	20,900	▲ 499	▲ 2.33	▲ 303	▲ 1.42	▲ 239	▲ 1.12
東伊豆町	11,839	11,680	▲ 159	▲ 1.34	▲ 208	▲ 1.76	▲ 31	▲ 0.26
河津町	6,935	6,864	▲ 71	▲ 1.02	▲ 122	▲ 1.76	17	0.25
南伊豆町	8,039	7,887	▲ 152	▲ 1.89	▲ 147	▲ 1.83	▲ 24	▲ 0.30
松崎町	6,333	6,159	▲ 174	▲ 2.75	▲ 113	▲ 1.78	▲ 83	▲ 1.31
西伊豆町	7,483	7,290	▲ 193	▲ 2.58	▲ 178	▲ 2.38	▲ 64	▲ 0.86
賀茂地域計	62,028	60,780	▲ 1,248	▲ 2.01	▲ 1,071	▲ 1.73	▲ 424	▲ 0.68
県計	3,651,912	3,636,011	▲ 15,901	▲ 0.44	▲ 20,527	▲ 0.56	112	0.00

※増減数は、令和元年2月1日から令和2年1月31日まで

出典：「市区町別推計人口動態表」静岡県経営管理部統計調査課

<人口動態（令和4年8月1日現在）>

(単位：人)

市町名	人口				自然増減数	自然増減率(%)	社会増減数	社会増減率(%)
	令和3年8月	令和4年8月	増減数	増減率(%)				
下田市	19,837	19,445	▲ 392	▲ 1.98	▲ 314	▲ 1.58	▲ 78	▲ 0.39
東伊豆町	11,322	11,131	▲ 191	▲ 1.69	▲ 220	▲ 1.94	29	0.26
河津町	6,743	6,604	▲ 139	▲ 2.06	▲ 116	▲ 1.72	▲ 23	▲ 0.34
南伊豆町	7,744	7,625	▲ 119	▲ 1.54	▲ 131	▲ 1.69	12	0.15
松崎町	5,872	5,715	▲ 157	▲ 2.67	▲ 124	▲ 2.11	▲ 33	▲ 0.56
西伊豆町	6,952	6,753	▲ 199	▲ 2.86	▲ 144	▲ 2.07	▲ 55	▲ 0.79
賀茂地域計	58,470	57,273	▲ 1,197	▲ 2.05	▲ 1,049	▲ 1.79	▲ 148	▲ 0.25
県計	3,610,258	3,586,224	▲ 24,034	▲ 0.67	▲ 23,155	▲ 0.64	▲ 879	▲ 0.02

※増減数は、令和3年8月1日から令和4年7月31日まで

出典：「市区町別推計人口動態表」静岡県経営管理部統計調査課

令和3年の賀茂地域の出生数は、183人であり、遞減傾向に変化はなく大変危機的な状況にあると思われるが、下田市では、令和2年と比べると12名多くなった。

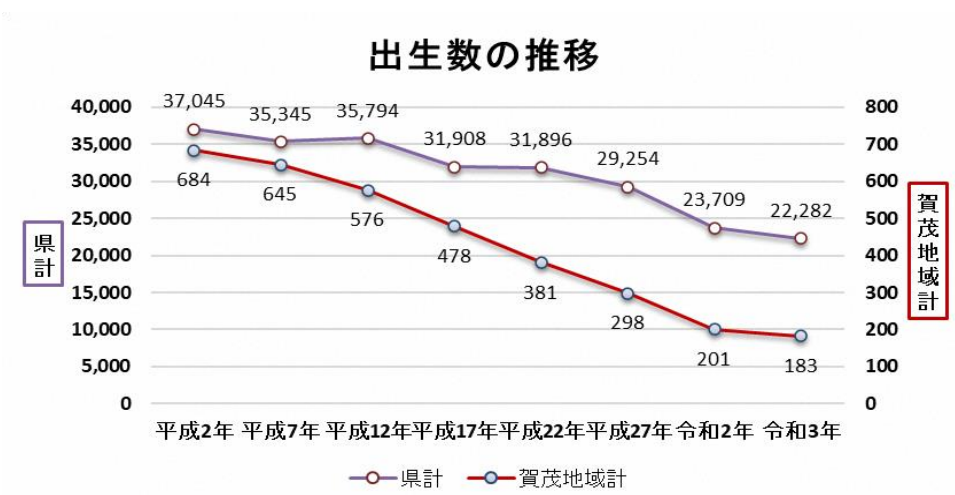
<出生数の推移>

(単位：人、%)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和3年	対比	
									R3/H2	R3/R2
下田市	245	225	211	176	143	114	68	80	32.7	117.6
東伊豆町	126	163	107	84	56	43	33	21	16.7	63.6
河津町	72	51	58	59	57	46	28	27	37.5	96.4
南伊豆町	89	76	67	53	42	42	32	29	32.6	90.6
松崎町	78	57	64	41	39	29	20	12	15.4	60.0
西伊豆町	74	73	69	65	44	24	20	14	18.9	70.0
賀茂地域計	684	645	576	478	381	298	201	183	26.8	91.0
県計	37,045	35,345	35,794	31,908	31,896	29,254	23,709	22,282	60.1	94.0

出典：「市区町別推計人口動態表」静岡県経営管理部統計調査課

(注) 前年10月1日から翌年9月30日までの出生児数を計上



賀茂地域の出生数 (人)

期間	実数値	推計値	差
平成18年～平成22年の平均	428		
平成23年～平成27年の平均	345		
平成28年～令和2年の平均	242	268	▲ 26
令和23年～令和27年の推計		117	

出典：実績値＝「市区長別人口動態表」静岡県経営管理部統計調査課

推計値＝国立社会保障・人口問題研究所

平成28年から令和2年までの平均値は、推計値より実数のほうが26人少なくなっており、令和23年から令和27年までの平均推計値は117人となっている。

(2) 高齢化の状況

高齢化の状況については、令和4年の県全体の高齢化率は30.2%で、賀茂地域の高齢化率は46.0%県全体よりも高く、年々増加している。西伊豆町では、51.8%と半数を超えており、県内で高齢化率が最も高い。

＜高齢者人口(65歳以上)・高齢化率の推移＞

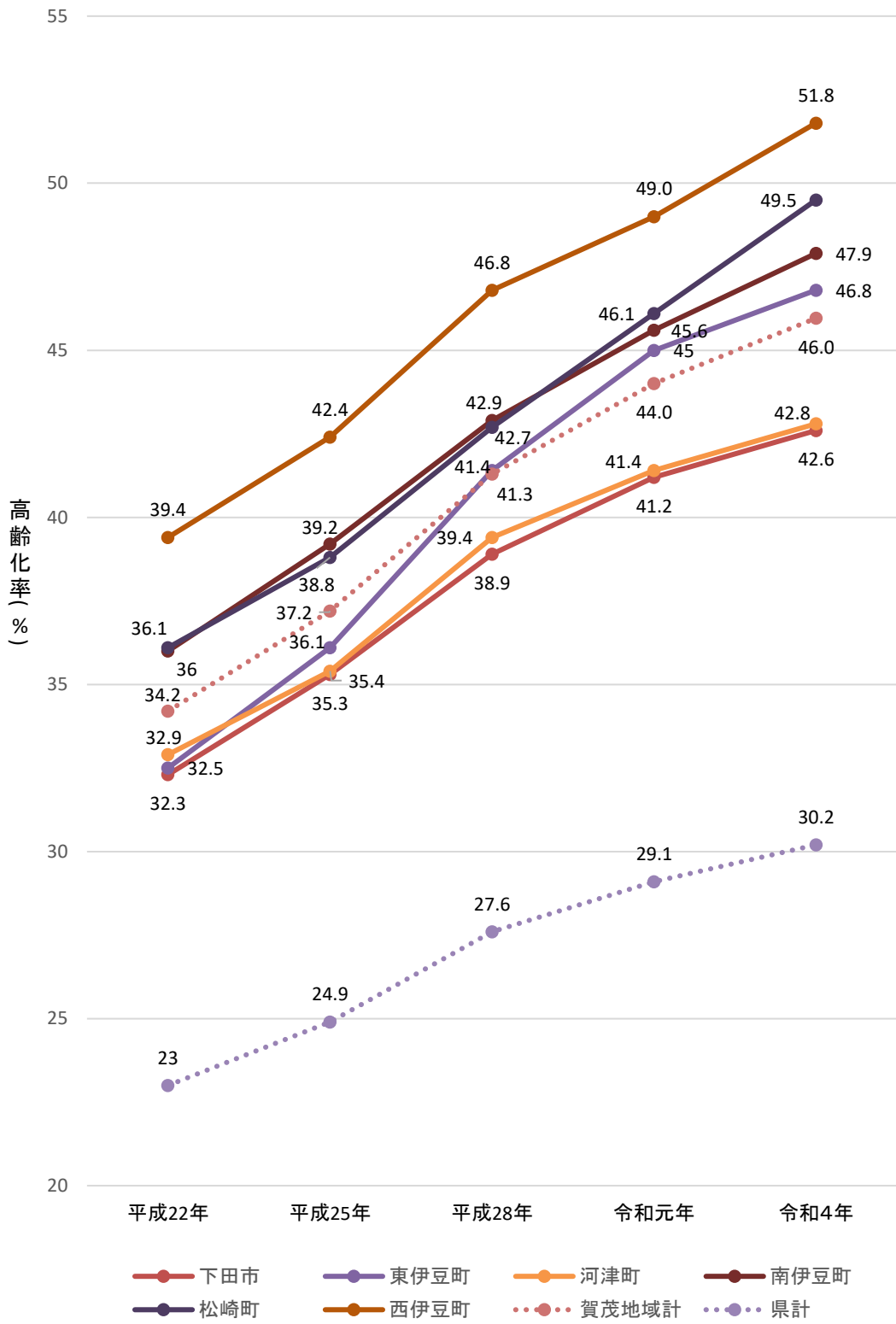
上段：高齢者人口(人)、中段：人口(人)、下段：高齢化率(%)

市町名	平成22年	平成25年	平成28年	令和元年	令和4年
下田市	8,206	8,550	8,912	8,859	8,652
	25,427	24,230	22,938	21,492	20,287
	32.3%	35.3%	38.9%	41.2%	42.6%
東伊豆町	4,631	4,922	5,351	5,478	5,407
	14,228	13,619	12,926	12,162	11,563
	32.5%	36.1%	41.4%	45.0%	46.8%
河津町	2,694	2,812	2,988	2,994	2,925
	8,186	7,953	7,578	7,228	6,830
	32.9%	35.4%	39.4%	41.4%	42.8%
南伊豆町	3,470	3,584	3,749	3,772	3,742
	9,633	9,139	8,743	8,268	7,804
	36.0%	39.2%	42.9%	45.6%	47.9%
松崎町	2,916	2,924	3,026	3,041	3,001
	8,069	7,534	7,094	6,602	6,061
	36.1%	38.8%	42.7%	46.1%	49.5%
西伊豆町	3,944	3,945	4,015	3,856	3,748
	10,003	9,311	8,484	7,872	7,236
	39.4%	42.4%	47.3%	49.0%	51.8%
賀茂地域計	25,861	26,737	28,041	28,000	27,475
	75,546	71,786	67,763	63,624	59,781
	34.2%	37.2%	41.4%	44.0%	46.0%
県計	887,575	947,122	1,036,390	1,081,445	1,101,978
	3,859,195	3,809,223	3,760,802	3,714,537	3,644,767
	23.0%	24.9%	27.6%	29.1%	30.2%

出典：「高齢化福祉行政の基礎調査」静岡県健康福祉部長寿政策課（各年4月1日現在）

(注)：中段人口は、各市町の住民基本台帳に基づく報告であるため、推計人口と一致しない。

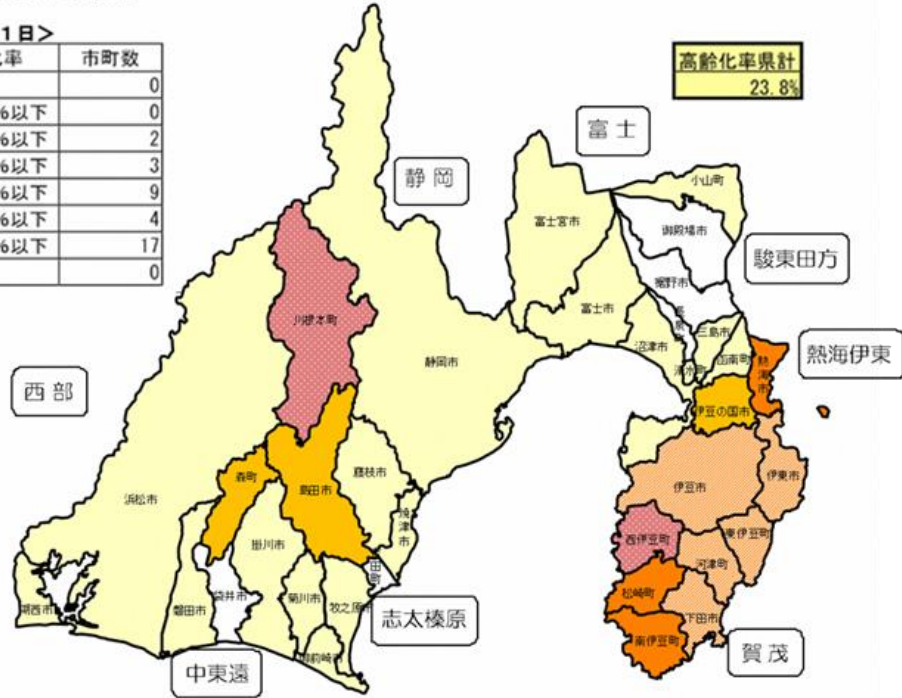
高齢化率の推移



市町別高齢化率の推移

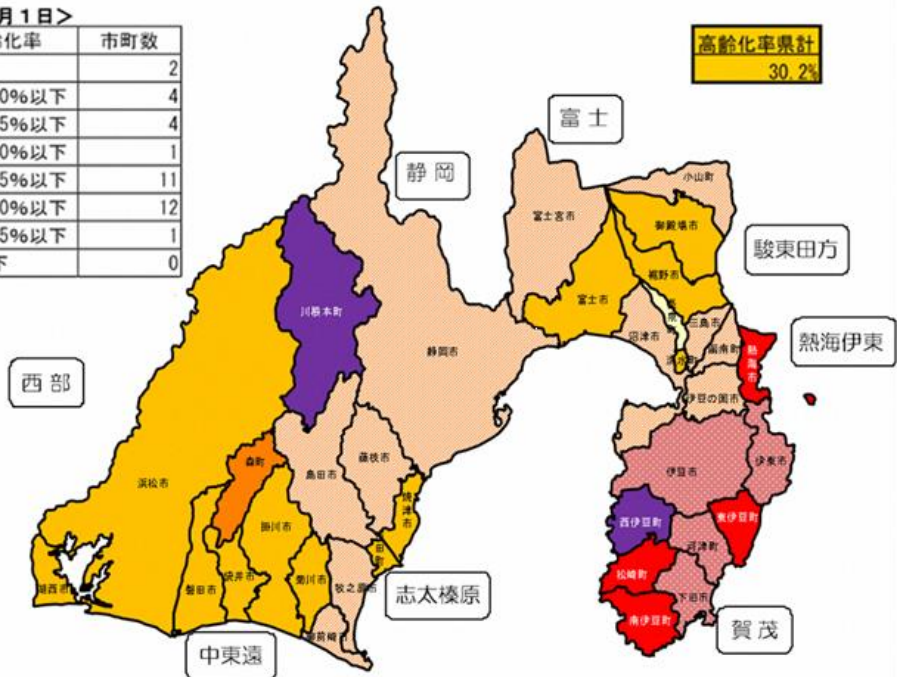
<平成24年4月1日>

高齢化率	市町数
50%超	0
45%超50%以下	0
40%超45%以下	2
35%超40%以下	3
30%超35%以下	9
25%超30%以下	4
20%超25%以下	17
20%以下	0



<令和4年4月1日>

高齢化率	市町数
50%超	2
45%超50%以下	4
40%超45%以下	4
35%超40%以下	1
30%超35%以下	11
25%超30%以下	12
20%超25%以下	1
20%以下	0



(3) 人口の将来推計（賀茂地域の10～20年後の姿）

国立社会保障・人口問題研究所が行った将来推計（平成30年3月）によると、賀茂地域の令和2年（2020年）の推計人口59,779人に対し、実数は59,546人と減少傾向は早くなっている。令和12年（2030年）の推計人口は47,463人、令和27年（2045年）の推計人口は31,481人となっており、令和2年（2020年）実数を100とした場合、令和12年（2030年）で79.7%、令和27年（2045年）では52.9%と半分近くにまで減少すると予想されている。

高齢化率は、令和2年（2020年）の推計値45.9%に対し、実数46.2%であり、こちらも推計値より0.3ポイント早くなっている。令和12年（2030年）には49.4%、令和27年（2045年）には56.4%に上がり、実に半数以上が65歳以上の高齢者になると予想されている。

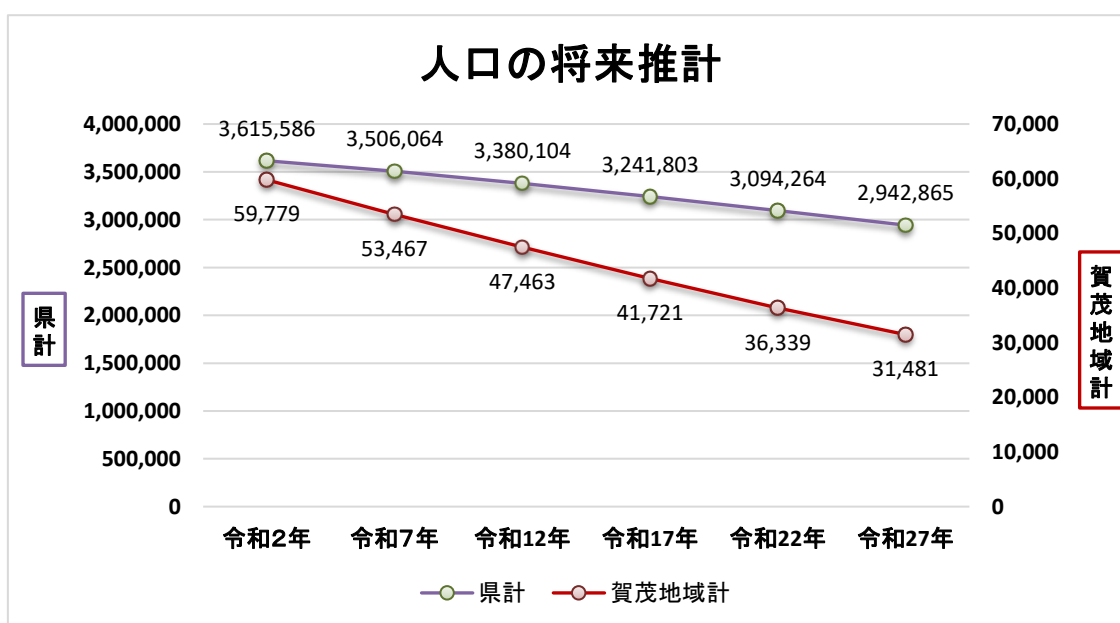
<人口の将来推計>

（単位：人）

区分	実数		推計値						指数(%:令和2年実数=100)	
	令和2年	令和2年	実数との差	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和12年	令和27年
下田市	20,183	20,731	▲ 548	18,554	16,445	14,401	12,495	10,767	81.5	53.3
東伊豆町	11,488	11,261	227	9,930	8,648	7,429	6,288	5,255	75.3	45.7
河津町	6,870	6,575	295	5,969	5,392	4,839	4,305	3,828	78.5	55.7
南伊豆町	7,877	7,878	▲ 1	7,262	6,668	6,077	5,503	4,959	84.7	63.0
松崎町	6,038	6,250	▲ 212	5,721	5,218	4,720	4,249	3,820	86.4	63.3
西伊豆町	7,090	7,084	6	6,031	5,092	4,255	3,499	2,852	71.8	40.2
賀茂地域計	59,546	59,779	▲ 233	53,467	47,463	41,721	36,339	31,481	79.7	52.9
県計	3,633,202	3,615,586	17,616	3,506,064	3,380,104	3,241,803	3,094,264	2,942,865	93.0	81.0

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」

令和2年実数：令和2年国勢調査（令和2年10月1日現在）



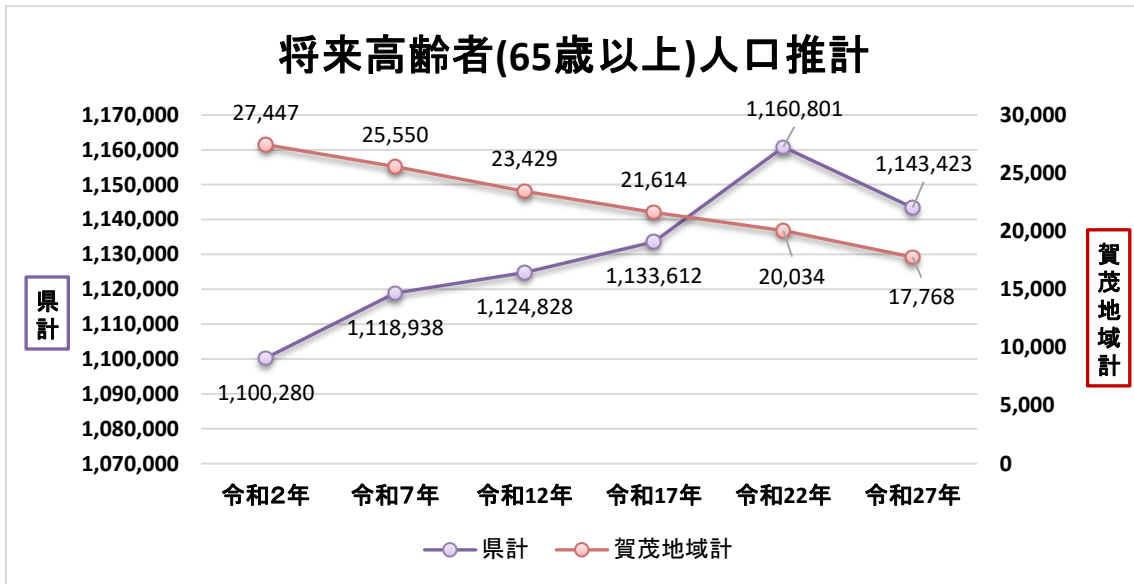
<将来高齢者(65歳以上)人口推計>

上段：高齢者数(人)、下段：高齢化率(%)

区 分	実数		推計値						指数(%:2020年実数=100)	
	令和2年	令和2年	実数との差	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和12年	令和27年
下田市	8,535	8,802	▲ 267.0	8,313	7,754	7,195	6,752	6,031	90.8	70.7
	42.3	42.5	▲ 0.2	44.8	47.2	50.0	54.0	56.0	111.5	132.5
東伊豆町	5,516	5,400	116.0	5,016	4,630	4,347	4,024	3,501	83.9	63.5
	48.0	48.0	0.1	50.5	53.5	58.5	64.0	66.6	111.5	138.8
河津町	2,960	2,924	36.0	2,722	2,513	2,330	2,170	1,961	84.9	66.3
	43.1	44.5	▲ 1.4	45.6	46.6	48.2	50.4	51.2	108.2	118.9
南伊豆町	3,873	3,728	145.0	3,492	3,174	2,968	2,816	2,538	82.0	65.5
	49.2	47.3	1.8	61.0	60.8	62.9	66.3	66.4	123.7	135.1
松崎町	2,948	2,900	48.0	2,746	2,525	2,315	2,119	1,923	85.7	65.2
	48.8	46.4	2.4	48.0	48.4	49.0	49.9	50.3	99.1	103.1
西伊豆町	3,654	3,693	▲ 39.0	3,261	2,833	2,459	2,153	1,814	77.5	49.6
	51.5	52.1	▲ 0.6	54.1	55.6	57.8	61.5	63.6	108.0	123.4
賀茂地域計	27,486	27,447	39.0	25,550	23,429	21,614	20,034	17,768	85.2	64.6
	46.2	45.9	0.2	47.8	49.4	51.8	55.1	56.4	106.9	122.3
県計	1,084,282	1,100,280	▲ 15,998.0	1,118,938	1,124,828	1,133,612	1,160,801	1,143,423	103.7	105.5
	29.8	30.4	▲ 0.6	31.9	33.3	35.0	37.5	38.9	111.5	130.2

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」をもとに加工

令和2年実数：令和2年国勢調査（令和2年10月1日現在）



(4) 移住者数の推移

移住者数は、県全体では2017年より2021年まで徐々に増加している。相談件数も、新型コロナウイルス感染症が拡がる前の2018年以前と比較すると地域によってバラつきはあるが概ね増加傾向にある。特に東部地区の2021年は相談件数と移住者の割合が53%と高い数値になっている。賀茂地区では、下田市が30.1%と高い割合になっている。賀茂地域全体では、2020年と2021年の2年間で213名の方が移住している。

< 静岡県移住者数 >

上段: 移住者数(人) 下段: 相談件数(件) %: 移住者数/相談件数×100

地区名	市町名	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
賀茂地区	下田市	10	15.4%	6	12.5%	21	20.6%	49	25.4%	46	30.1%
		65		48		102		193		153	
	東伊豆町	5	3.5%	3	3.0%	5	8.6%	11	8.5%	13	9.6%
		141		101		58		129		135	
	河津町	1	0.7%	16	15.4%	3	2.5%	4	5.1%	14	15.4%
		137		104		121		79		91	
南伊豆町	28	7.0%	31	8.0%	13	4.2%	26	9.9%	20	8.9%	
	402		388		308		263		225		
松崎町	8	13.6%	4	3.9%	12	9.4%	14	12.1%	5	5.0%	
	59		103		127		116		101		
西伊豆町	2	7.7%	6	31.6%	5	10.9%	6	13.3%	5	14.3%	
	26		19		46		45		35		
計		54	6.5%	66	8.7%	59	7.7%	110	13.3%	103	13.9%
		830		763		762		825		740	
東部地区		310	23.2%	412	29.5%	434	30.0%	375	31.4%	707	53.0%
		1,337		1,395		1,445		1,195		1,333	
中部地区		260	10.0%	199	8.2%	217	7.9%	324	9.6%	370	10.0%
		2,588		2,436		2,730		3,382		3,718	
西部地区		88	9.8%	134	12.0%	202	14.6%	213	15.4%	304	17.8%
		901		1,118		1,380		1,383		1,707	
県内市町計		712	12.6%	811	14.2%	912	14.4%	1,022	15.1%	1,484	19.8%
		5,656		5,712		6,317		6,785		7,498	

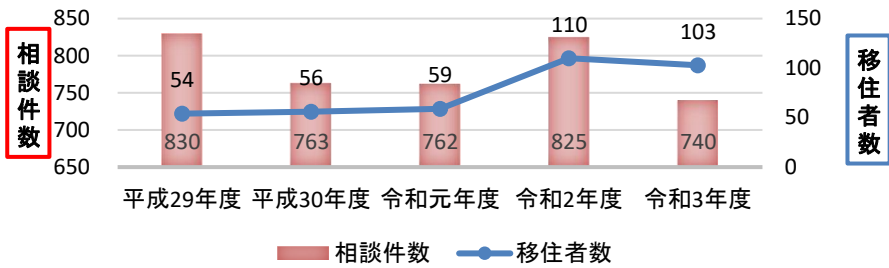
出典: 県くらし・環境部企画政策課調

移住者数: 県及び市町の移住相談窓口、移住促進施策等を利用して県外から移住した人数

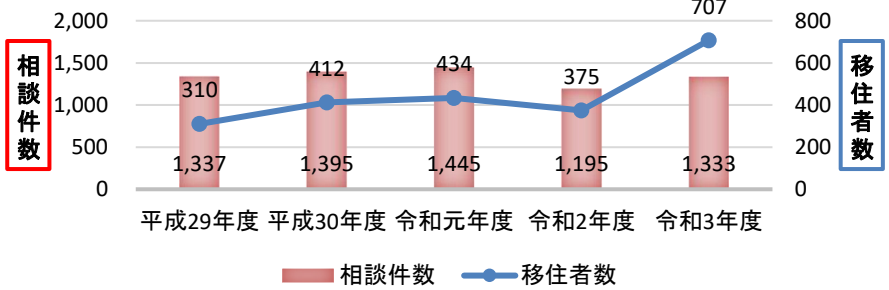
相談件数: 各市町への相談件数

「県内移住の相談もカウント(居住地を明らかにしない相談もあるため県内外の区分困難)」

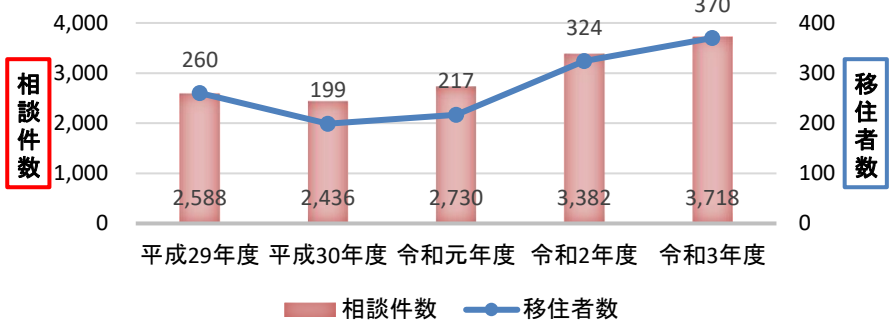
移住者数と相談件数（賀茂地区）



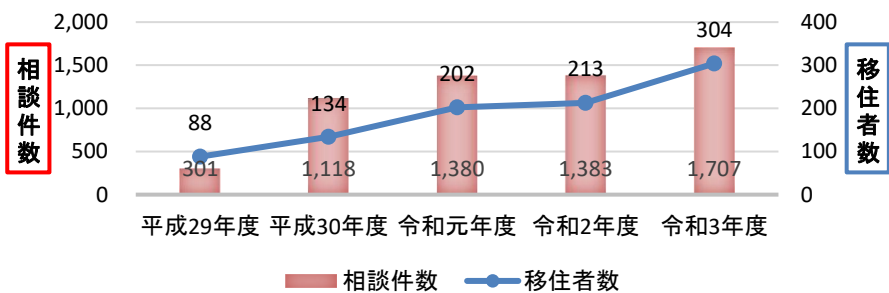
移住者数と相談件数（東部地区）



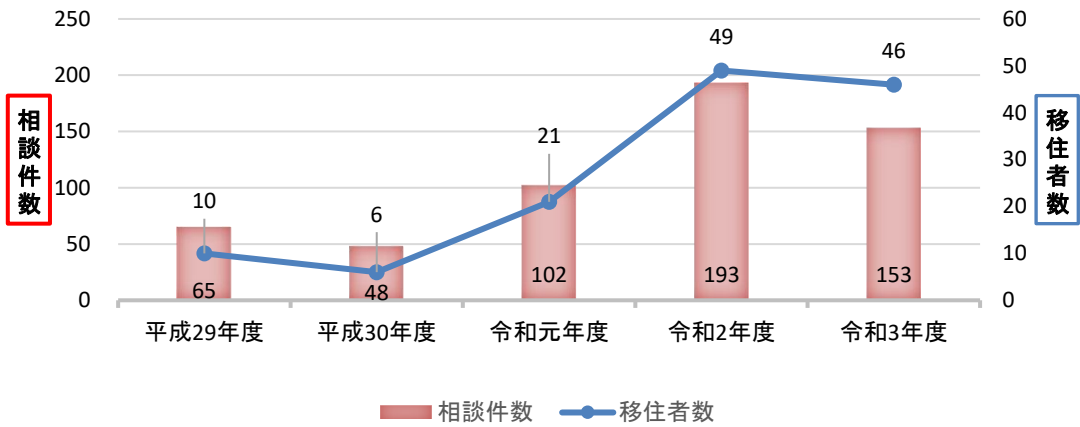
移住者数と相談件数（中部地区）



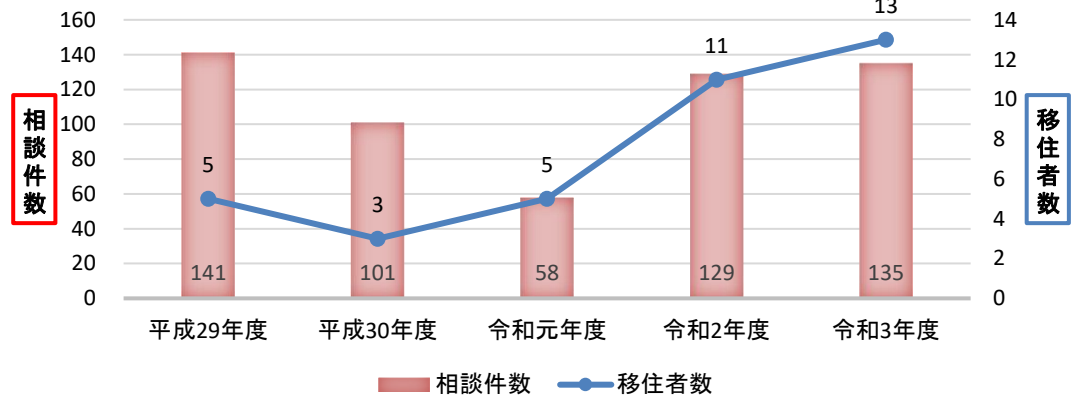
移住者数と相談件数（西部地区）



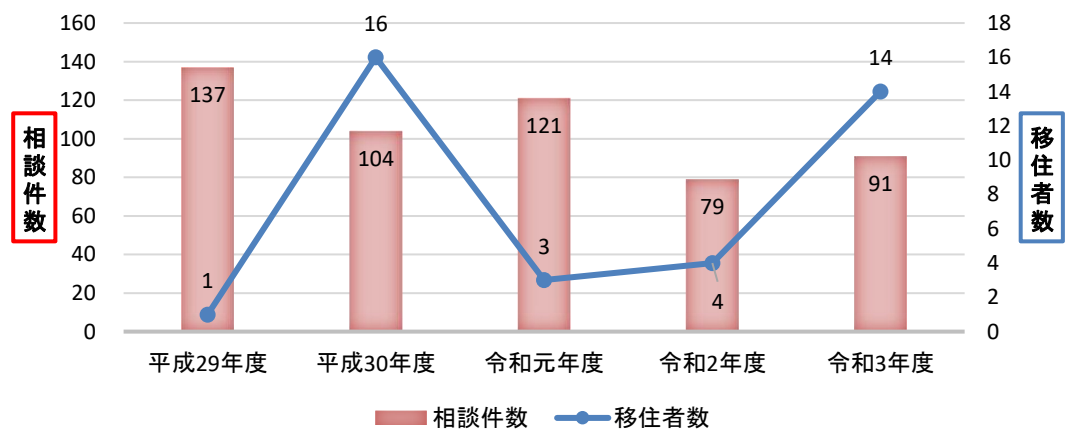
移住者数と相談件数（下田市）



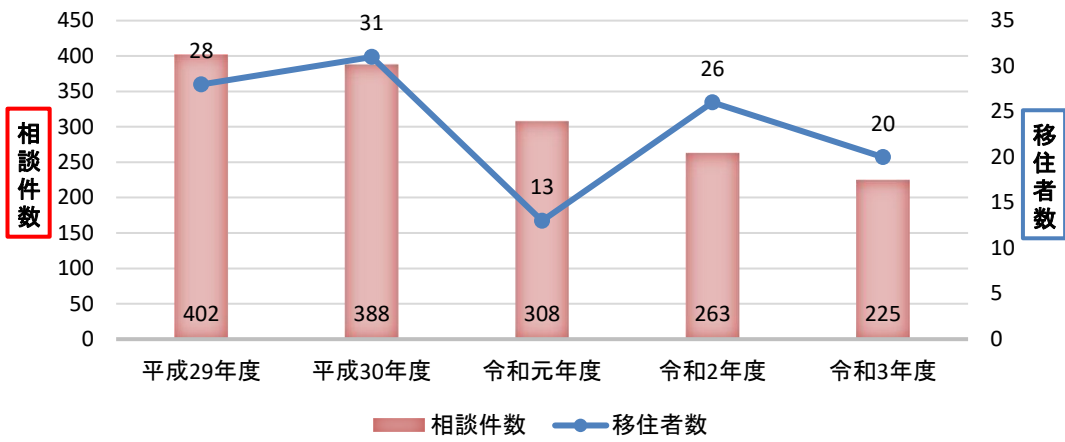
移住者数と相談件数（東伊豆町）



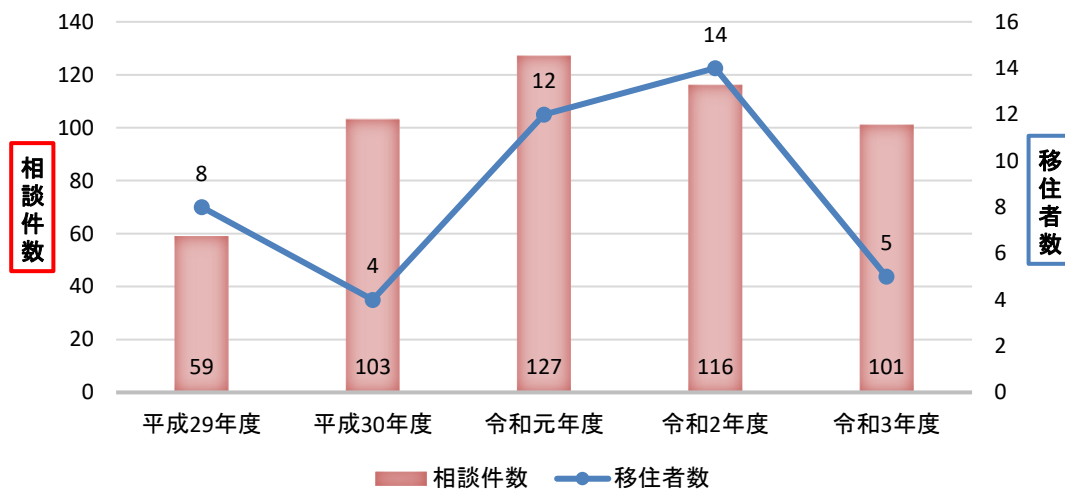
移住者数と相談件数（河津町）



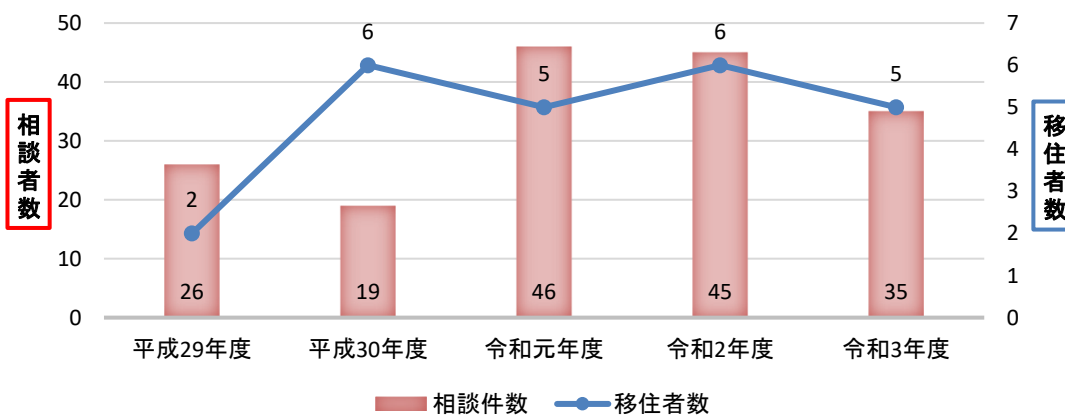
移住者数と相談件数（南伊豆町）



移住者数と相談件数（松崎町）



移住者数と相談件数（西伊豆町）



2 産業の状況

賀茂地域の事業所数について、令和3年に4,346事業所と平成18年比で65.8%、従業員数も24,669人と平成18年比で69.1%となっており、いずれも県全体よりも減少率は大きくなっている。

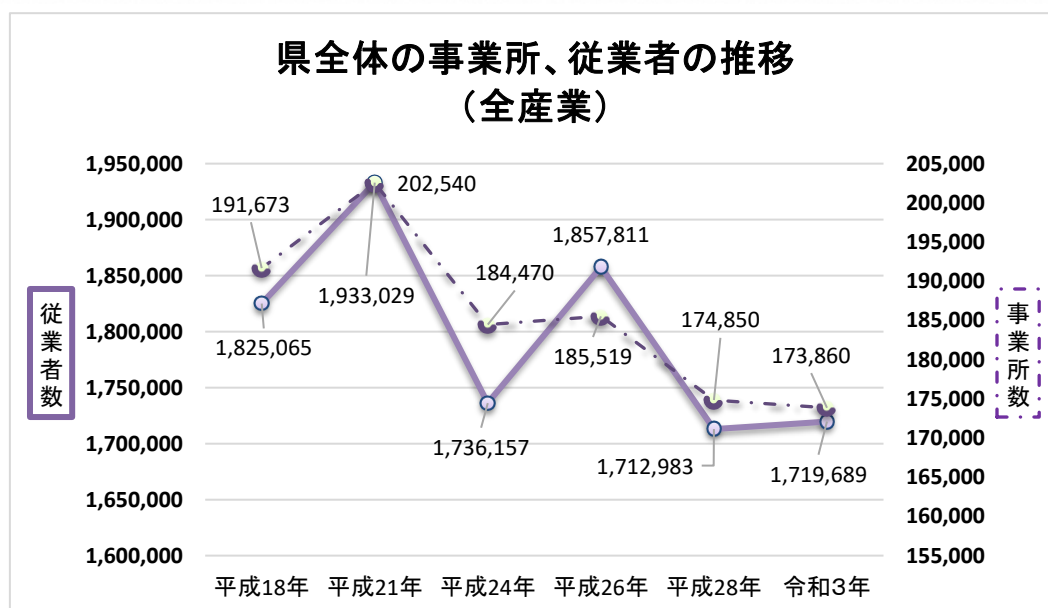
<事業所、従業員の推移（全産業）>

上段：事業所数(事業所)、下段：従業員数(人)

市町名	平成18年	平成21年	平成24年	平成26年	平成28年	令和3年	R3 /H18(%)
下田市	2,420 13,631	2,452 14,259	2,145 11,197	2,128 12,569	1,928 10,911	1,666 9,611	68.8% 70.5%
東伊豆町	1,032 6,852	1,014 7,174	871 5,793	839 5,822	770 5,263	711 4,859	68.9% 70.9%
河津町	707 3,444	686 3,589	595 3,004	585 3,177	527 2,881	468 2,674	66.2% 77.6%
南伊豆町	841 3,735	818 3,943	701 3,165	661 3,157	607 2,883	539 2,655	64.1% 71.1%
松崎町	750 3,233	711 3,253	602 2,653	619 2,869	534 2,227	455 1,995	60.7% 61.7%
西伊豆町	851 4,810	801 4,693	679 3,856	649 3,589	593 3,334	507 2,875	59.6% 59.8%
賀茂地域計	6,601 35,705	6,482 36,911	5,593 29,668	5,481 31,183	4,959 27,499	4,346 24,669	65.8% 69.1%
県計	191,673 1,825,065	202,540 1,933,029	184,470 1,736,157	185,519 1,857,811	174,850 1,712,983	173,860 1,719,689	90.7% 94.2%

(注)事業所数には、事業内容等不詳を含む

出典：「平成18年事業所・企業統計調査」、「平成21年経済センサス-基礎調査」、「平成24年経済センサス-活動調査」、「平成26年経済センサス-基礎調査」、「平成28年経済センサス-基礎調査」、「令和3年経済センサス-活動調査」



(1) 産業別従業者の状況

産業別従業者数は、第1次産業従業者数が平成21年の526人から平成28年の293人と43.3%も減少していたが、令和3年には311人と増加している。第2次産業及び第3次産業では、令和3年の従業者数が平成21年と比較して、それぞれ37.6%減、40.1%減と大きく減少している。

なお、令和3年の経済センサスにおいて、農業林業水産業の数値は公表されていない。

<賀茂地域の産業別従業者数の推移>

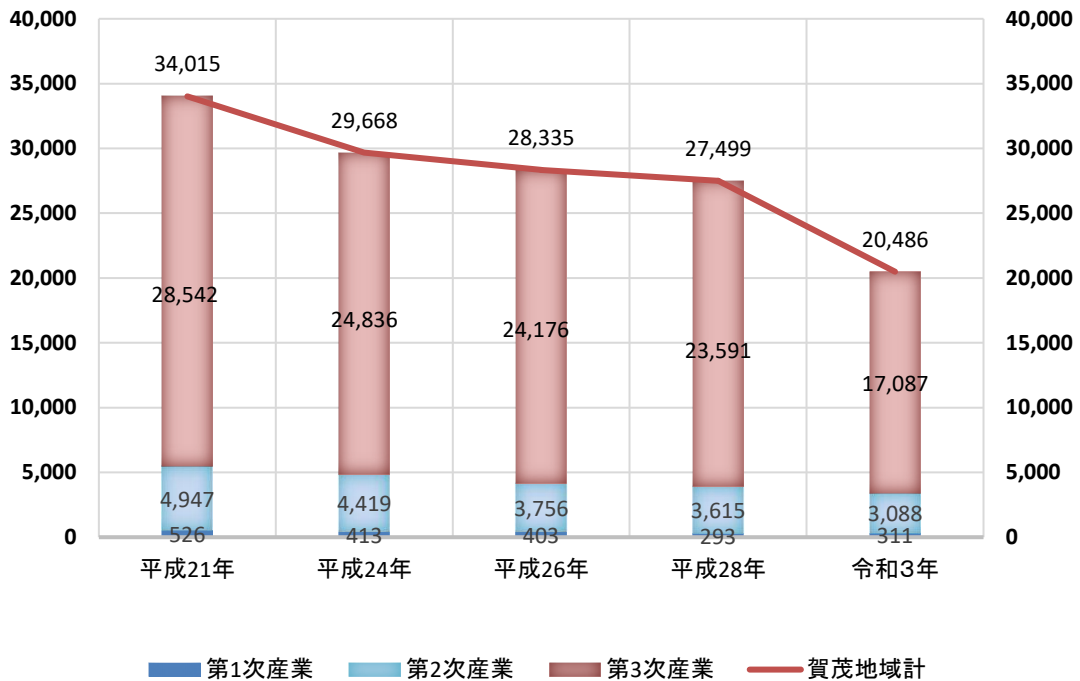
(人)

分類	平成21年		平成24年		平成26年		平成28年		令和3年		R3/H21	
	増減数	増減率(%)	増減数	増減率(%)	増減数	増減率(%)	増減数	増減率(%)	増減数	増減率(%)	増減数	増減率(%)
第1次産業	526	1.5%	413	1.4%	403	1.4%	293	1.1%	311	1.5%	▲ 215	▲ 40.9
うち農業	156	0.5%	101	0.3%	84	0.3%	97	0.4%	未公表			
うち林業	63	0.2%	93	0.3%	107	0.4%	72	0.3%				
うち水産業	307	0.9%	219	0.7%	212	0.7%	124	0.5%				
第2次産業	4,947	14.5%	4,419	14.9%	3,756	13.3%	3,615	13.1%	3,088	15.1%	▲ 1,859	▲ 37.6
うち建設業	3,187	9.4%	2,708	9.1%	2,336	8.2%	2,296	8.3%	1,968	9.6%	▲ 1,219	▲ 38.2
うち製造業	1,735	5.1%	1,688	5.7%	1,420	5.0%	1,319	4.8%	1,120	5.5%	▲ 615	▲ 35.4
第3次産業	28,542	83.9%	24,836	83.7%	24,176	85.3%	23,591	85.8%	17,087	83.4%	▲ 11,455	▲ 40.1
うち宿泊・飲食業	9,491	27.9%	8,226	27.7%	7,684	27.1%	7,851	28.6%	6,363	31.1%	▲ 3,128	▲ 33.0
賀茂地域計	34,015	100.0%	29,668	100.0%	28,335	100.0%	27,499	100.0%	20,486	100.0%	▲ 13,529	▲ 39.8

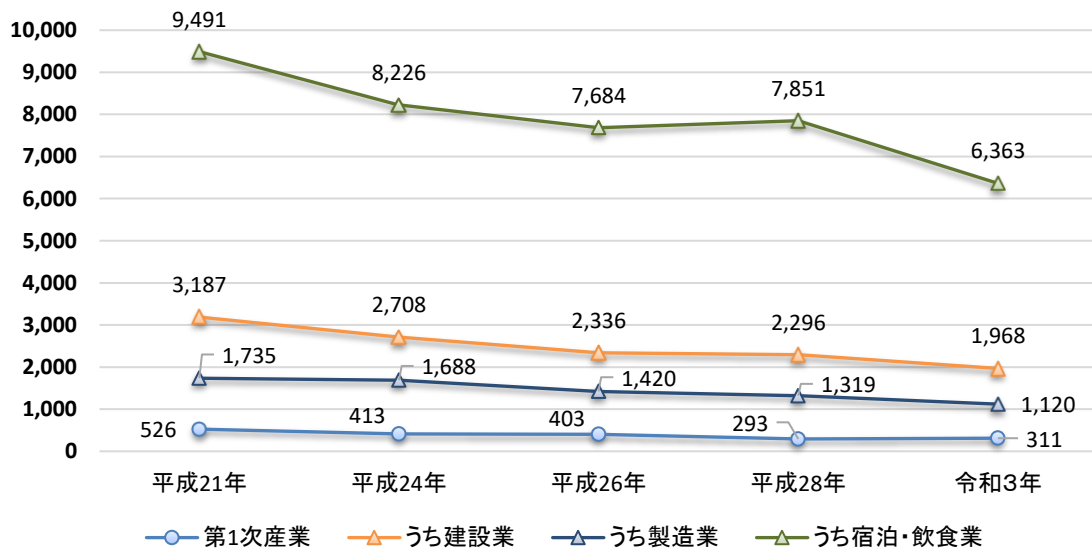
出典:「平成21年経済センサス基礎調査」「平成24年経済センサス-活動調査」
「平成26年経済センサス基礎調査」「平成28年経済センサス-活動調査」、「令和3年経済センサス-活動調査(速報集計)」

(注): 民営事業所(公務を除く)・・・第2次産業には「鉱業等」が含まれるが、賀茂地域に事業所がないため表示をしていない。

賀茂地域の産業別従業者の推移



賀茂地域の業種別従業者の推移



(参考) データとしてわかりやすいため、静岡経済研究所発行の研究季報の資料を加筆添付する。

地域経済の姿(事業所数、従業者数)

10年間の比較	下田市			東伊豆町			河津町		
	平成24年	令和3年	変化率(%)	平成24年	令和3年	変化率(%)	平成24年	令和3年	変化率(%)
	民営事業所数(公務除く)	2,067	1,615	▲21.9%	861	676	▲21.5%	581	452
産業別従業者数	11,197	9,611	▲14.2%	5,793	4,859	▲16.1%	3,004	2,674	▲11%
宿泊業、飲食サービス業	2,723	2,280	▲16.3%	2,053	1,699	▲17.2%	749	626	▲16.4%
卸売業、小売業	2,677	2,117	▲20.9%	896	647	▲27.8%	708	528	▲25.4%
医療、福祉	1,152	1,287	▲11.7%	870	982	▲12.9%	349	629	▲80.2%
建設業	913	709	▲22.3%	552	379	▲31.3%	332	240	▲27.7%
製造業	395	255	▲35.4%	126	85	▲32.5%	214	172	▲19.6%
生活関連サービス、娯楽業	571	440	▲22.9%	280	214	▲23.6%	142	77	▲45.8%
課題	所得をいかに域内の再生産に繋げるか？			観光産業を核に、域内で稼ぐ場をつくれるか？			獲得した所得を域内に投下し、域内で付加価値を生み出す仕組みづくり。		

10年間の比較	南伊豆町			松崎町			西伊豆町		
	平成24年	令和3年	変化率(%)	平成24年	令和3年	変化率(%)	平成24年	令和3年	変化率(%)
	民営事業所数(公務除く)	686	513	▲25.2%	586	447	▲23.7%	669	490
産業別従業者数	3,165	2,655	▲16.1%	2,653	1,995	▲24.8%	3,856	2,875	▲25.4%
宿泊業、飲食サービス業	1,023	638	▲37.6%	655	444	▲32.2%	1,023	676	▲33.9%
卸売業、小売業	549	418	▲23.9%	643	501	▲22.1%	729	574	▲21.3%
医療、福祉	410	538	▲31.2%	319	201	▲37%	503	478	▲5.0%
建設業	379	280	▲26.1%	236	141	▲40.3%	296	219	▲26%
製造業	171	145	▲15.2%	166	119	▲28.3%	616	344	▲44.2%
生活関連サービス、娯楽業	173	157	▲9.2%	164	146	▲11.0%	150	111	▲26.0%
課題	コロナ禍で主力の観光業が打撃を受け、従業者数も大幅に減少。今後の再生が課題。			観光で獲得した所得の流出を減らせるような、域内で付加価値を生み出す仕組みづくり。			獲得した所得の域内還元。		

出典：静岡経済研究所(研究季報令和4年10月1日)、平成24年経済センサス活動調査、令和3年経済センサス活動調査

(2) 観光業の状況

観光交流客数は、平成20年のリーマンショック以降減り続け、さらに平成23年に発生した東日本大震災の影響により一時的に大幅に落ち込んだ。また、令和元年度に発生した新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度に大幅に落ち込んでいる。特に、河津町では、令和2年度に極端に減少しているが、河津桜イベントが中止された影響であると思われる。

宿泊客数については、観光交流客数と同様に、リーマンショック以降減少した後、250万人前後で推移していたが、やはり新型コロナウイルス感染症の影響を受け大幅に落ち込んでいる。令和2年度から令和3年度にかけては、南伊豆町で若干減少しているが、その他の市町では増加傾向になっている。

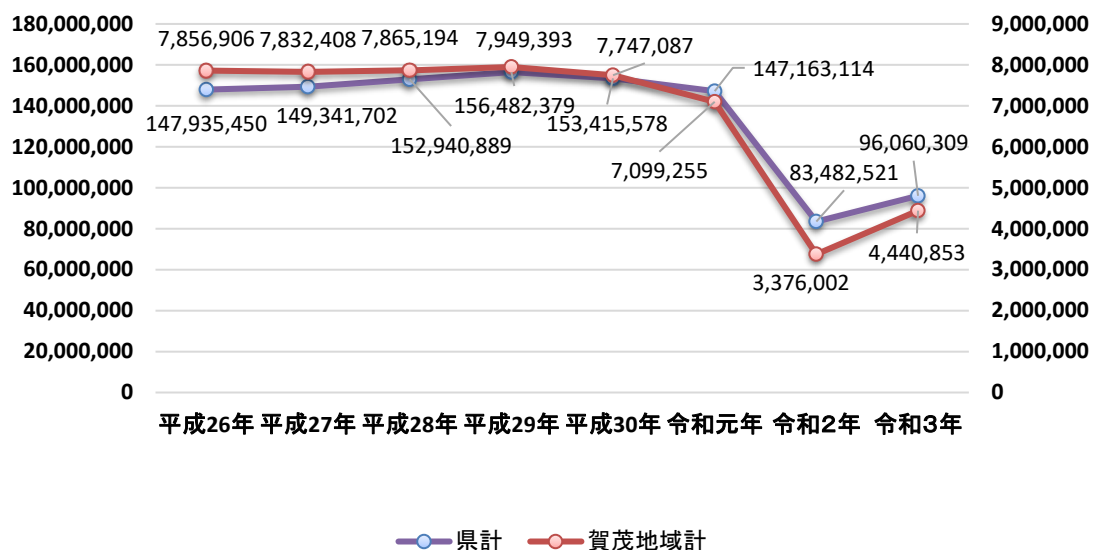
<観光交流客数、宿泊者数の推移>

上段：観光交流客数（人）、下段：宿泊客数（人）

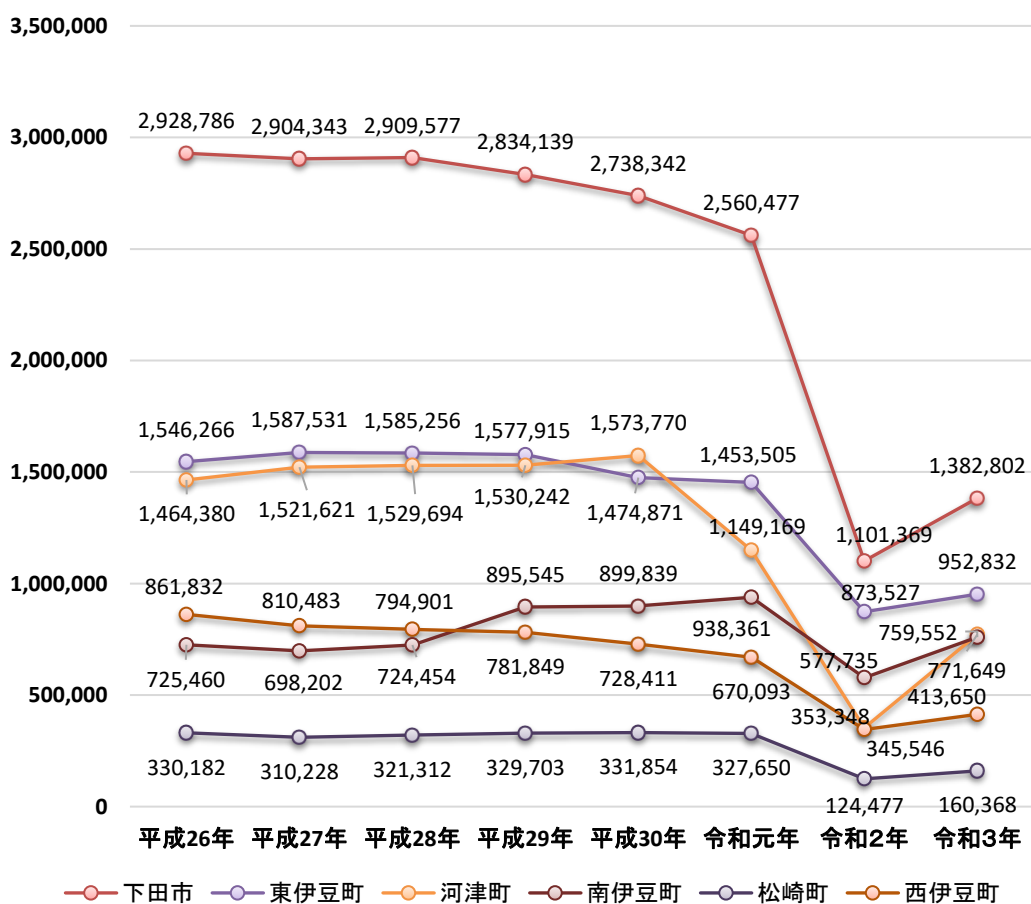
市町名	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	対 比 (%)	
									R3/H26	R3/R2
下田市	2,928,786	2,904,343	2,909,577	2,834,139	2,738,342	2,560,477	1,101,369	1,382,802	47.2%	125.6%
	932,868	962,099	962,106	964,389	1,004,110	953,831	586,487	730,833	78.3%	124.6%
東伊豆町	1,546,266	1,587,531	1,585,256	1,577,915	1,474,871	1,453,505	873,527	952,832	61.6%	109.1%
	832,859	813,313	806,657	791,597	745,450	735,410	408,874	442,191	53.1%	108.1%
河津町	1,464,380	1,521,621	1,529,694	1,530,242	1,573,770	1,149,169	353,348	771,649	52.7%	218.4%
	189,100	191,901	186,207	182,265	175,189	163,478	93,436	94,725	50.1%	101.4%
南伊豆町	725,460	698,202	724,454	895,545	899,839	938,361	577,735	759,552	104.7%	131.5%
	210,122	211,343	209,005	203,336	193,577	171,099	98,357	96,154	45.8%	97.8%
松崎町	330,182	310,228	321,312	329,703	331,854	327,650	124,477	160,368	48.6%	128.8%
	89,356	94,904	101,932	97,032	92,259	87,329	38,296	57,779	64.7%	150.9%
西伊豆町	861,832	810,483	794,901	781,849	728,411	670,093	345,546	413,650	48.0%	119.7%
	286,371	274,892	271,066	261,946	250,389	231,658	124,461	144,812	50.6%	116.4%
賀茂地域計	7,856,906	7,832,408	7,865,194	7,949,393	7,747,087	7,099,255	3,376,002	4,440,853	56.5%	131.5%
	2,540,676	2,548,452	2,536,973	2,500,565	2,460,974	2,342,805	1,349,911	1,566,494	61.7%	116.0%
県計	147,935,450	149,341,702	152,940,889	156,482,379	153,415,578	147,163,114	83,482,521	96,060,309	64.9%	115.1%
	18,809,805	19,876,268	19,432,624	19,804,752	19,968,305	19,604,800	10,829,936	13,094,788	69.6%	120.9%

出典：「静岡県観光交流の動向」静岡県スポーツ・文化観光部観光政策課

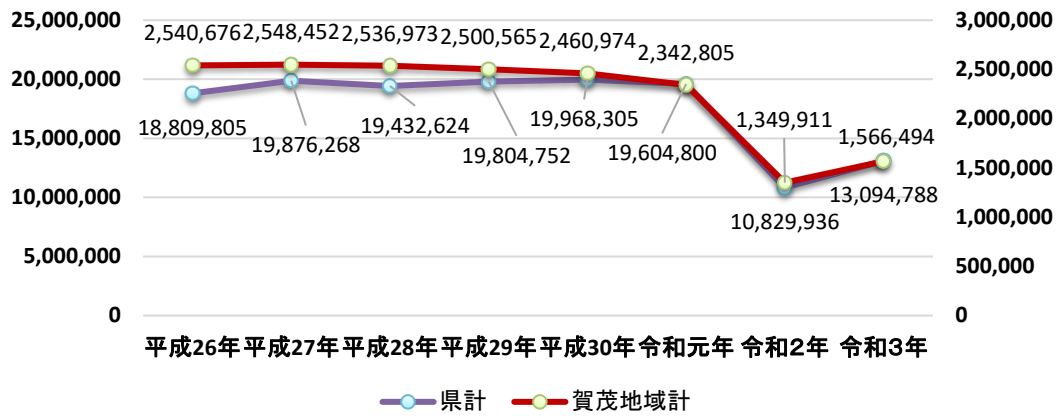
観光交流客の推移



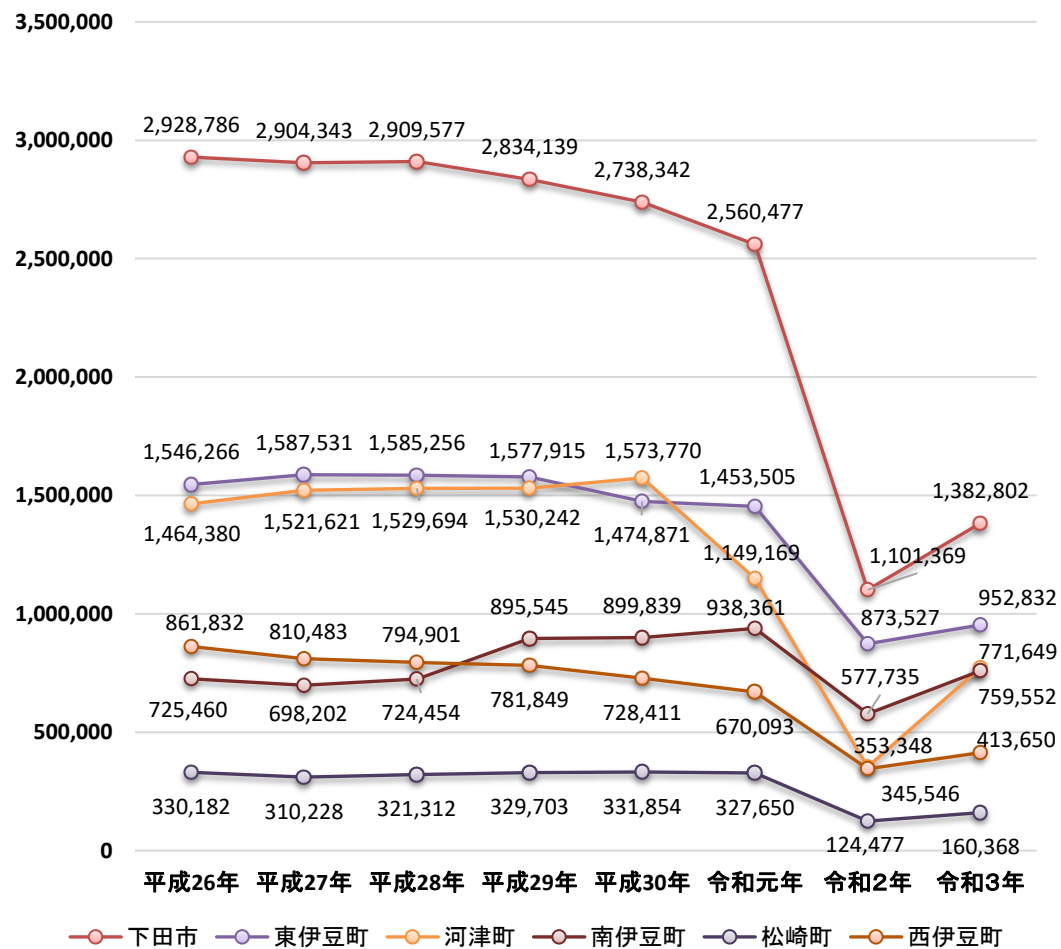
市町観光交流客数の推移



宿泊者の推移



市町観光交流客数の推移



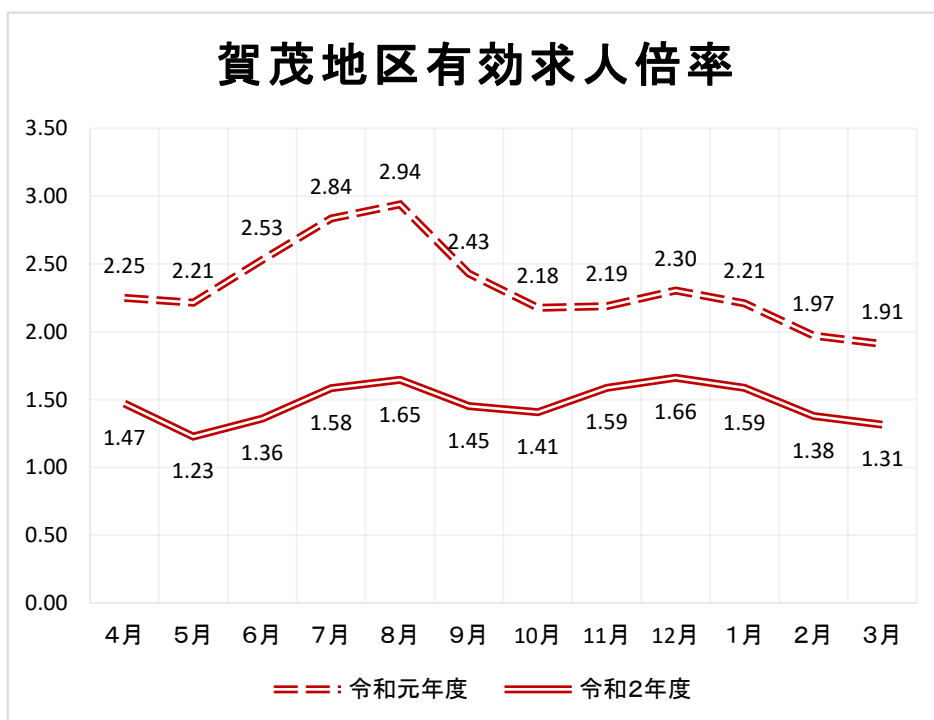
(3) 有効求人倍率の推移

賀茂地区の有効求人倍率を令和元年度と比較すると、令和2年度の数値は各月とも前年比より低い数値になっている。ここにも新型コロナウイルス感染症の影響がみてとれる。

<賀茂地区有効求人倍率>

摘要	令和元年度			令和2年度		
	月	有効求人数	有効求職数	有効求人倍率	有効求人数	有効求職数
4月	1,627	723	2.25	1,131	769	1.47
5月	1,597	721	2.21	943	768	1.23
6月	1,779	703	2.53	1,079	793	1.36
7月	1,806	637	2.84	1,220	770	1.58
8月	1,667	567	2.94	1,203	731	1.65
9月	1,521	626	2.43	1,058	729	1.45
10月	1,485	682	2.18	1,086	771	1.41
11月	1,495	683	2.19	1,176	741	1.59
12月	1,491	647	2.30	1,216	732	1.66
1月	1,520	688	2.21	1,199	756	1.59
2月	1,354	687	1.97	1,040	754	1.38
3月	1,324	693	1.91	1,045	795	1.31

出典：「新南伊豆のすがた（令和2年版、令和3年版）」静岡県経営管理部賀茂地域局



3 社会基盤整備状況

賀茂地域に病院は8施設あり、そのうち救護病院は4施設である。一般診療所及び歯科診療所の施設数の推移は横ばいである。

学校等の状況は、高等教育機関として下田市に看護専門学校が1校あるのみである。また、賀茂地域に私立学校はない。

文化会館は、下田市に1施設のみ。また、スポーツ施設は公営のものが多く、民間の大規模な施設はない。

危機管理関係施設として、警察署本署1及び分署1、消防本部本署1及び分署4の施設が存在している。

① 病院、診療所の施設数の推移等

種別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
病院	8	8	8	8	8
一般診療所	57	56	55	57	56
病床数	1,285	1,285	1,259	1,219	1,217

(注) 令和2年病床数の内、一般病床数は476床

出典:「新南伊豆のすがた(令和3年版)」静岡県経営管理部賀茂地域局

② 危機管理関係施設

市町名	警察署	消防本部
下田市	1	1
東伊豆町	0	<1>
河津町	0	<1>
南伊豆町	0	<1>
松崎町	<1>	0
西伊豆町	0	<1>
計	1<1>	1<4>

(注) <>内の数字は本部以外

東伊豆町は、駿東伊豆消防本部第三方面隊に所属。

③ 市町別学校等の状況

市町名	専門 学校	県立 高校	県立 特支	公立 中学校	公立 小学校	公立 幼稚園	公立 認定 こども園	公立 保育所	私立 保育園 認定 こども園
下田市	1	1	0<1>	1	7	1	1	1	2
東伊豆町	0	1	0	2	2	2	0	0	1
河津町	0	0	0	1	3	1	0	0	1
南伊豆町	0	0<1>	0	2	3	0	1	0	0
松崎町	0	1	0<1>	1	1	1	0	0	1
西伊豆町	0	0	0	1	3	0	2	0	0
計	1	3<1>	0<2>	8	19	5	4	1	5

(注) <>内の数字は分校

出典:「令和4年度静岡県学校名簿」静岡県教育委員会

「公立保育所」「私立保育園認定こども園」は賀茂地域教育振興センター調

(1) 社会基盤整備の見通し

① 伊豆縦貫自動車道の整備

伊豆縦貫自動車道の整備は、交通渋滞の緩和や地域の活性化、防災機能の強化などが期待されており、現在、東駿河湾環状道路から天城北道路（月ヶ瀬 IC：平成 31 年 1 月 24 日供用開始済）まで整備済である。

また、河津下田道路（Ⅱ期）のうち、河津七滝 IC から河津逆川 IC 間、約 3 km が令和 5 年 3 月 19 日に供用開始となり、約 15 分程度の時間短縮が見込まれる。なお、河津下田道路（Ⅰ期）工事も令和 4 年 11 月 19 日に起工式が実施された。

また、天城峠道路 20 km 区間の都市計画決定並びに環境影響評価が令和 5 年 1 月に終了し、いよいよ事業化が現実味を帯びてきている。

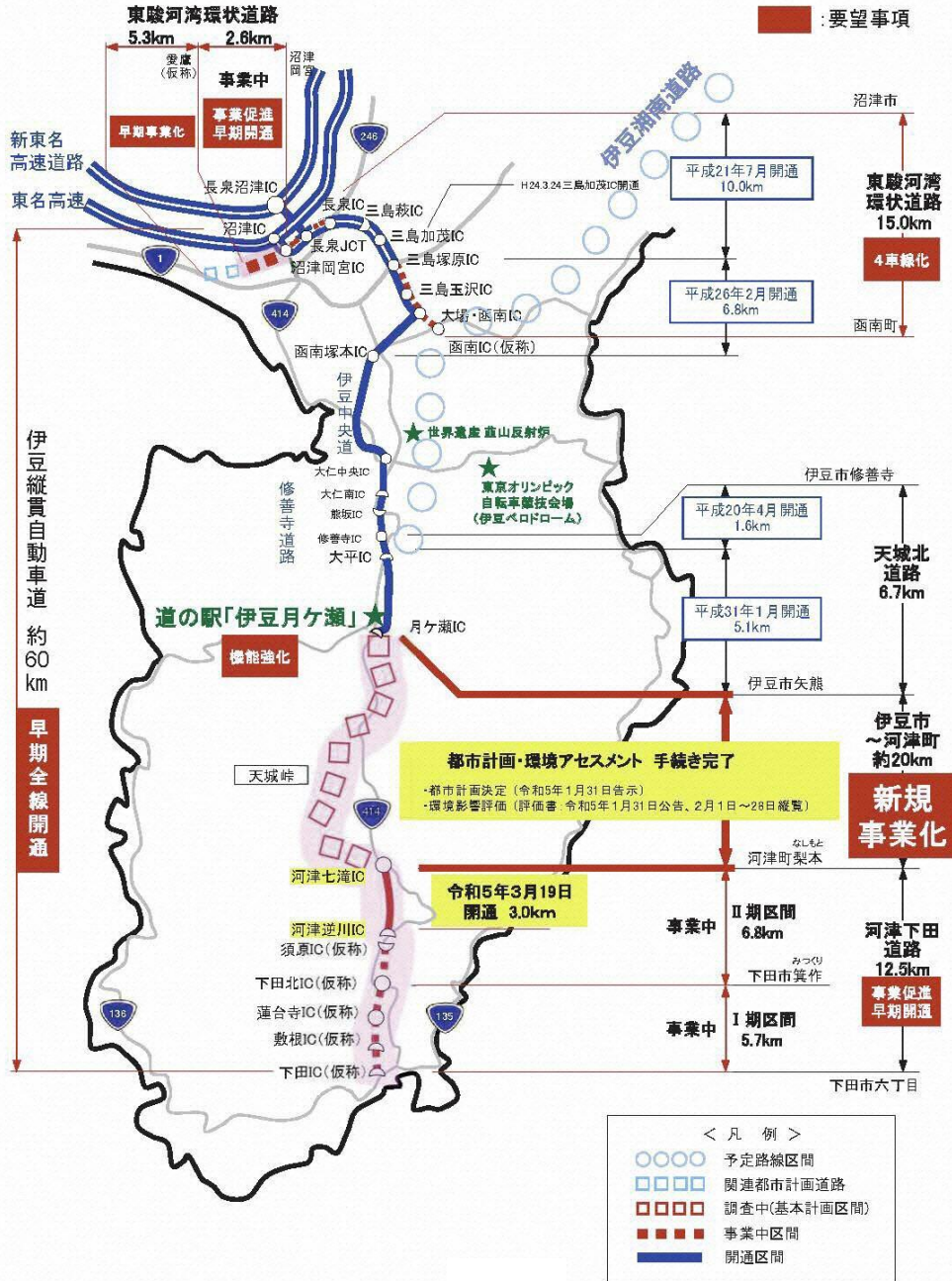
月ヶ瀬 IC 以南の整備状況は下表のとおり。

名称	区間	距離	状況
天城峠道路	月ヶ瀬 IC	20km	静岡県都市計画決定、環境影響評価令和 5 年 1 月、終了
	～河津七滝 IC		
河津下田道路 (Ⅱ期)	河津七滝 IC ～下田北 IC (仮称)	6.8km	事業中、河津七滝 IC～河津逆川 IC→令和 5 年 3 月 19 日供用開始
河津下田道路 (Ⅰ期)	下田北 IC (仮称) ～下田 IC (仮称)	5.7km	事業中、令和 4 年 11 月 19 日起工式実施済

② 肋骨道路の整備

県と（一社）美しい伊豆創造センターは、平成 28 年 3 月に「伊豆半島道路ネットワーク会議」を設立した。同会議では、伊豆縦貫自動車道を背骨として、肋骨となる国県道、幹線市町道を含む地域全体の道路網のあるべき姿を検討し、短期、中長期を見据えた実施計画を策定した。

伊豆縦貫自動車道 東駿河湾環状道路の概要図



(3) 賀茂地域で想定されている地震被害の状況

伊豆半島は急峻な地形が多く、平地が少なく、また、海岸線が長く、複雑な形状をしているため、大規模地震が発生した場合には、津波による甚大な被害が予想される。

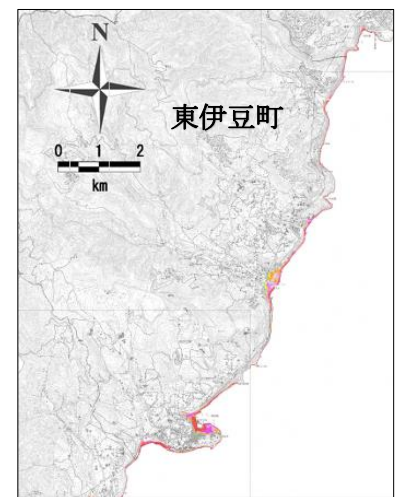
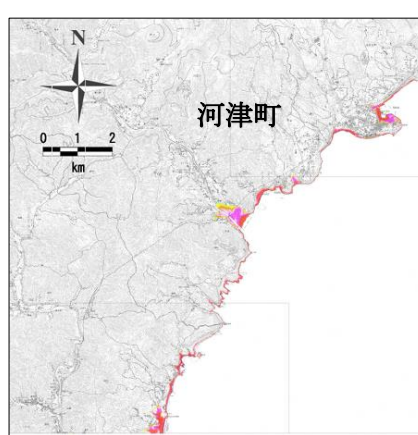
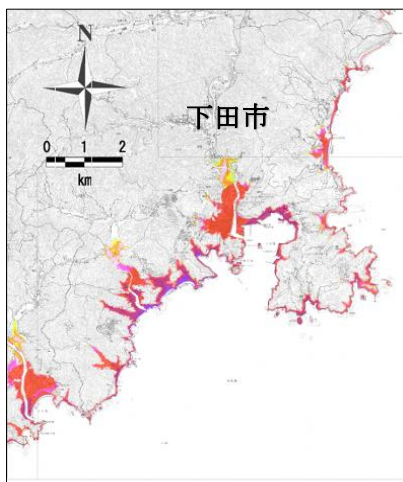
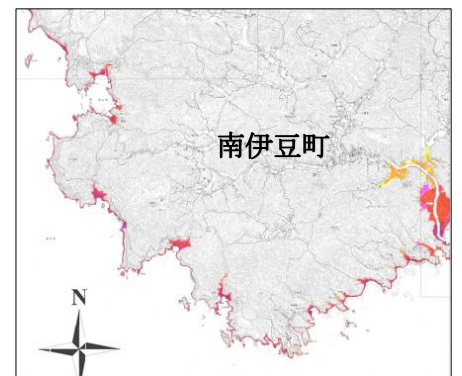
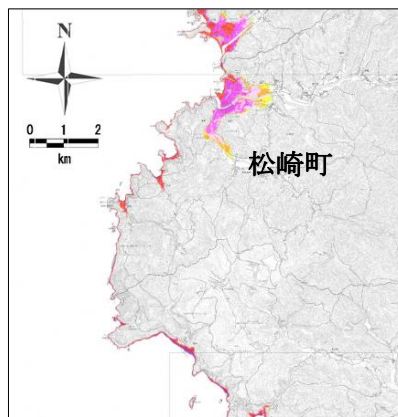
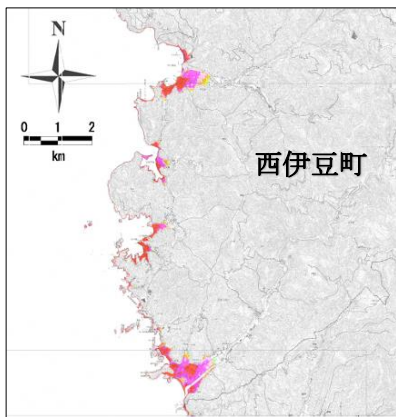
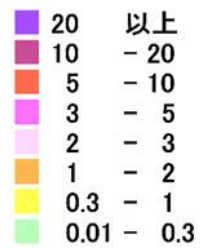
管内市町の津波高 (m) と津波到達時間 (分)

市町名	最大	平均	津波到達時間 (分)
西伊豆町	15	9	4
松崎町	16	12	4
南伊豆町	26	15	4
下田市	33	15	12
河津町	13	10	17
東伊豆町	14	8	15

(注) 津波到達時間は50cmでの時間

出典：静岡県第4次地震被害想定と今後の対応
(静岡県賀茂地域局)

最大浸水深(m)



南海トラフ巨大地震(ケース8)最大浸水深図 (静岡県第4次地震被害想定関連資料)

第2章 賀茂地域住民アンケート

1 学生アンケート

目的・実施方法

平成28年度より開始し、3年周期で行ってきた賀茂地域の最終学年(小6、中3、高3)を対象に、「15年後に賀茂地域に住んでいたいか」を問うアンケート調査を実施した。

賀茂地域における大きな課題である若年層の人口流出について考えるにあたり、「今後も賀茂地域に住み続ける」ということに関する若年世代の意向を把握するため、平成28年度に実施した賀茂地域の全ての小・中・高校の最高学年生を対象にしたアンケート調査を今年度も実施した。

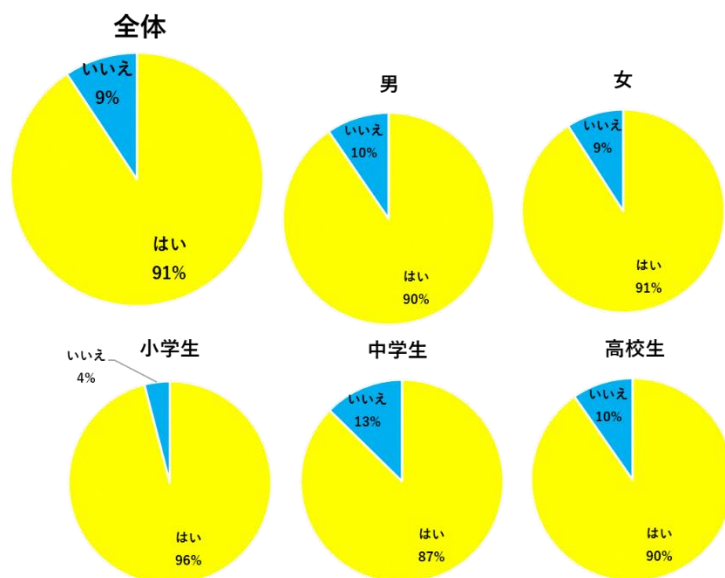
なお、調査の概要については、以下のとおり。

調査概要

対象者	賀茂地域(1市5町)の19小学校、8中学校、3高校(分校含む)のそれぞれ最高学年の児童・生徒
実査期間	令和4年9月1日～9月15日
サンプル数	1027(調査対象数:1085人 回収率:94.7%)
調査方法	記入式アンケート調査
調査項目	基本属性(性別) ○15年後、賀茂地域に住んでいたいかどうか? ○その理由 ○将来やりたい仕事、なりたい職業は賀茂地域にあると思うか? ○その仕事はなにか? ○将来、賀茂地域で好きなことを仕事にできるとしたらどんなことがいいか? ○中学生、高校生は進路を調査

調査結果

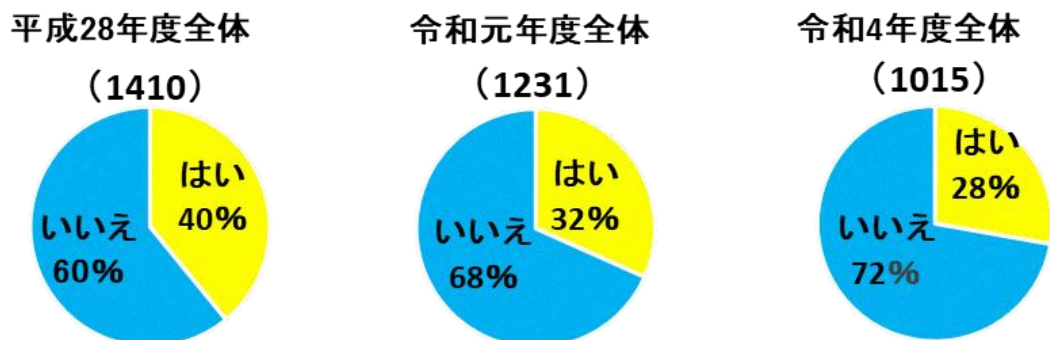
1. 「あなたは賀茂地域が好きですか」に対する回答状況



各学年共に、地域への愛着が強く、賀茂地域が好きと答えた生徒は全体で90%となった。小学生全体は96%、河津町や松崎町の小学生は100%を記録した。

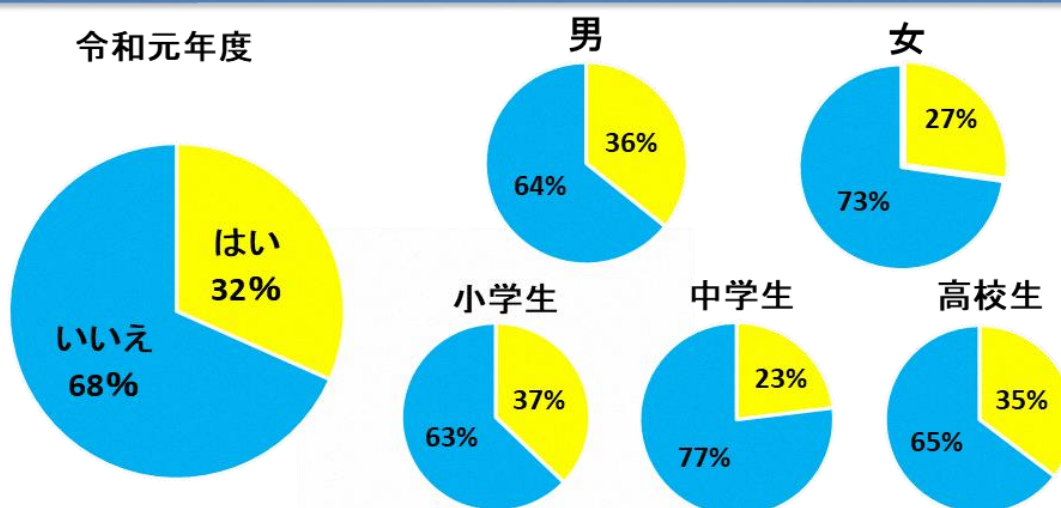
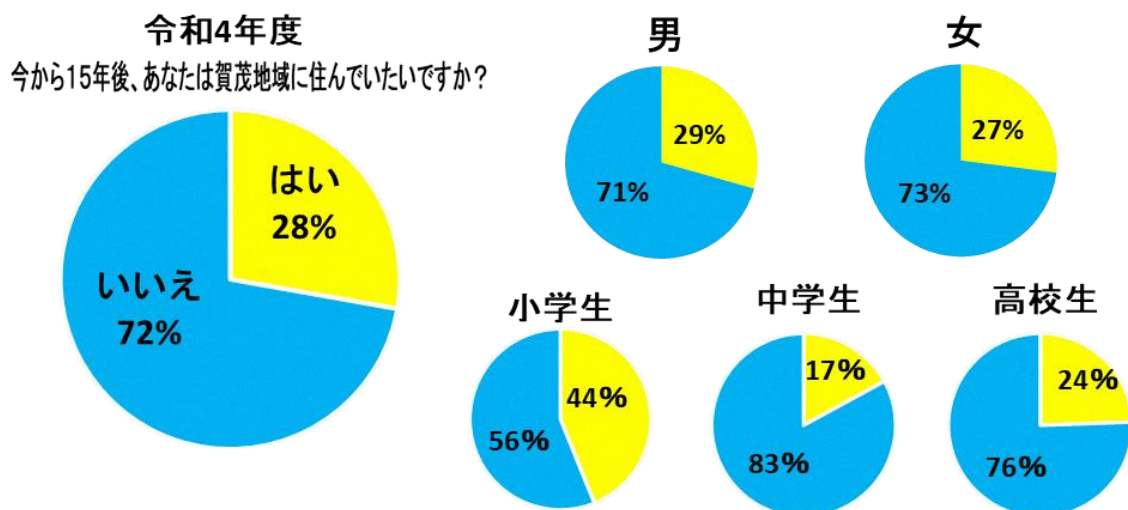
賀茂地域が好きな理由は、海や山を中心とした自然への愛着が多くを占め、好環境に身を置いている意識が高くなっている。

2. 「今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか」に対する回答の状況



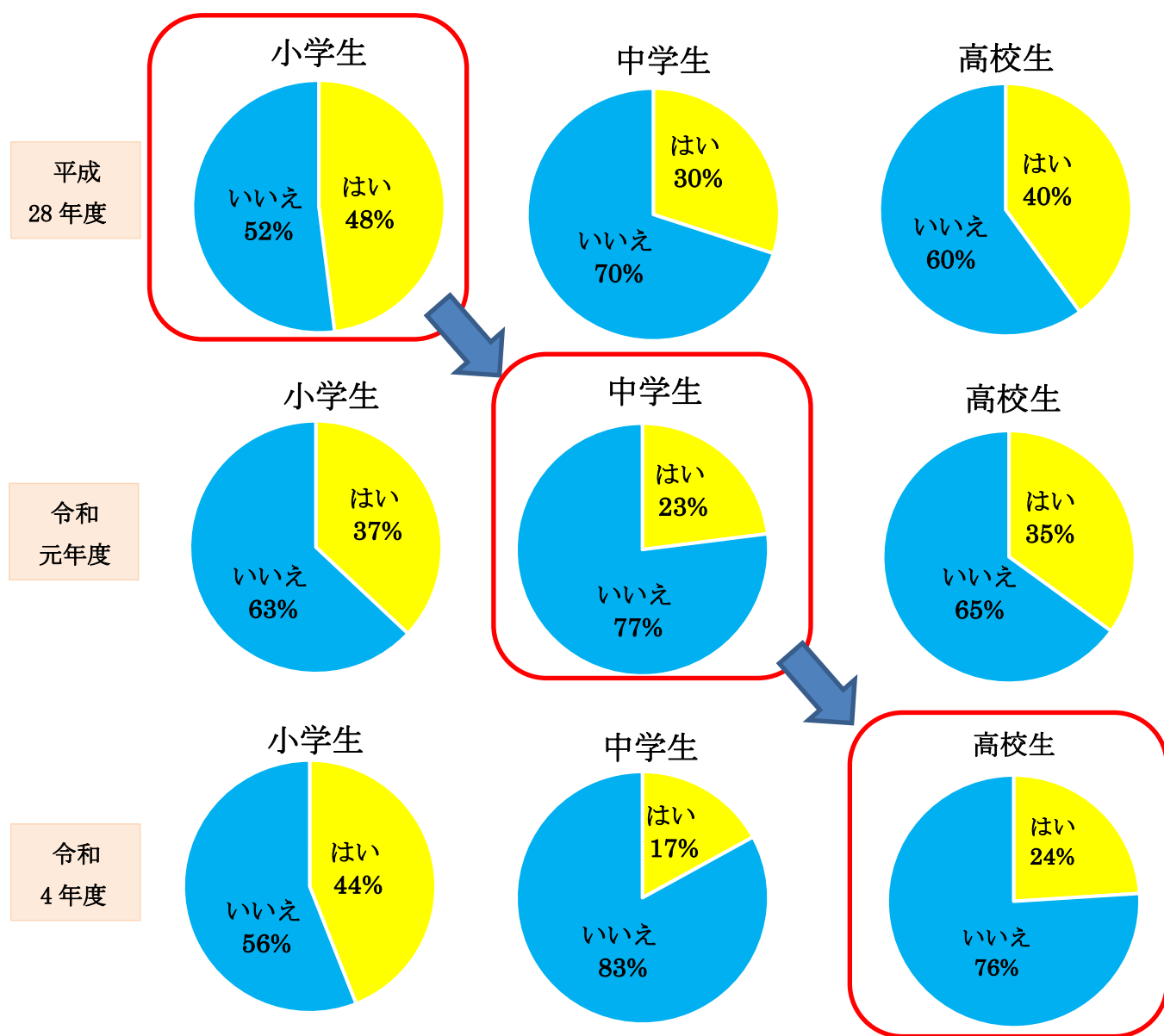
調査を開始してから「住んでいたい」が減少してきている状況で、今回の調査では更に4ポイント減少した。

【経年比較（全体）】



前回調査と比べ、中学、高校は「住んでたくない」が増える結果となったが、小学生は「住んでいたい」が7ポイント上昇した。男女比較では、「住んでたくない」が男子で7ポイント増える結果となった。

【経年比較（学年別）】



平成 28 年度の小学生として、賀茂地域に「住んでいたい」という意見の割合が最も高い世代であったが、高校生となった現在は「住んでいたくない」の割合が最も高い高校生世代となった。

住んでいたい理由

令和元年度

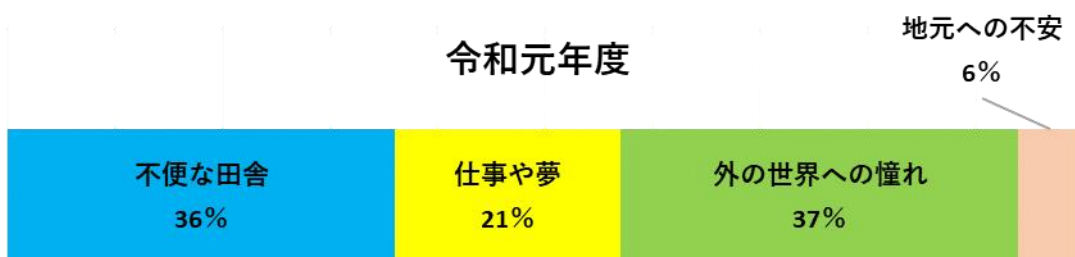


令和4年度



住んでたくない理由

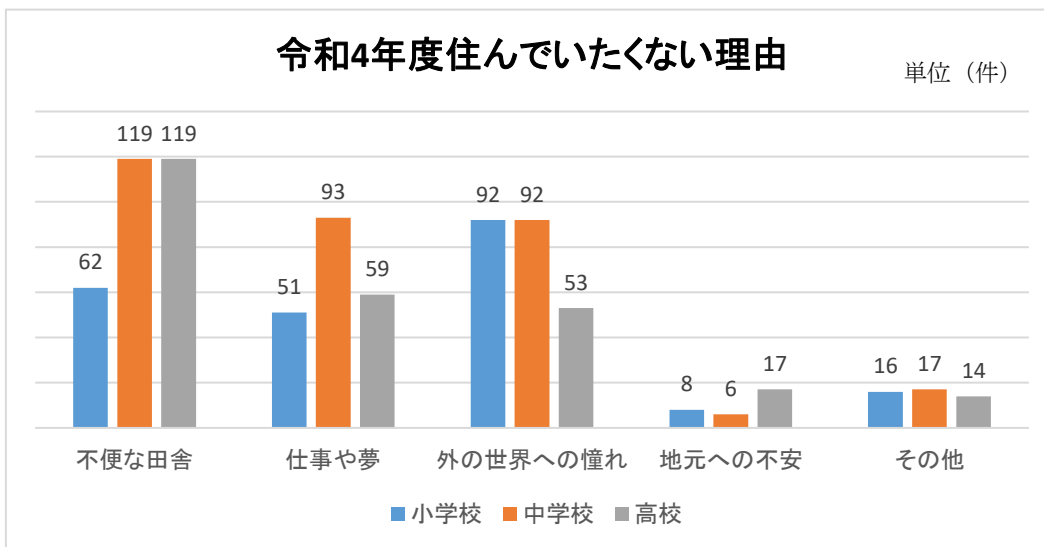
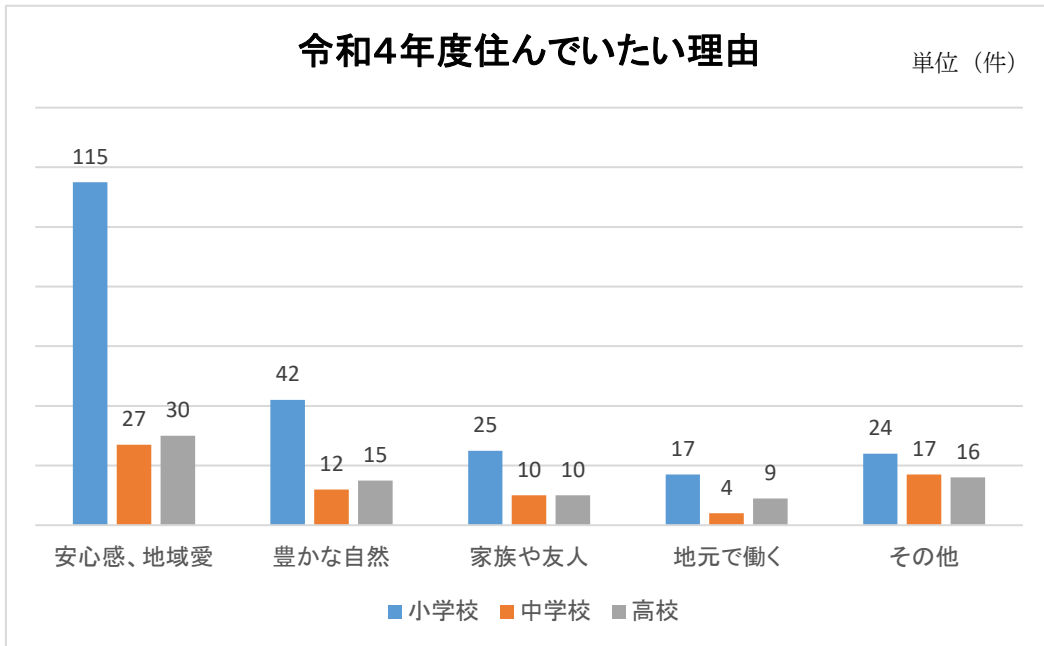
令和元年度



令和4年度



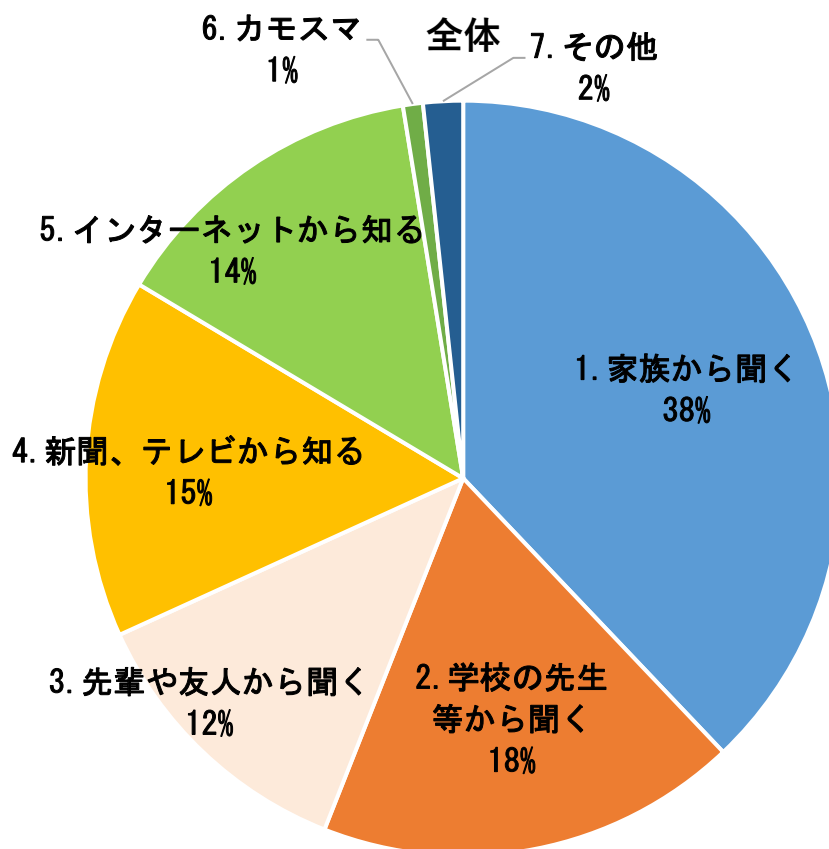
令和元年度と令和4年度の比較では、「安心感」8ポイント、「豊かな自然」が4ポイント減少しているが、「家族や友人」は6ポイント増加している。地域の特徴よりも人との関係に若干ではあるがシフトしているのであろうか。



令和4年度の「住んでいたい理由」「住んでいたくない理由」において、小学生で「安心感、地域愛」が最も多い。

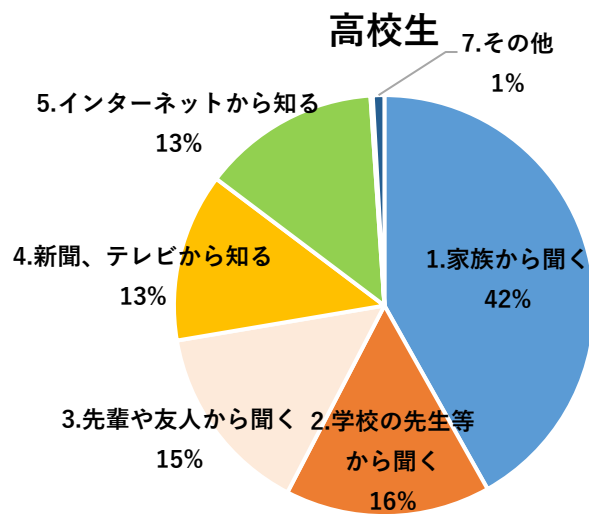
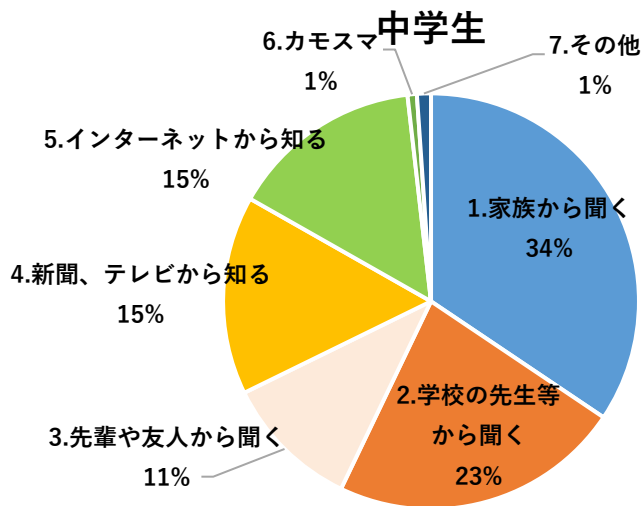
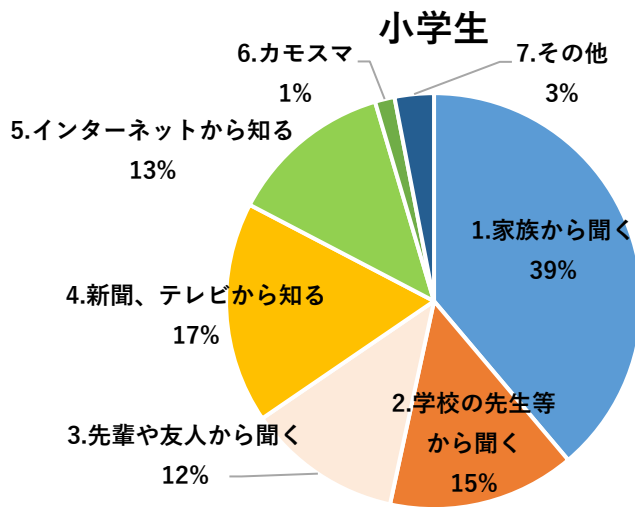
しかし、中学生と高校生では「安心感、地域愛」よりも「不便な田舎」が最も多い結果となった。

3. 「あなたは賀茂地域にどんな仕事があるのかをどうやって知りましたか」に対する回答状況

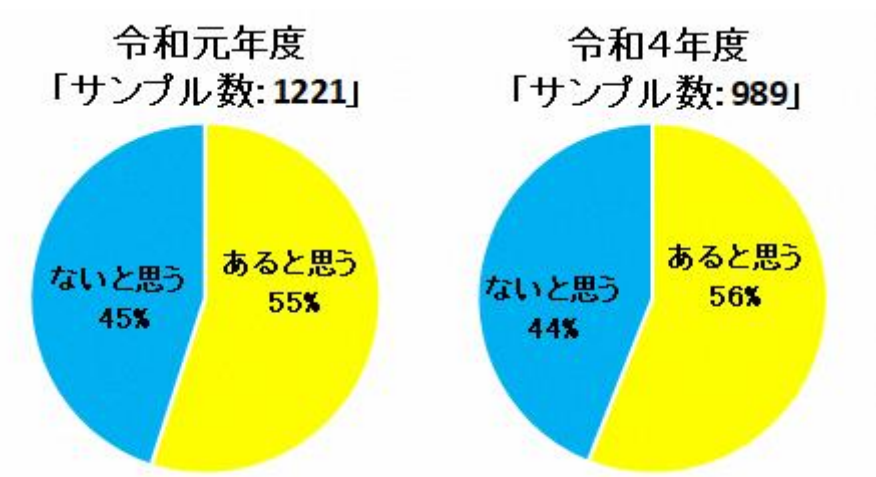


全体で最も多かったのが「家族から聞く」の38%であり、次いで「学校の先生等から聞く」の18%となった。「先輩や友人から聞く」も12%となり、身近な人から知る機会が多いことがわかった。

中学生は学校関係からの情報入手の数が他の年代よりも高い。



4. 「将来やりたい仕事や、なりたい職業が地域にあると思いますか」「その仕事は具体的にどんな名前の職業ですか」に対する回答状況



人気上位10の職業

R4小学校	R4中学校	R4高校	R4全体
1 飲食系	1 医療系	1 医療系	1 医療系
2 医療系	2 看護師	2 看護師	2 飲食系
3 公務員	3 飲食系	3 公務員	3 看護師
4 動物、ペット系	3 公務員	4 教育関係	4 公務員
5 看護師	5 美容系	4 IT系	5 美容系
6 芸能系	6 芸能系	4 美容系	6 動物、ペット系
7 ユーチューバー	7 動物、ペット系	7 建築、建設系	7 教育関係
8 ゲーム関係	8 絵を描く	7 飲食系	8 芸能系
9 その他スポーツ系	8 教育関係	9 芸能系	8 保育士
9 野球	10 建築、建設系	9 保育士	10 建築、建設系

令和元年度の調査と比べても、大きな違いはなかった。
職業は各年代共に、「公務員」「医療系」の人气が高く、安定志向が見て取れる。

5. 「もしもの話です。あなたの好きなことで、賀茂地域で将来お金を稼いで生活できるとしたら、それはどんなことですか」に対する回答状況

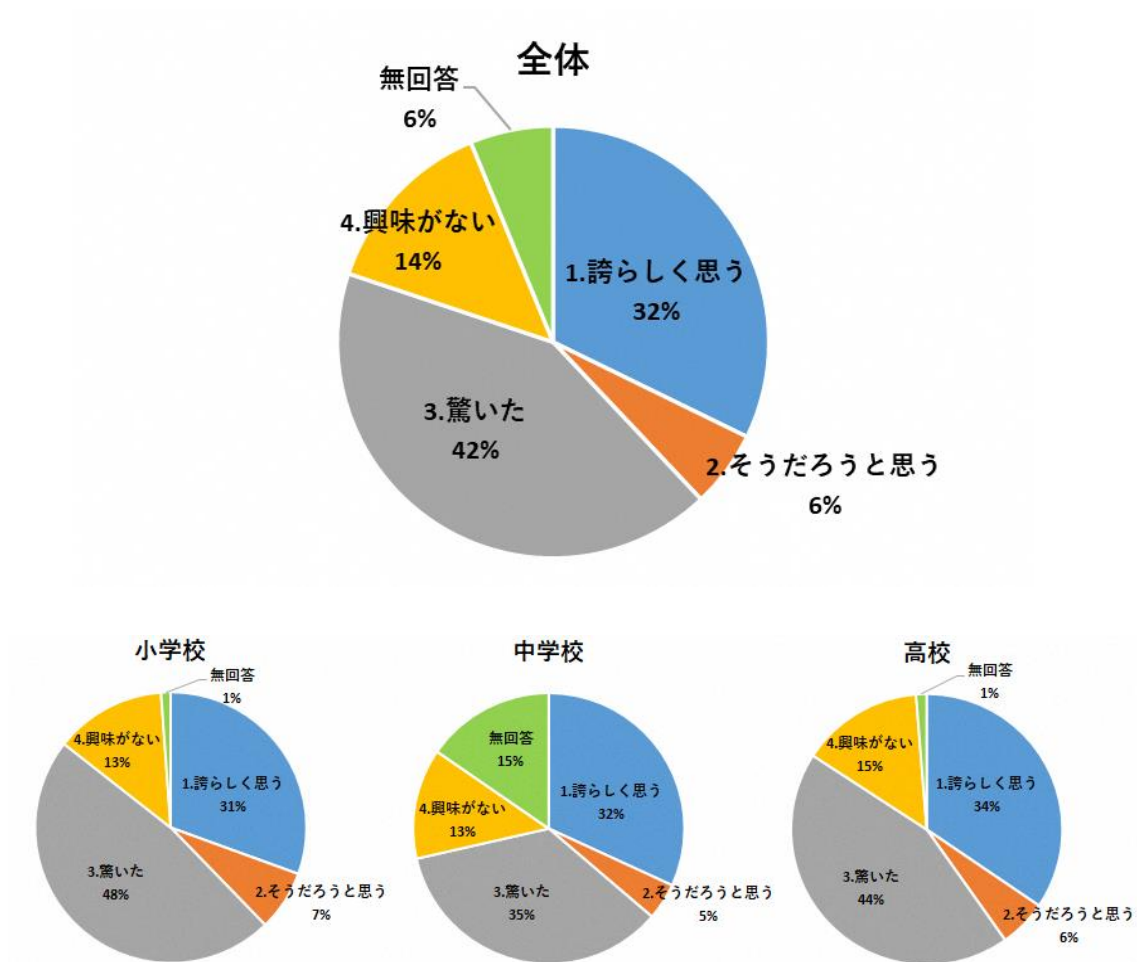
人気上位10の職業

R4小学校	R4中学校	R4高校	R4全体
1 ゲーム関係	1 自然系	1 飲食系	1 飲食系
2 飲食系	2 飲食系	2 その他スポーツ系	2 ゲーム関係
3 絵を描く	3 絵を描く	3 地元で働く	3 自然系
4 ユーチューバー	4 教育関係	4 医療系	4 絵を描く
5 動物、ペット系	5 医療系	4 美容系	5 その他スポーツ系
6 その他スポーツ系	6 その他スポーツ系	6 自然系	6 ユーチューバー
6 地元で働く	6 芸能系	7 芸能系	6 地元で働く
8 医療系	6 ゲーム関係	7 一次産業	8 医療系
9 芸能系	9 地元で働く	7 ゲーム関係	9 芸能系
9 自然系	10 ユーチューバー	7 教育関係	10 教育関係
	10 美容系		

全体的に飲食系の人気が高かった。

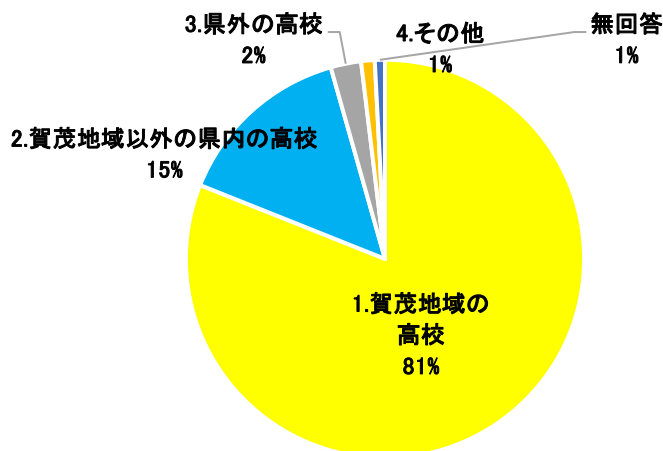
中学生の1位に自然を利用した仕事が入ったのをはじめ、「地元で働く」を選択する生徒が多かった。

6. 「静岡県が2年連続移住したい都道府県1位に選ばれましたが、そのことについてどう感じますか」に対する回答の状況



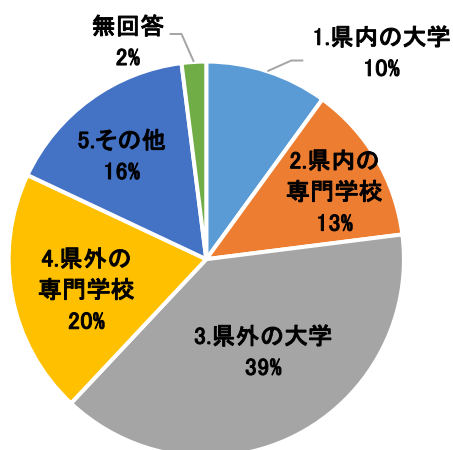
各世代で「驚いた」が最も多い回答となり、次いで多いのが「誇らしく思う」となった。

7. 「あなたの進路について教えてください」に対する回答状況



中学生の進路

	東伊豆町	河津町	下田市	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	計
1. 賀茂地域の高校	40	41	101	42	37	34	295
2. 賀茂地域以外の県内の高校	12	7	15	11	4	4	53
3. 県外の高校	1	0	5	2	1	0	9
4. その他	0	0	2	1	1	0	4
無回答	0	0	1	0	0	2	3
計	53	48	124	56	43	40	364



高校生の進路

	稲取高校	下田高校	下田高校 南伊豆分校	松崎高校	計
1. 県内の大学	3	19	3	7	32
2. 県内の専門学校	14	6	4	17	41
3. 県外の大学	12	106	0	6	124
4. 県外の専門学校	20	17	5	20	62
5. その他	21	6	5	17	49
無回答	1	3	0	4	8
計	71	157	17	71	316

2 住民アンケート

目的・実施方法

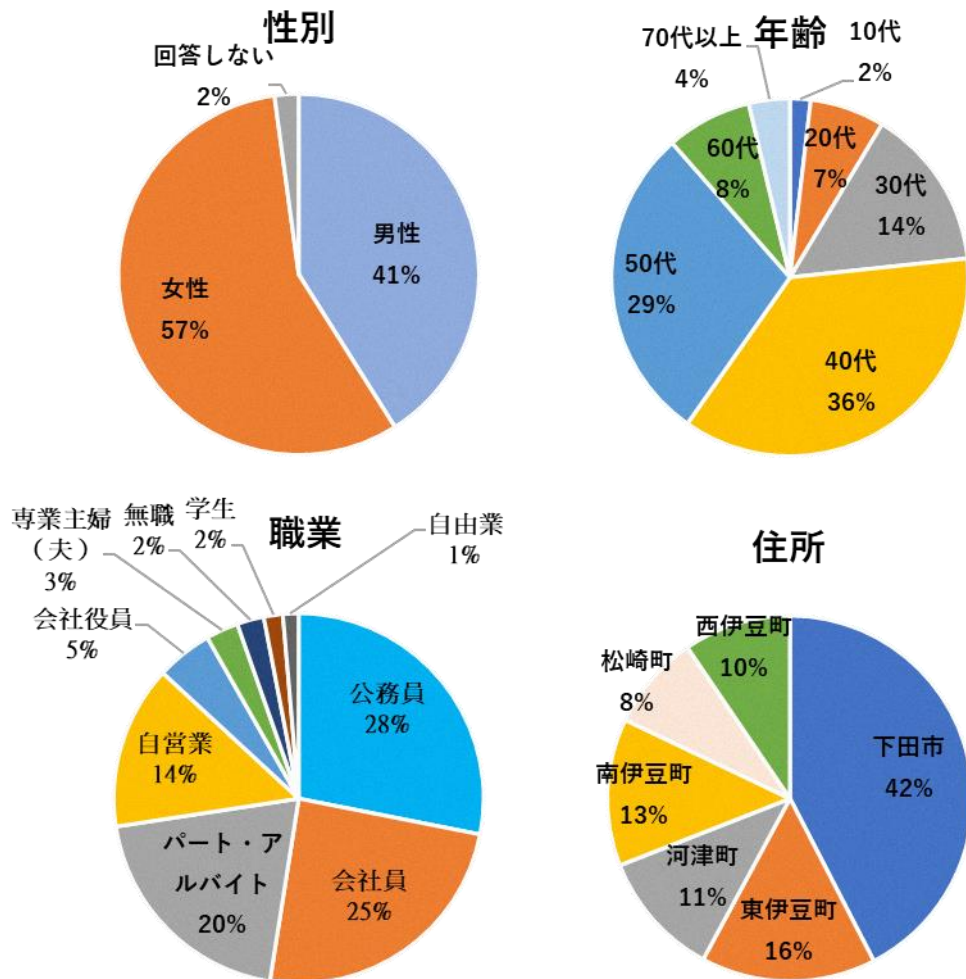
賀茂地域の全ての小・中・高校の最高学年生を対象にしたアンケート調査を受け、その結果を公表しつつ一般住民向けにアンケートを実施した。

なお、調査の概要については、以下のとおり。

調査概要

対象者	賀茂地域（1市5町）の全住民
実施期間	令和4年12月1日～12月28日
サンプル数	1021（うちwebアンケート715）
調査方法	学校、商工会等を経由し、アンケートを配布、回収。 webアンケートも実施
調査項目	基本属性（性別、居住地、職業、年代） ・将来的にもっとたくさんの人に地元に住んでほしいと思うか？ ・子や孫に地元で将来的に住んでほしいと思うか？ ・その理由は？ ・子や孫にどんな仕事に就いてほしいか？ ・将来的に子供たちが帰ってくるような地域にするには、 どうすれば良いか？ ・住んでいる市町の魅力は何か？その魅力は十分に発信できているか？ ・どう発信すればいいか？ ・あなたの趣味は？それは他人に指導できるか？

対象者属性



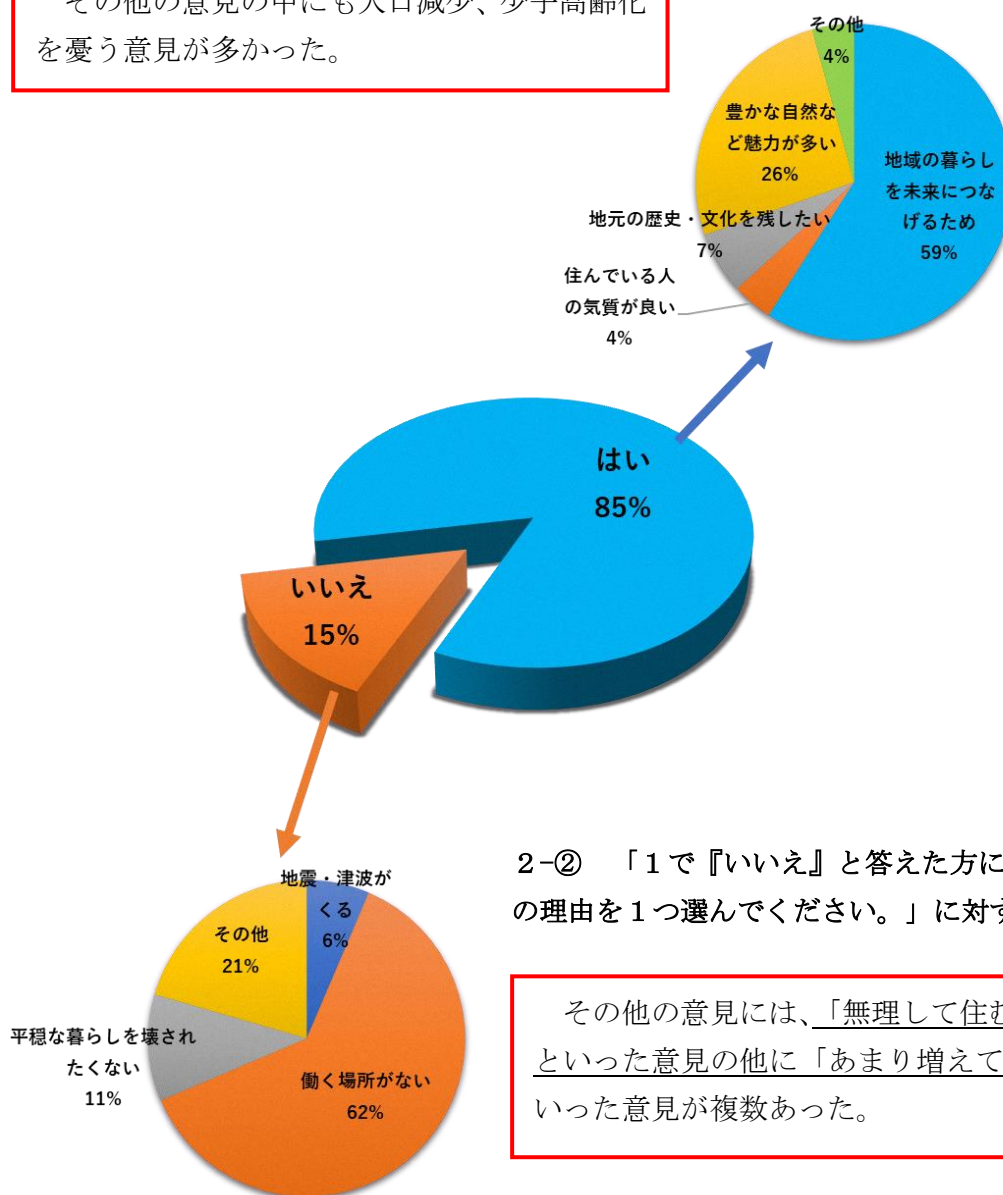
調査結果

1. 「あなたは将来的にたくさんの人に地元に住んでほしいと思いますか」に対する回答状況

全回答のうち、「はい」が85%となった。「はい」の理由は、「地域の暮らしを未来につなげるため」が59%、「いいえ」の理由は「働く場所がない」が62%となり、最も多かった。

2-① 「1で『はい』と答えた方にお伺いします。その理由を1つ選んでください。」に対する回答状況

その他の意見の中にも人口減少、少子高齢化を憂う意見が多かった。



2-② 「1で『いいえ』と答えた方にお伺いします。その理由を1つ選んでください。」に対する回答状況

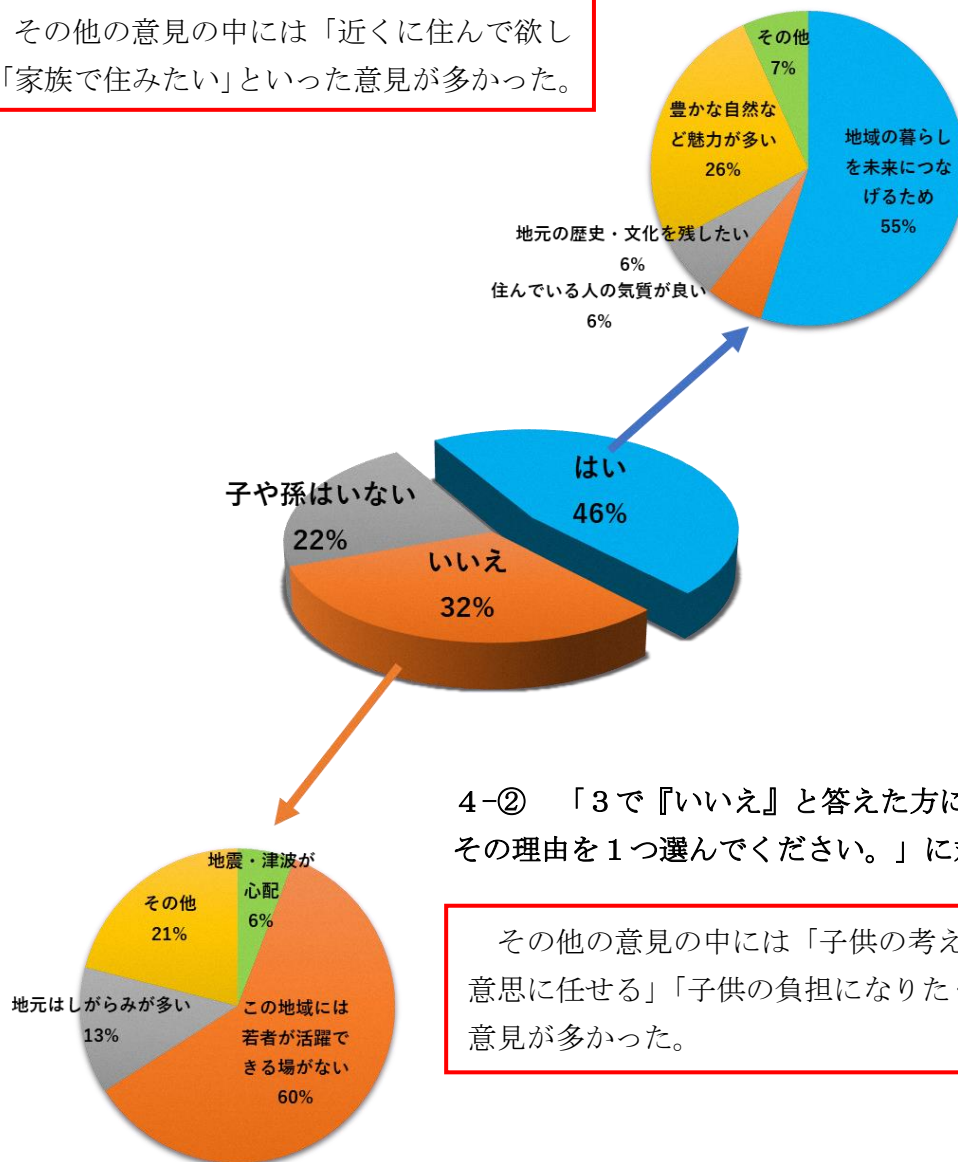
その他の意見には、「無理して住むべきではない」といった意見の他に「あまり増えて欲しくない」といった意見が複数あった。

3. 「お子さんやお孫さんがいる場合にお伺いします。あなたのお子さんやお孫さんに将来的に地元に住んでほしいと思いますか」に対する回答状況

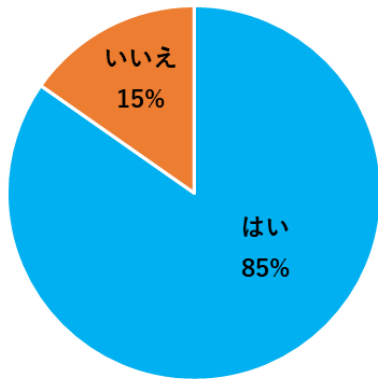
回答のうち、「はい」が46%となった。「はい」の理由は、「地域の暮らしを未来につなげるため」が55%、「いいえ」の理由は「この地域には若者の活躍できる場がない」が60%となり、最も多かった。

4-① 「3で『はい』と答えた方にお伺いします。その理由を1つ選んでください。」に対する回答状況

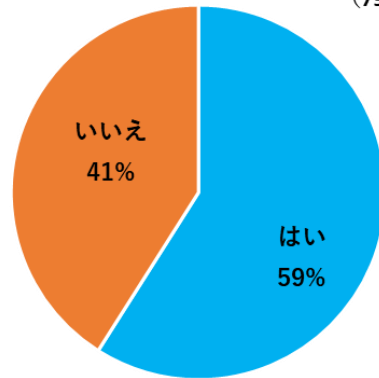
その他の意見の中には「近くに住んで欲しい」「家族で住みたい」といった意見が多かった。



将来的にたくさんの人に地元に住んでほしいか？
(1021人)



子や孫に将来的に地元に住んでほしいか？
(795人)



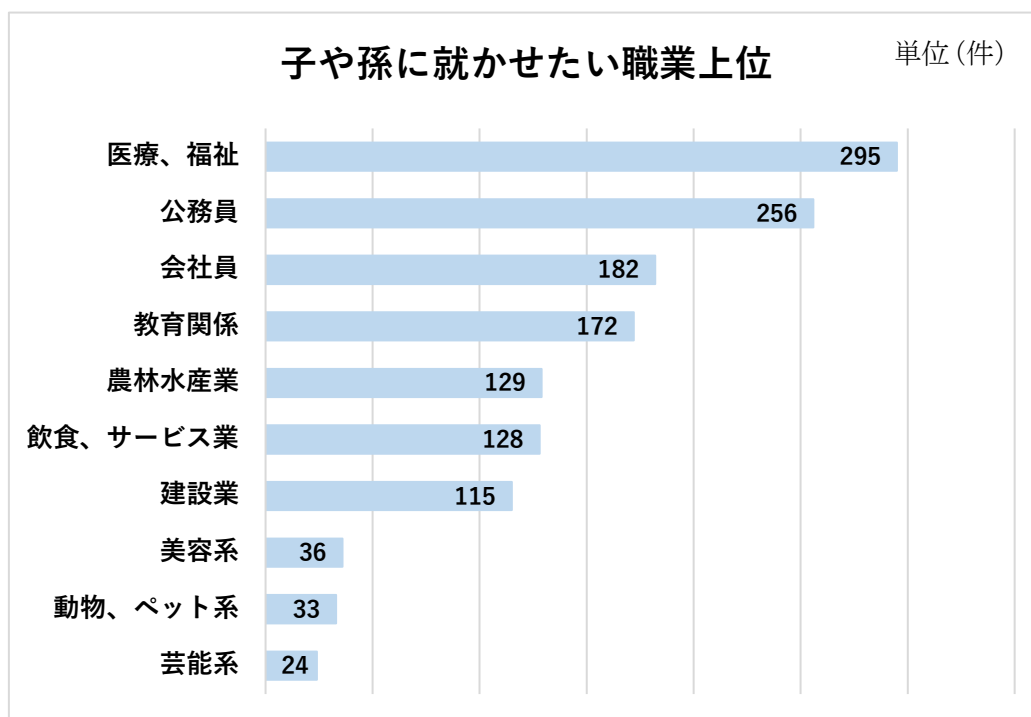
		子や孫に将来的に地元に住んでほしいか	
		はい	いいえ
将来的にたくさんの人に地元に住んでほしいか	はい	58% (457人)	25% (202人)
	いいえ	2% (15人)	15% (151人)

(子や孫がいる795人の内訳)

子や孫の居る回答者(795人)で、「将来的にもっとたくさんの人に住んでほしいか」に「はい」と答え、「あなたのお子さんやお孫さんに地元で将来住んでほしいか」に「はい」と回答した方は全体の58%(457人)と最も多かった。

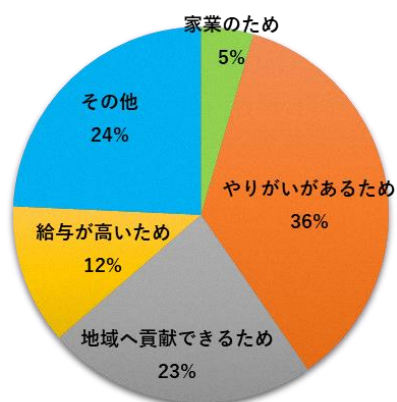
一方で、「将来的にもっとたくさんの人に住んでほしいか」に「はい」と答え、「あなたのお子さんやお孫さんに地元で将来住んでほしいか」に「いいえ」と回答した方が全体の25%(202人)と2番目に多い結果となった。

5-① 「お子さんやお孫さんにどのような仕事に就いて欲しいですか」
(複数回答可) に対する回答状況



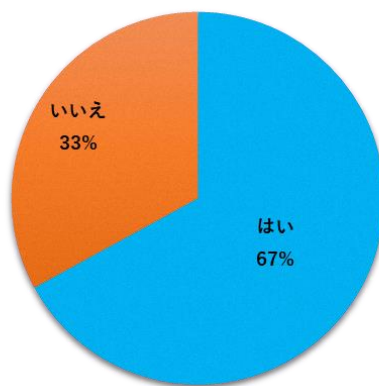
子や孫に就かせたい職業は医療系、公務員、会社員と、上位には安定した仕事が入った。
その他意見は、子や孫本人の意思に任せるニュアンスの回答が一定数あった。

5-② 「その理由は何ですか」に対する回答状況



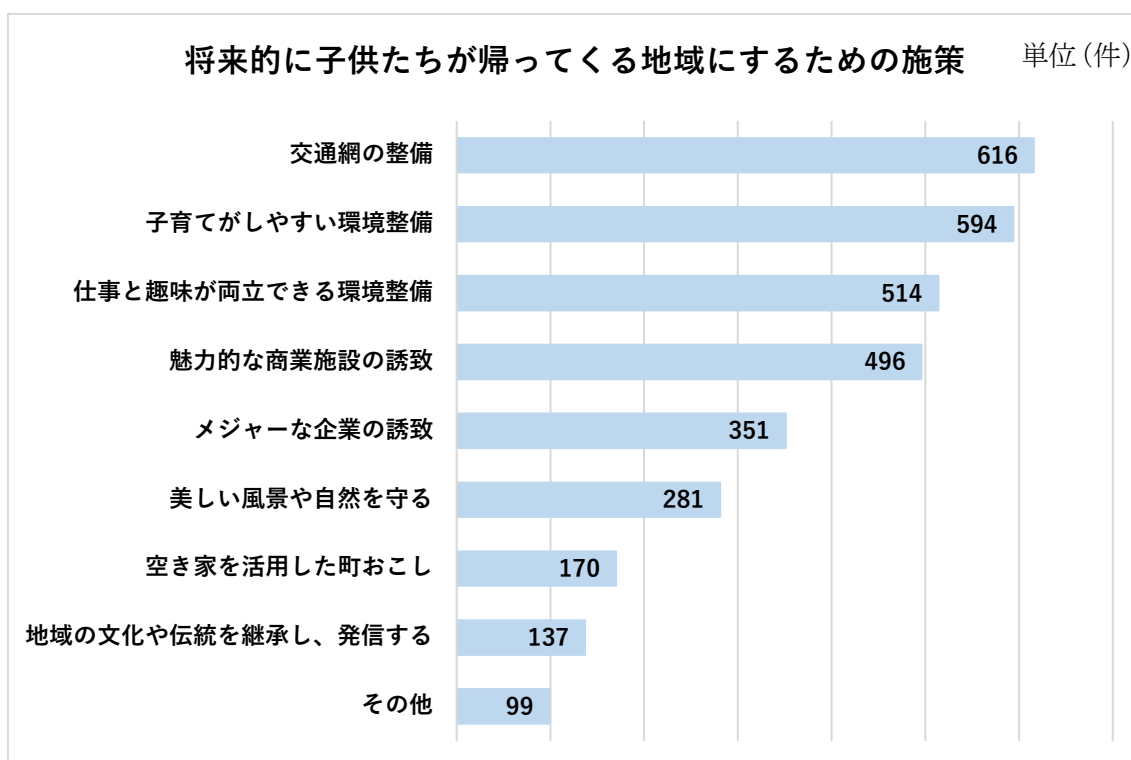
「やりがいがある。」「地域へ貢献できる」の回答で全体の50%を超えた。その他の意見の中では「子供の好きなように」と「収入が安定している」というニュアンスの回答が目立った。

5-③ 「その仕事は賀茂地域にありますか」に対する回答状況



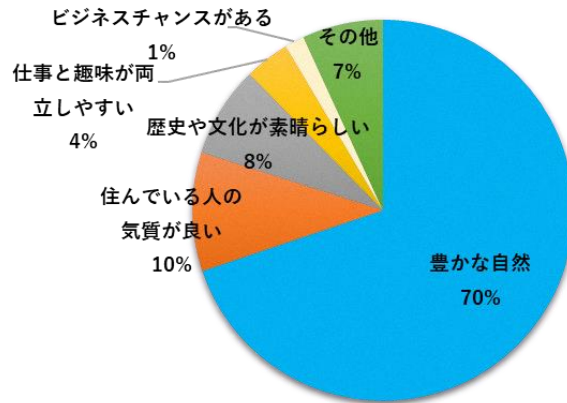
賀茂地域内にも「子や孫に就かせたい仕事がある」と答えた方が67%と高い回答率だった。

6. 「今回の調査で、子供たちは賀茂地域に将来やりたい仕事はあるが、『住んでたくない』という傾向が見られます。将来的に子供たちが帰ってくるような地域にするには、どうすれば良いと思いますか」（複数選択可）に対する回答状況

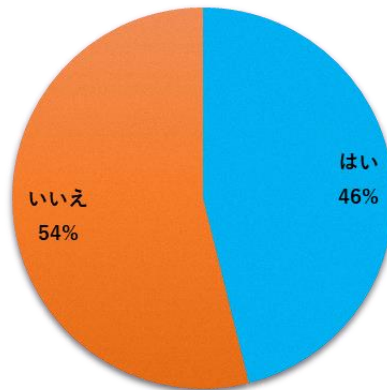


「交通網の整備」が最も多く、「子育てがしやすい環境整備」が続いた。
「仕事と趣味が両立できる環境整備」が3位に入り、その他の意見の中でも「リモートワーク」というワードが複数見られた。

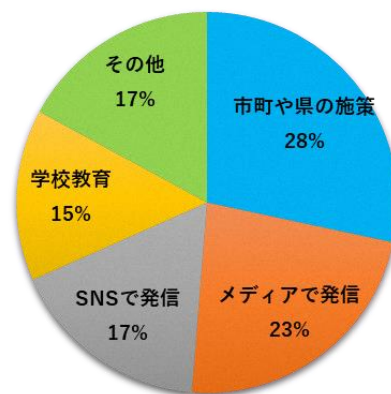
7-① 「お住まいの市町の魅力を教えてください」に対する回答状況



7-② 「その魅力は地域の方へ十分に伝わっていると思いますか」に対する回答状況



7-③ 「7-②で、『いいえ』と答えた方にお伺いします。お住まいの市町の魅力をどのように発信すれば、地域の方に伝わるとお思いますか」に対する回答状況



居住地の魅力では圧倒的に「豊かな自然」が選ばれ、「住んでいる人の気質がいい」「歴史や文化が素晴らしい」が続いた。

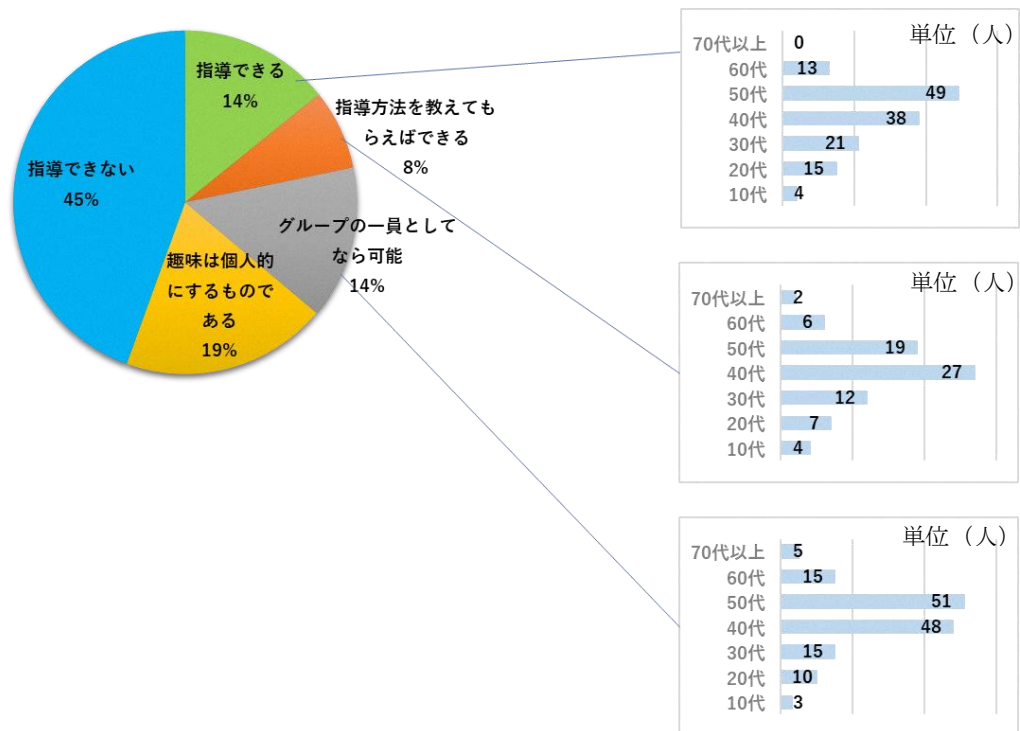
地域の方へその魅力が伝わっていないという選択肢が 54% となり、その発信方法は「メディア」や「SNS」を抑え、「市町や県の施策」が最も多く選ばれた。

8-① 「今後、観光資源に活用するために、あなたの趣味について教えてください。あなたの趣味は何ですか」（複数回答可）に対する回答状況

1	旅行	264	17	まちおこし	50
2	音楽鑑賞	218	17	演奏	50
3	映画鑑賞	205	19	サッカー	47
4	料理	194	20	自転車	45
5	読書	153	21	テニス	44
6	特になし	143	22	野球	42
7	ハイキング、山歩き	138	23	絵画	36
8	釣り	137	24	ダンス、踊り	35
9	農園芸	109	25	お花	34
10	SNS	106	26	陶芸	27
11	キャンプ	105	27	カヤック	24
11	ゲーム	105	28	eスポーツ	21
13	手芸	78	29	お茶	19
14	カメラ	77	30	動画配信	18
15	サーフィン	66	31	ゴルフ	16
16	歴史	56	32	バレーボール	6
				その他	118

単位(件)

8-② 「その趣味は他人に指導することはできますか」に対する回答状況



「旅行」をはじめ、一般的な趣味が上位に入った。
なんらかの形で趣味を指導出来ると答えた方は全体の 36% (369 人) と高比率
 で、年代別に見ると、40代と50代に多かった。

3 二十歳の若者アンケート

目的・実施方法

賀茂地域の二十歳を迎える若者に対し、賀茂地域の全ての小・中・高校の最高学年生を対象にしたアンケート結果の一部を公表しつつ web アンケートを実施した。

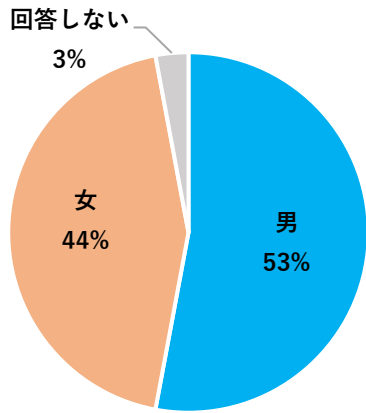
なお、調査の概要については、以下のとおり。

調査概要

対象者	賀茂地域（1市5町）の二十歳の集い対象者 平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの方
実施期間	令和4年10月1日～令和5年1月10日
サンプル数	169
調査方法	WEB アンケートにて実施。 松崎町を除く各市町において、URL を記載したチラシを対象者へ郵送。松崎町では実行委員会を経由し、LINE にて URL を周知。 また、1月8日二十歳の集い当日に、西伊豆町を除く各市町会場にて再度、周知活動を実施。
調査項目	基本属性（性別、居住地、現状） ・将来、賀茂地域で生活し続けたいと思うか？その理由は？ ・あなたが賀茂地域に生活し続けるためにどんな取り組みが必要だと思うか？ ・あなたは賀茂地域に魅力を感じているか？その理由は？

対象者属性

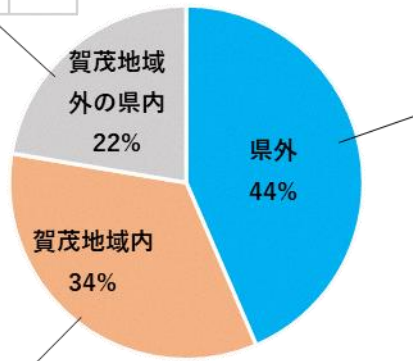
性別



現在のお住まい（人）

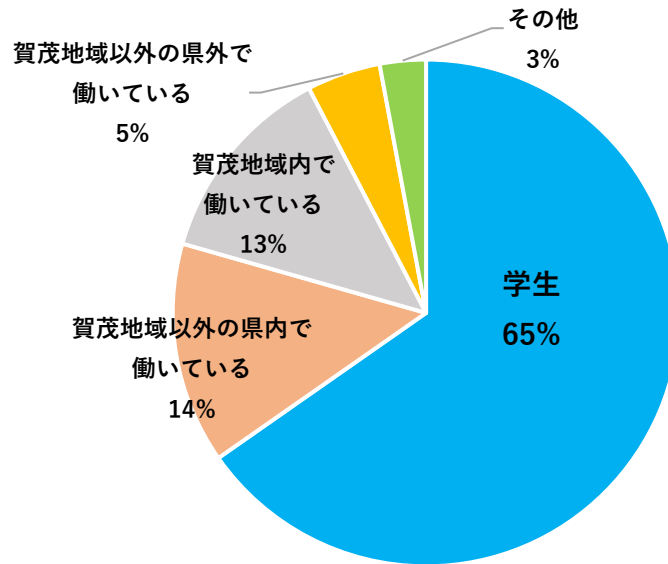
静岡市	9	伊豆の国市	1
沼津市	8	掛川市	1
清水町	4	磐田市	1
長泉町	2	浜松市	1
御殿場市	2	焼津市	1
三島市	2	小山町	1
伊東市	2	函南町	1
伊豆市	1	無回答	1

東京都	23	兵庫県	1
神奈川県	20	熊本県	1
愛知県	7	鳥取県	1
山梨県	6	茨城県	1
埼玉県	5	宮城県	1
北海道	2	三重県	1
千葉県	3	無回答	2



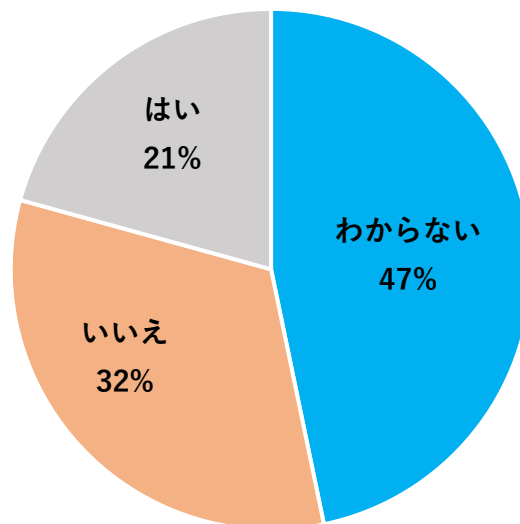
下田市	30
東伊豆町	11
南伊豆町	5
河津町	5
西伊豆町	4
松崎町	2

現在の状況

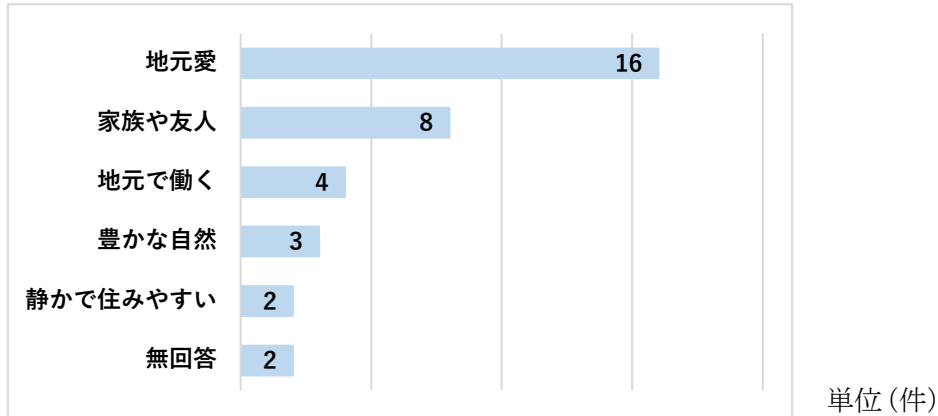


調査結果

1. 「将来、出身地、賀茂地域内で生活したい、生活し続けたいと考えていますか」に対する回答状況

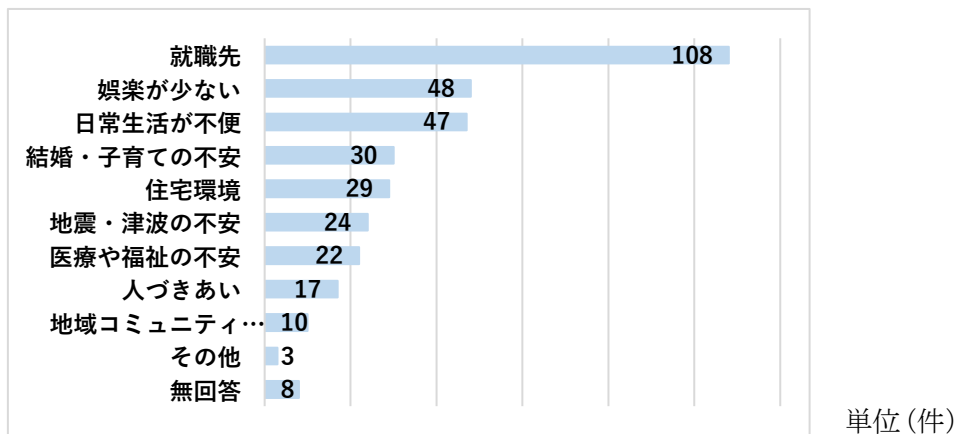


2-① 「1で『はい』に回答した方にお尋ねします。その理由は何ですか」に対する回答状況



「将来、出身地、賀茂地域内で生活したい、生活し続けたいと考えていますか」に、「はい」と答えた21% (35人)の方のうち、その理由は「地元愛」が最も多く、次いで、「家族や友人」となり、居心地の良さから生活し続けたいという意見で占めた。

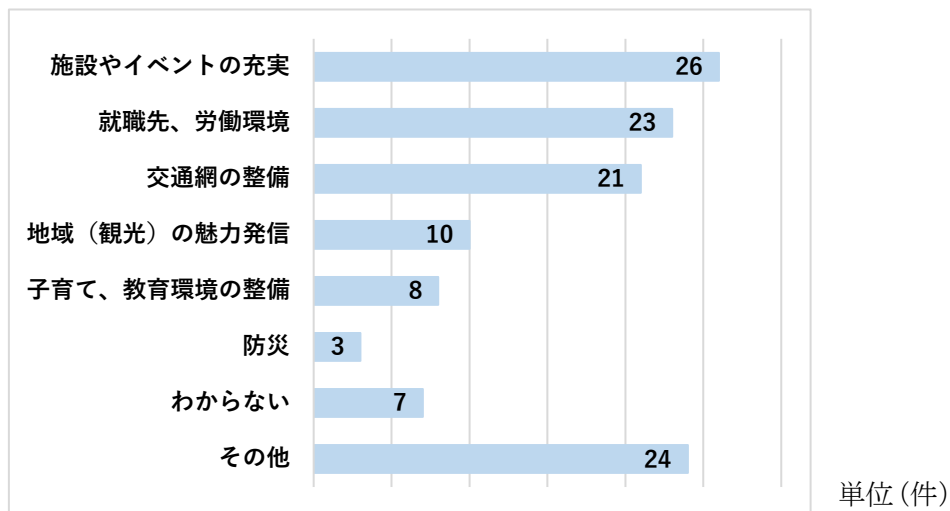
2-② 「1で『いいえ』もしくは『わからない』に回答した方にお尋ねします。その理由は何ですか」に対する回答状況



※地域コミュニティ…は地域コミュニティ（消防団、祭典等）のわずらわしさ

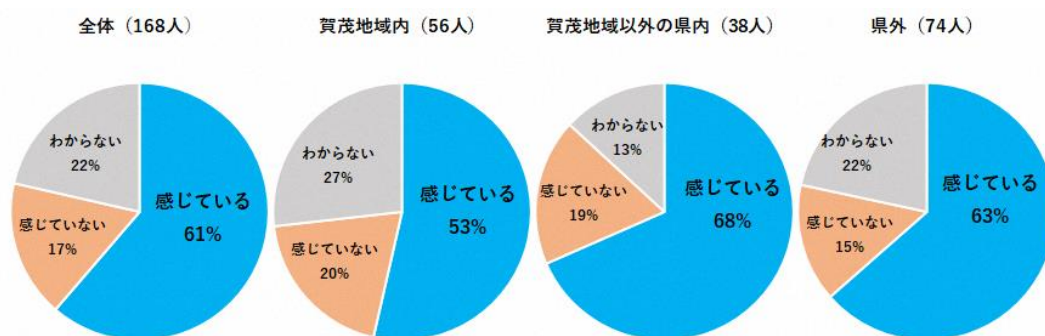
「将来、出身地、賀茂地域内で生活したい、生活し続けたいと考えていますか」に、「いいえ」「わからない」と答えた79% (134人)の方のうち、その理由は「就職先」への不安が最も多く、次いで、「娯楽が少ない」「日常生活が不便」が続いた。

3. 「あなたが賀茂地域に住む（住み続ける）ためには、どのような取り組みが必要と考えますか」に対する回答状況



「大型商業施設やイベントの充実」「就職先の増加」「電車の本数を増やすなどの交通網の整備」を推す意見が多かった。

その他の意見としては「地域活性化」「医療の充実」「社会保障の充実」などが挙げられた。



現在の居住地別に見ると、賀茂地域に魅力を感じている61%（103人）の方のうち、賀茂地域内在住の方53%（30人）よりの賀茂地域外在住の方がそれぞれ10%以上（合計73人）多かった。

5-① 「4で『賀茂地域に魅力を感じている』と答えた方に質問です。どういったところに魅力を感じますか」に対する主な回答

- ・全てが揃ってる東京も便利でいいが人が少なく、空気が良く景色が綺麗な田舎も違う良さがあると思う。
- ・夕日などの景色が綺麗だったり、観光地が多いところなど。上京してからも伊豆は色んな方から褒められます。
- ・海、山、人の優しさが感じられる

自然が豊かで、海、山が綺麗、そして人がやさしいという意見が大半を占めた。現在、自分が暮らす場所との対比の意見も見られ、地元の素晴らしさを顧みる意見があった。

5-② 「4で『賀茂地域に魅力を感じていない』と答えた方に質問です。

その理由をご記入ください。」に対する主な回答

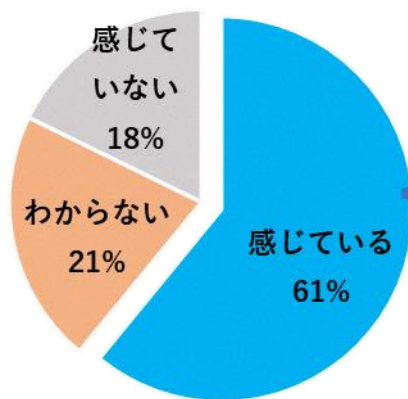
- ・歴史に頼りすぎている。新しいチャレンジが見られない。
- ・将来性を感じない
- ・人がいない、娯楽が何もない
- ・自然だけの場所。電車がいないところは行きづらい。

自然以外何もない、将来性、発展性がない、不便で人（若者）がいないという意見が多く、期待感が感じられない意見が目立った。

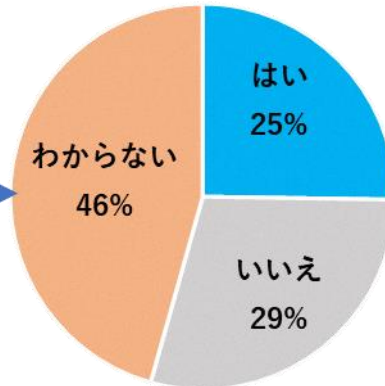
6. 「現在の出身地の市町の状況や、賀茂地域の他の市町に対してのご意見などありましたら自由にお書きください。」に対する主な回答

- ・今東京に住んでいるので、地元の良さをとても感じている。自然が好きなので、自然を感じながら生活したい。できれば帰って働きたいが、働きたいと思える場所がない。
- ・私の出身の西伊豆町は、地域通貨を発行し、町内にお金が回るような仕組みが整っている
- ・人がいない、娯楽が何もない
- ・最近は移住者が増え、町が進化しているという印象があります。時々SNS から地元の情報を得ています。イベントをもっと充実させてほしいです。

賀茂地域に魅力を感じていますか？



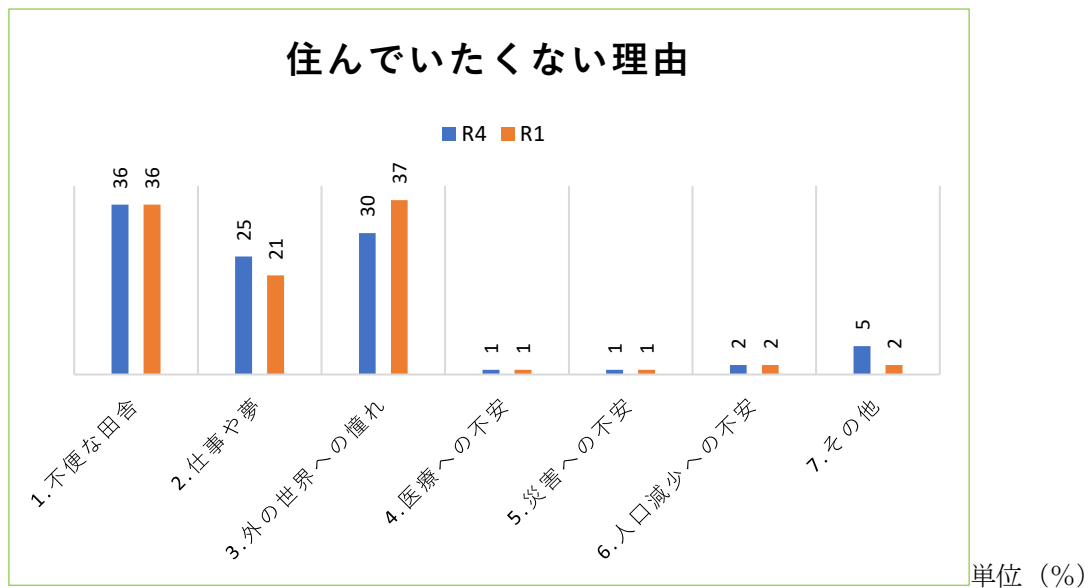
賀茂地域内で生活したいか？



設問4「あなたは賀茂地域に魅力を感じていますか」に「魅力を感じている」と回答した61%（103人）の方のうち、設問1「将来、出身地、賀茂地域内で生活したい、生活し続けたいと考えていますか」に「はい」と回答した方は25%（26人）だった。

4 考察

賀茂地域に住んでいくたくない理由として、「不便な田舎」に対する不満は前回アンケートと変わらず高比率（36ポイント）を維持し、「外の世界への憧れ」が7ポイント減少（30ポイント）したのに対し、「仕事や夢」が4ポイント上昇（25ポイント）した。



しかし、学生全体の55%が賀茂地域に「やりたい仕事」や「なりたい職業」があると答えており、15年後に賀茂地域に「住んでいたい」か「住んでいくたくない」かの答えと照らし合わせると以下のとおりとなる。

令和元年度 「サンプル数:1251人」			将来やりたい仕事や、なりたい職業を 思い浮かべてください。 その仕事は、賀茂地域にあると思いま すか？			
			ある	ない	無回答	計
今から15年後、 あなたは賀茂地 域に住んでいた いですか？	はい	小学生	66%	30%	4%	100%
		中学生	68%	30%	2%	100%
		高校生	77%	21%	3%	100%
	いいえ	小学生	46%	52%	2%	100%
		中学生	45%	52%	4%	100%
		高校生	48%	49%	3%	100%

令和4年度 「サンプル数:1026人」			将来やりたい仕事や、なりたい職業を 思い浮かべてください。 その仕事は、賀茂地域にあると思いま すか？			
			ある	ない	無回答	計
今から15年後、 あなたは賀茂地 域に住んでいた いですか？	はい	小学生	67%	31%	3%	100%
		中学生	71%	24%	5%	100%
		高校生	67%	29%	4%	100%
	いいえ	小学生	42%	57%	1%	100%
		中学生	51%	44%	4%	100%
		高校生	51%	46%	3%	100%

令和元年度は「住んでたくない」と答えた学生のうち、賀茂地域にやりたい仕事
が「ない」と答えた学生が「ある」の比率を上回ったが、令和4年度の調査では、
「住んでたくない」と答えた中学生と高校生で、「ある」の比率が上回った。特に
前回調査では中学生だった学生が、高校生になった今回は、前回は6ポイント上回っ
た。

「仕事がある」のに住んでたくないという学生の比率が増えたのは、外の世界へ
の憧れや不便な田舎からの脱出という要因もあるが、より給与や労働条件の良い職場
を「外の世界」に求める事が一因だと予想出来る。

1. 賀茂地域内の職業、労働環境の把握の必要性

学生が賀茂地域にどんな仕事があるのかをどうやって知ったかの質問で、最も多か
ったのが「家族から聞く」であった。

学生が「なりたい職業」と家族が「子や孫に就かせたい職業」を比較すると以下の
とおりとなる。

R4学生のなりたい職業		R4子や孫に就かせたい職業	
1	医療、福祉	1	医療、福祉
2	飲食、サービス業	2	公務員
3	公務員	3	会社員
4	会社員	4	教育関係
5	美容系	5	農林水産業
6	教育関係	6	飲食、サービス業
7	芸能系	7	建設業
8	建設業	8	美容系
9	動物、ペット系	9	動物、ペット系
10	IT系	10	芸能系

それぞれ上位10のカテゴリーで比較すると、順位に多少の違いはあるが職種の揃っ
たデータとなった。

家族から職業の情報が伝達されることが多いのであれば、子や孫を持つ家庭に賀茂地域の求人や職業を知らしめる機会を増やすことが、学生に地元の職を顧みる事を増やすことに繋がるのではないだろうかと考察出来る。

		その仕事は賀茂地域 にありますか？	
		はい	いいえ
子や孫に将来的に地元に住 んでほしいと思いますか？	はい	47	12
	いいえ	20	21

単位 (%)

また、子や孫に「将来的に地元に住んでほしくない」と答えた方のほぼ半数（157人）も、「子や孫に就いて欲しい職業」が賀茂地域にあると答えている。「仕事はあるが、地元に住んで欲しくはない」という考えは、他の地域の方が条件のいい仕事があるとの判断からだろうが、家族が実際に賀茂地域内の企業の給与や労働条件を把握しているかは未知数である。家族の次に職業の情報を得る相手として多かつた学校の先生なども含め、求人情報を正確に伝える事も必要だと考察される。

2. 各世代の多くの住民が、「賀茂地域には働く場所がある」と認識している中、今後、どのような環境整備が出来るか。

交通網の整備、大型商業施設の誘致など、学生から指摘の多かつたリクエストをすぐに具体化するのには、様々な好条件が整わないと、現状では難しいだろう。

今回のアンケートでは、多くの学生や二十歳を迎えた新成人が「賀茂地域が好き」と答えている。豊かな自然環境などの理由が多いが、生まれ育った土地への愛着心を維持させることも大切だ。賀茂地域の情報発信を官民一体で行い、素敵な場所への郷愁を湧き立たせることも必要だと思われる。

都会の労働環境に劣るのが、給与や労働環境であれば、賀茂地域で暮らしていくために必要だという意見の多かつた、「仕事と趣味が両立出来る環境」や「子育てしやすい環境」等の整備がその差を補うために必要である。物価安、田舎ならではの暮らしやすさなどが、都会で暮らす魅力を越えた時に人口減少、少子高齢化のスピードが緩やかになると考えられる。

おわりに

平成 28 年に始まったアンケート調査で、当時回答してくれた小学 6 年生は現在、高校 3 年生となり、この春、卒業という新たな門出を迎えました。この年代は 6 年前当時のデータから少し振り返ると、「今から 15 年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？」の質問に「住んでいたい」と 48% の生徒が答え、これまでの調査で最も高い割合であったが、3 年後の中学生では 23%、高校生となった今回は、24% とこれまでの調査で、過去最少でした。この卒業生たちが将来、どのくらい賀茂地域に帰ってきて、暮らしてゆくのか全く想像が出来ませんが、帰ってきやすい環境整備は必須です。

また、6 年間で 300 人超という凄いスピードで生徒の数が減少しています。「自然豊かで子育てに良い」と、他県からの移住者が増えた例のある賀茂地域ですが、住民アンケートや二十歳の若者アンケートからは、「子育てしやすい環境整備が必要」という意見が多く出ています。行政のサービスや更なる教育環境の整備などと共に、住人による幅広い世代間の交流を通して、子育てがしやすい雰囲気作りも必要ではないかと思えます。

今回初めて、住民アンケートの中で、「趣味」について聞きました。結果、369 人の方が、何らかの形で自分の趣味を指導できると答えています。今後の取り組み次第では、趣味を観光資源にすることができる可能性が見えたのではないかと思います。趣味は、若い時から経験していないとなかなか人に指導できるレベルになるのは難しいことを考えると、指導できる年齢が 60 代以上の方が多いのではと思っていましたが、40 代、50 代の人に多かったのはちょっと意外な結果でした。

しかし、今後も高齢化が進む賀茂地域にあっては、趣味の指導が出来る場を設け、高齢者の活躍できる場を作っていけば、老後の「楽しみ」につながり、「生きがい」にもなっていくのではないのでしょうか。豊かな自然、山も海もある賀茂地域では、釣りやマリンスポーツ、キャンプや山歩きなどのアクティビティを始めとする体験教室などが、「観光資源」になりえれば、一石二鳥の取り組みになるのではないかと考えたりもします。

また、伊豆縦貫自動車道の国道 414 号河津七滝 IC～河津逆川 IC 間が今年 3 月 19 日（日）に開通します。更に開通が進み、賀茂地域へのアクセスが快適になると、観光産業の復興の大きな足掛かりとなる可能性が大いにあります。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、伊豆半島各地の観光産業も大きな打撃を受け、宿泊施設や飲食店の減少や従業員の解雇などが進んで疲弊した賀茂地域を魅力的に発展させていくのに非常に重要な礎です。観光産業を中心に、雇用、流入人口を増やし発展を遂げるために、もっと官民一体となって努力していく必要があるのではないのでしょうか。

伊豆半島創造研究所 スタッフ一同

資料編①業務スケジュール

日付	内容	備考
令和4年6月27日	見積提出	
〃 6月30日	契約	
〃 7月25日	打ち合わせ	賀茂地域局①
〃 8月2日	打ち合わせ	賀茂地域局②
〃 9月1日	学生アンケート配布	
〃 9月5日	打ち合わせ	賀茂地域局③
〃 9月15日	学生アンケート回収完了	
〃 9月20日	打ち合わせ	賀茂地域局④
〃 10月1日	二十歳の若者アンケート (web) 開始	
〃 10月27日	打ち合わせ	賀茂地域局⑤
〃 11月10日	打ち合わせ	賀茂地域局⑥
〃 11月16日	打ち合わせ	賀茂地域局⑦
〃 12月1日	住民アンケート配布開始 (webアンケート開始)	
〃 12月7日	伊豆新聞広告記事掲載	
〃 12月21日	打ち合わせ	賀茂地域局⑧
〃 12月28日	住民アンケート回収完了 (webアンケート受付終了)	
令和5年1月8日	二十歳の集いにてwebアンケート呼びかけ (東伊豆町、河津町、下田市、南伊豆町、松崎町の各会場)	
〃 1月10日	打ち合わせ 二十歳の若者アンケート (web) 受付終了	賀茂地域局⑨
〃 2月1日	打ち合わせ	賀茂地域局⑩
〃 2月21日	打ち合わせ	賀茂地域局⑪
〃 3月10日	賀茂地域住民アンケート調査報告会	賀茂キャンパス
〃 3月24日	納品	

小学校のみなさんへ

「みんなの未来づくりアンケート」のお願い

このアンケートは、賀茂地域が今よりもっと「住みたいまち、働きたいまち」を目指(めざ)す資料作りを目的として協力をお願いしています。

※対象は、賀茂地域の19小学校、8中学校、3高校のそれぞれ最終学年生徒のみなさんです。

まずはじめに☑してください。
あなたは 男性 女性 その他() 回答しない

1 あなたは賀茂地域が好きですか？

※賀茂地域(かもちいき)とは東伊豆、河津、下田、南伊豆、松崎、西伊豆のことです。

はい いいえ

その理由はどうしてですか？

たとえば：海や山がきれいだから 周り(まわり)の人がやさしいから など

2 今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

住んでいたい 他の地域がいい

その理由はどうしてですか？

3 あなたは賀茂地域にどんな仕事があるのかをどうやって知りましたか？ (該当するものの番号に○をつけてください。何個でも可)

1. 家族から聞く
2. 学校の先生等から聞く
3. 先輩(せんぱい)や友人から聞く
4. 新聞、テレビから知る
5. インターネットから知る
6. カモスマ(賀茂のカリスマ：静岡県 Youtube 動画等)
7. その他

注意！裏面に続きます➡

4 将来やりたい仕事や、なりたい職業を思い浮かべてください。
その仕事は、賀茂地域にあると思いますか？

あると思う ないと思う

その仕事は具体的にどんな名前の職業ですか？

5 もしもの話です。あなたの好きなことで、賀茂地域で将来お金を稼(かせ)いで生活できるとしたら、それはどんなことですか？

6 静岡県が2年連続移住したい都道府県1位に選ばれましたが、そのことについてどう感じますか？

※認定NPO法人ふるさと回帰センター調べ(2020年、2021年)

誇(ほこ)らしく思う そうだろうと思う
驚(おどろ)いた 興味がない



ご協力ありがとうございました！

中学校のみなさんへ

「みんなの未来づくりアンケート」のお願い

このアンケートは、賀茂地域が今よりもっと「住みたいまち、働きたいまち」を目指す資料作りを目的として協力をお願いしています。

※対象は、賀茂地域の19小学校、8中学校、3高校のそれぞれ最終学年生徒のみなさんです。

まずはじめに☑してください。
あなたは 男性 女性 その他() 回答しない

1 あなたは賀茂地域が好きですか？

※賀茂地域とは東伊豆、河津、下田、南伊豆、松崎、西伊豆のことです。

はい いいえ

その理由はどうしてですか？

たとえば：海や山がきれいだから 周りの人がやさしいから など

2 今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

住んでいたい 他の地域がいい

その理由はどうしてですか？

3 あなたは賀茂地域にどんな仕事があるのかをどうやって知りましたか？ (該当するものの番号に○をつけてください。何個でも可)

1. 家族から聞く
2. 学校の先生等から聞く
3. 先輩や友人から聞く
4. 新聞、テレビから知る
5. インターネットから知る
6. カモスマ(賀茂のカリスマ：静岡県 Youtube 動画等)
7. その他

注意！裏面に続きます➡

4 将来やりたい仕事や、なりたい職業を思い浮かべてください。
その仕事は、賀茂地域にあると思いますか？

あると思う ないと思う

その仕事は具体的にどんな名前の職業ですか？

5 もしもの話です。あなたの好きなことで、賀茂地域で将来お金を稼いで生活できるとしたら、それはどんなことですか？

6 静岡県が2年連続移住したい都道府県1位に選ばれましたが、そのことについてどう感じますか？

※認定NPO法人ふるさと回帰センター調べ(2020年、2021年)

誇らしく思う そうだろうと思う

驚いた 興味がない

7 最後にあなたの進路(第一希望)について教えてください。

賀茂地域の高校に進学する予定

賀茂地域以外の県内の高校に進学する予定

県外の高校に進学する予定

その他



ご協力ありがとうございました！

高校のみなさんへ

「みんなの未来づくりアンケート」のお願い

このアンケートは、賀茂地域が今よりもっと「住みたいまち、働きたいまち」を目指す資料作りを目的として協力をお願いしています。

※対象は、賀茂地域の19小学校、8中学校、3高校のそれぞれ最終学年生徒のみなさんです。

まずはじめに☑してください。
あなたは 男性 女性 その他() 回答しない

1 あなたは賀茂地域が好きですか？

※賀茂地域とは東伊豆、河津、下田、南伊豆、松崎、西伊豆のことです。

はい いいえ

その理由はどうしてですか？

たとえば：海や山がきれいだから 周りの人がやさしいから など

2 今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

住んでいたい 他の地域がいい

その理由はどうしてですか？

3 あなたは賀茂地域にどんな仕事があるのかをどうやって知りましたか？ (該当するものの番号に○をつけてください。何個でも可)

1. 家族から聞く
2. 学校の先生等から聞く
3. 先輩や友人から聞く
4. 新聞、テレビから知る
5. インターネットから知る
6. カモスマ(賀茂のカリスマ：静岡県のYoutube動画等)
7. その他

注意！裏面に続きます👉

4 将来やりたい仕事や、なりたい職業を思い浮かべてください。
その仕事は、賀茂地域にあると思いますか？

あると思う ないと思う

その仕事は具体的にどんな名前の職業ですか？

5 もしの話です。あなたの好きなことで、賀茂地域で将来お金を稼いで生活できるとしたら、それはどんなことですか？

6 静岡県が2年連続移住したい都道府県1位に選ばれましたが、そのことについてどう感じますか？

※認定NPO法人ふるさと回帰センター調べ(2020年、2021年)

誇らしく思う そうだろうと思う
 驚いた 興味がない

7 最後にあなたの進路(第一希望)について教えてください。

県内の大学に進学する予定
 県内の専門学校に進学する予定
 県外の大学に進学する予定
 県外の専門学校に進学する予定
 その他

大学はどんな学部、専門学校はどんな分野を目指していますか？



ご協力ありがとうございました！

管内市町長 様

静岡県賀茂地域局長

賀茂地域住民アンケート調査委託事業について

日頃より、県行政の推進につきまして御理解、御協力いただき、お礼申し上げます。

賀茂地域局では、平成28年度に賀茂地域の最高学年（小学校6年生、中学校3年生、高等学校3年生）を対象に学生アンケートを実施し、その結果をもとに「賀茂地域の将来像」を取りまとめ、令和元年度には、学生アンケートの他に、賀茂地域の全住民を対象とした住民アンケートを実施し、「賀茂の子」づくりに向けた取組を実施したところです。

本年度、調査対象であった生徒が再度最高学年となることから、令和元年度に引き続きアンケート調査を実施するとともに、二十歳を対象とした「二十歳の若者アンケート」を実施いたします。

つきましては、下記の内容について、御承知おきくださいますようお願いいたします。

記

- 1 事業名 賀茂地域住民アンケート調査委託事業
- 2 実施期間 令和4年6月30日から令和5年3月24日まで
- 3 事業内容
(1) アンケート調査

名称	目的	対象者
学生アンケート	「今後も賀茂地域に住みたい、働きたい」ことに関する若者世代の意向を調査	賀茂地域の小・中・高の最高学年
住民アンケート	学生アンケートの結果を踏まえた上で、「地域のあり方をどのように捉えるか」を調査	賀茂地域の全住民
二十歳の若者アンケート	進学や就職を通して、「賀茂地域に住む（住み続ける）」ことに関する意向を調査	二十歳の集い対象者

- (2) 結果分析・概要版の作成
 - ・各アンケート調査の分析
 - ・概要版（リーフレット）の作成
 - ・報告書の作成
- (3) 調査結果の広報
 - ・新聞への掲載
 - ・講演会等での説明

4 事業委託先 一般社団法人 伊豆半島創造研究所

5 学生アンケート

- (1) 実施時期 令和4年9月1日（木）から9月15日（木）まで
- (2) 対 象 小学校6年生、中学校3年生及び高等学校3年生
- (3) そ の 他 調査に係るアンケート用紙の配布・集計等につきましては、事業委託先より各学校へ御連絡いたします。

6 そ の 他 ・住民アンケート及び二十歳の若者アンケートについては、詳細が決まり次第お知らせいたします。
・本事業について、令和4年7月6日に開催した第31回賀茂地域広域連携会議にて情報提供しております。

担 当：地域課 福地
電話番号：0558-24-2204

賀地地第 21 号 - 2
令和 4 年 8 月 8 日

賀茂地域各市町教育委員会
教育長 様

静岡県賀茂地域局長

賀茂地域住民アンケートの実施について

日頃より、県行政の推進につきまして御理解、御協力いただき、お礼申し上げます。

賀茂地域局では、平成 28 年度に賀茂地域の最高学年（小学校 6 年生、中学校 3 年生、高等学校 3 年生）を対象に学生アンケートを実施し、その結果をもとに「賀茂地域の将来像」を取りまとめ、令和元年度には、学生アンケートの他に、賀茂地域の全住民を対象とした住民アンケートを実施し、「賀茂の子」づくりに向けた取組を実施したところです。

本年度、調査対象であった生徒が再度最高学年となることから、令和元年度に引き続きアンケート調査を実施するとともに、二十歳を対象とした「二十歳の若者アンケート」を実施いたします。

つきましては、下記の内容について、御承知いただき、学生アンケートについて各学校に周知いただきますよう、お願いいたします。

記

- 1 事業名 賀茂地域住民アンケート調査委託事業
- 2 実施期間 令和 4 年 6 月 30 日から令和 5 年 3 月 24 日まで

3 事業内容

(1) アンケート調査

名称	目的	対象者
学生アンケート	「今後も賀茂地域に住みたい、働きたい」ことに関する若者世代の意向を調査	賀茂地域の小・中・高の最高学年
住民アンケート	学生アンケートの結果を踏まえた上で、「地域のあり方をどのように捉えるか」を調査	賀茂地域の全住民
二十歳の若者アンケート	進学や就職を通して、「賀茂地域に住む(住み続ける)」ことに関する意向を調査	二十歳の集い対象者

(2) 結果分析・概要版の作成

- ・各アンケート調査の分析
- ・概要版（リーフレット）の作成
- ・報告書の作成

(3) 調査結果の広報

- ・新聞への掲載
- ・講演会等での説明

4 事業委託先 一般社団法人 伊豆半島創造研究所

5 学生アンケート

- (1) 実施時期 令和4年9月1日（木）から9月15日（木）まで
- (2) 対象 小学校6年生、中学校3年生及び高等学校3年生
- (3) その他 調査に係るアンケート用紙の配布・集計等につきましては、事業委託先より各学校へ御連絡いたします。

6 その他 住民アンケート及び二十歳の若者アンケートについては、詳細が決まり次第お知らせいたします。

担 当：地域課 福地
電話番号：0558-24-2204

賀地地第 21 号 - 3
令和 4 年 8 月 8 日

賀茂地域各高等学校 学校長 様

静岡県賀茂地域局長

賀茂地域住民アンケートの実施について

日頃より、県行政の推進につきまして御理解、御協力いただき、お礼申し上げます。

賀茂地域局では、平成 28 年度に賀茂地域の最高学年（小学校 6 年生、中学校 3 年生、高等学校 3 年生）を対象に学生アンケートを実施し、その結果をもとに「賀茂地域の将来像」を取りまとめ、令和元年度には、学生アンケートの他に、賀茂地域の全住民を対象とした住民アンケートを実施し、「賀茂の子」づくりに向けた取組を実施したところです。

本年度、調査対象であった生徒が再度最高学年となることから、令和元年度に引き続きアンケート調査を実施するとともに、二十歳を対象とした「二十歳の若者アンケート」を実施いたします。

つきましては、下記の内容について、御承知おきくださいますようお願いいたします。

記

- 1 事業名 賀茂地域住民アンケート調査委託事業
- 2 実施期間 令和 4 年 6 月 30 日から令和 5 年 3 月 24 日まで

3 事業内容

(1) アンケート調査

名称	目的	対象者
学生アンケート	「今後も賀茂地域に住みたい、働きたい」ことに関する若者世代の意向を調査	賀茂地域の小・中・高の最高学年
住民アンケート	学生アンケートの結果を踏まえた上で、「地域のあり方をどのように捉えるか」を調査	賀茂地域の全住民
二十歳の若者アンケート	進学や就職を通して、「賀茂地域に住む（住み続ける）」ことに関する意向を調査	二十歳の集い対象者

(2) 結果分析・概要版の作成

- ・各アンケート調査の分析
- ・概要版（リーフレット）の作成
- ・報告書の作成

(3) 調査結果の広報

- ・新聞への掲載
- ・講演会等での説明

4 事業委託先 一般社団法人 伊豆半島創造研究所

5 学生アンケート

- (1) 実施時期 令和4年9月1日（木）から9月15日（木）まで
- (2) 対象 小学校6年生、中学校3年生及び高等学校3年生
- (3) その他 調査に係るアンケート用紙の配布・集計等につきましては、事業委託先より各学校へ御連絡いたします。

6 その他 住民アンケート及び二十歳の若者アンケートについては、詳細が決まり次第お知らせいたします。

担 当：地域課 福地
電話番号：0558-24-2204

令和 4 年 8 月 15 日

賀茂地域各小中学校 学校長 様

一般社団法人 伊豆半島創造研究所
代 表 理 事 田 中 豊

賀茂地域住民アンケートの実施について

日頃より、当所の活動に関しまして御理解、御協力いただき、お礼申し上げます。さて、賀茂地域局では、平成 28 年度に賀茂地域の最高学年（小学校 6 年生、中学校 3 年生、高等学校 3 年生）を対象に学生アンケートを行い、その結果をもとに「賀茂地域の将来像」を取りまとめ、令和元年度には、学生アンケートの他に、賀茂地域の全住民を対象とした住民アンケートを実施し、「賀茂の子」づくりに向けた取組を実施してきました。

本年度は、調査対象であった生徒が再度最高学年となることから、令和元年度に引き続きアンケート調査を実施するとともに、二十歳を対象とした「二十歳の若者アンケート」も実施いたします。

この一連のアンケート事業につきまして、一般社団法人伊豆半島創造研究所で受託することとなりましたので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

- 1・実施期間 令和 4 年 9 月上旬～令和 4 年 9 月 15 日（完全回収）
- 2・対象生徒 貴校の最高学年全生徒
- 3・回収日 令和 4 年 9 月 15 日までに担当者が各校に回収に伺います。
※事前に回収可能な日をご連絡いただければ幸いです。
- 4・アンケート 別紙のとおり
- 5・事業主体 静岡県賀茂地域局 賀茂地域局長
担 当：地域課 福地 電話番号：0558-24-2204
- 6・実施者 (一社) 伊豆半島創造研究所
担 当：下田市（橋本・梅田）
東伊豆町（八巻・笠井）河津町（山田）
南伊豆町（安藤・渡辺・金崎）
西伊豆町（芹沢）松崎町（一瀬）

Tel 0558-36-4086 Fax 0558-36-4087

メール info@izu-soken.com

日中不在時の携帯 090-7676-1283（山田）

以上

資料編④学生アンケート配布先一覧

町村名	学校名	〒	住所	TEL	FAX	生徒数	部数	
東伊豆町	熱川小学校	413-0302	賀茂郡東伊豆町奈良本771-1	0557-23-0037	0557-23-2975	22	30	
	稲取小学校	413-0411	賀茂郡東伊豆町稲取614-1	0557-95-2020	0557-95-5101	37	45	
	熱川中学校	413-0302	賀茂郡東伊豆町奈良本1296-3	0557-23-0049	0557-23-2976	25	35	
	稲取中学校	413-0411	賀茂郡東伊豆町稲取1873	0557-95-2010	0557-95-5102	32	40	
	稲取高校	413-0412	賀茂郡東伊豆町稲取3012-2	0557-95-0175	0557-95-5172	79	90	
河津町	河津南小学校	413-0512	賀茂郡河津町笹原328-1	0558-34-0090	0558-34-0900	29	35	
	河津西小学校	413-0507	賀茂郡河津町湯ヶ野80-1	0558-36-8122	0558-36-8511	16	25	
	河津東小学校	413-0503	賀茂郡河津町見高1032	0558-34-0086	0558-34-0053	9	15	
	河津中学校	413-0504	賀茂郡河津町田中72-1	0558-34-0074	0558-34-1074	51	60	
下田市	下田小学校	415-0025	下田市5丁目3-1	0558-22-0055	0558-22-1630	33	40	
	大賀茂小学校	415-0038	下田市大賀茂1429	0558-22-0704	0558-22-0980	7	10	
	朝日小学校	415-0028	下田市吉佐美544	0558-22-0702	0558-22-6041	14	20	
	浜崎小学校	415-0014	下田市須崎1785-1	0558-22-0441	0558-22-0533	18	25	
	白浜小学校	415-0012	下田市白浜1324-1	0558-22-0860	0558-22-0862	14	20	
	稲生沢小学校	415-0032	下田市立野6-1	0558-22-0424	0558-22-1084	35	45	
	稲梓小学校	413-0704	下田市権原224	0558-28-0004	0558-28-1488	9	15	
	下田中学校	415-0037	下田市敷根765-1	0558-22-3443	0558-22-3444	129	140	
	下田高校	415-8527	下田市蓮台寺152	0558-22-3164	0558-23-0453	179	200	
南伊豆町	南伊豆東小学校	415-0152	賀茂郡南伊豆町湊243	0558-62-0303	0558-62-2955	17	25	
	南中小学校	415-0302	賀茂郡南伊豆町上賀茂80	0558-62-0032	0558-62-2950	25	35	
	南上小学校	415-0323	賀茂郡南伊豆町下小野640	0558-62-0255	0558-62-3002	9	15	
	南伊豆東中学校	415-0152	賀茂郡南伊豆町湊1721	0558-62-0458	0558-62-3741	22	30	
	南伊豆中学校	415-0302	賀茂郡南伊豆町上賀茂744-1	0558-62-0041	0558-62-3345	39	50	
	下田高校南伊豆分校	415-0306	賀茂郡南伊豆町石井58	0558-62-0103	0558-62-2799	17	25	
松崎町	松崎小学校	410-3612	賀茂郡松崎町宮内332	0558-42-0049	0558-42-0168	29	40	
	松崎中学校	410-3624	賀茂郡松崎町江奈307	0558-42-0143	0558-42-3485	44	55	
	松崎高校	410-3693	賀茂郡松崎町桜田188	0558-42-0131	0558-42-0587	73	85	
西伊豆町	仁科小学校	410-3514	賀茂郡西伊豆町仁科184	0558-52-0005	0558-52-2825	17	25	
	田子小学校	410-3515	賀茂郡西伊豆町1320	0558-53-0321	0558-53-2103	8	15	
	賀茂小学校	410-3501	賀茂郡西伊豆町宇久須836-2	0558-55-0018	0558-55-0119	9	15	
	西伊豆中学校	410-3513	賀茂郡西伊豆町中753-1	0558-52-0026	0558-52-2826	46	60	
						小学校合計	348	480
						中学校合計	388	470
						高校合計	348	400
						総合計	1,084	1,350

資料編⑤学生アンケート資料

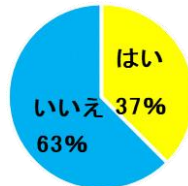
東伊豆町

Q1:今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

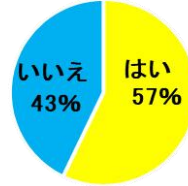
平成28年度
小学生



男(40)



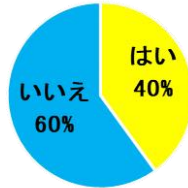
女(42)



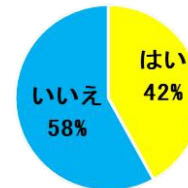
令和元年度
小学生



男(25)



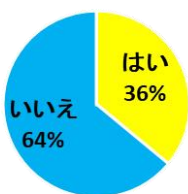
女(31)



令和4年度
小学生



男(25)



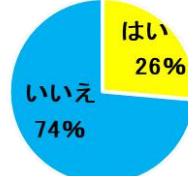
女(30)
わからない 7%



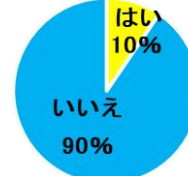
平成28年度
中学生



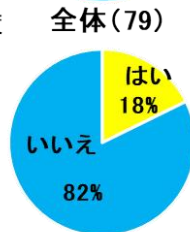
男(53)



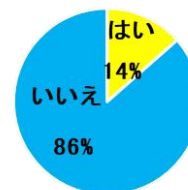
女(42)



令和元年度
中学生



男(37)



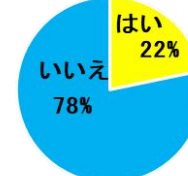
女(42)



令和4年度
中学生



男(23)



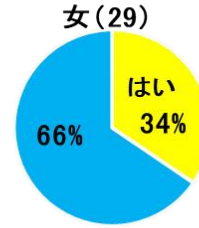
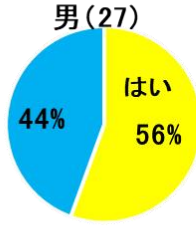
女(29)



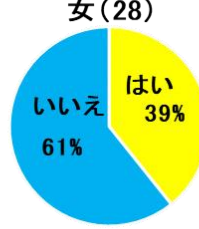
河津町

Q1:今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

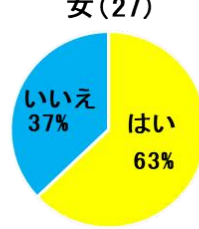
平成28年度
小学生



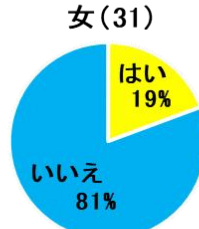
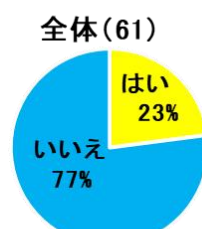
令和元年度
小学生



令和4年度
小学生



平成28年度
中学生



令和元年度
中学生



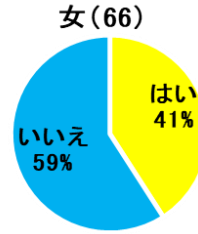
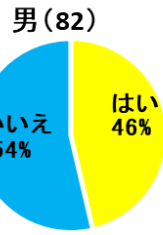
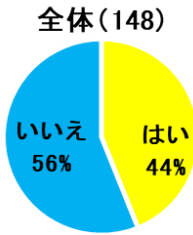
令和4年度
中学生



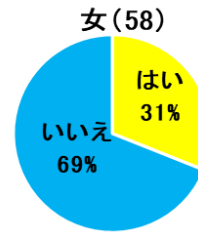
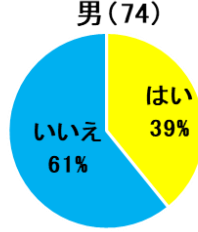
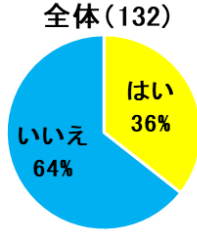
下田市

Q1:今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

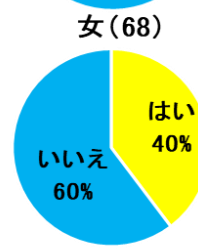
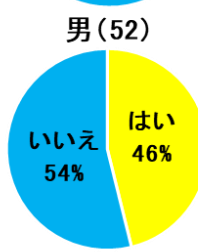
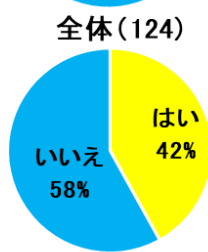
平成28年度
小学生



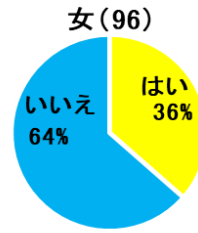
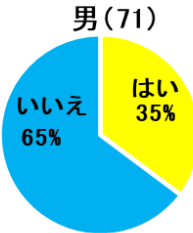
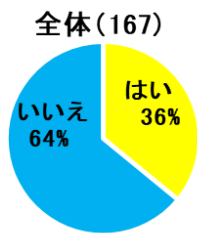
令和元年度
小学生



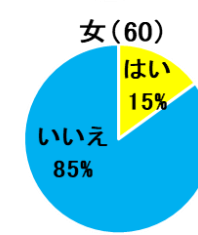
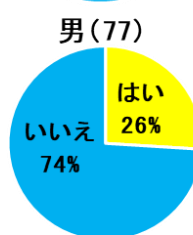
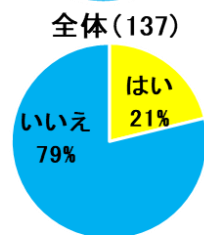
令和4年度
小学生



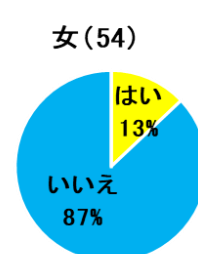
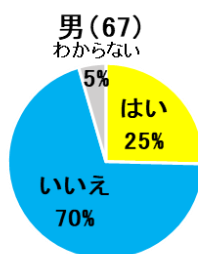
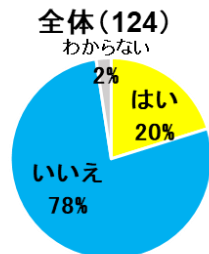
平成28年度
中学生



令和元年度
中学生



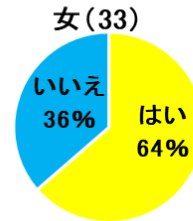
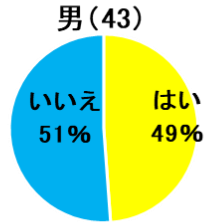
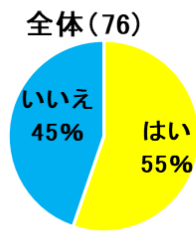
令和4年度
中学生



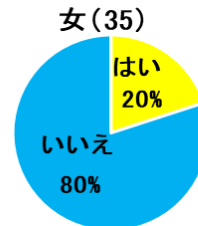
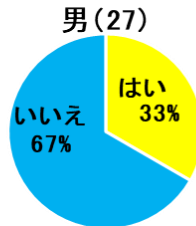
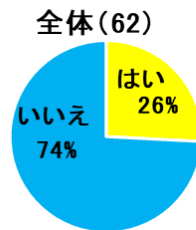
南伊豆町

Q1:今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでたいですか？

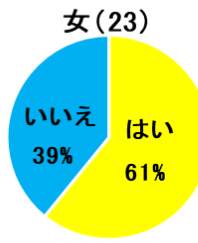
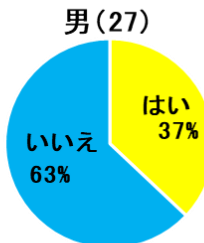
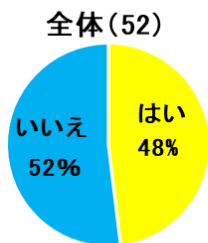
平成28年度
小学生



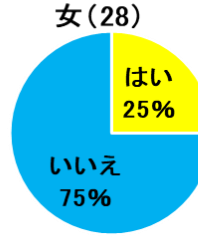
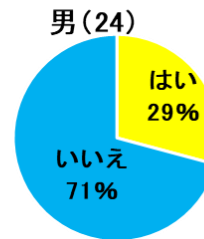
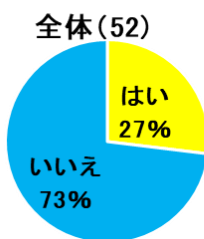
令和元年度
小学生



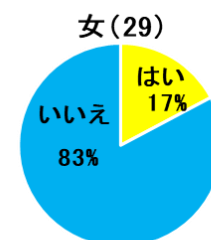
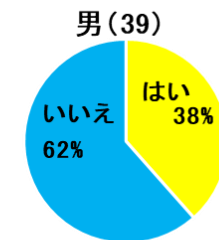
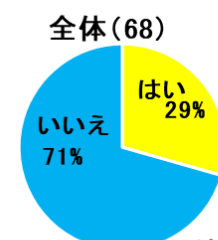
令和4年度
小学生



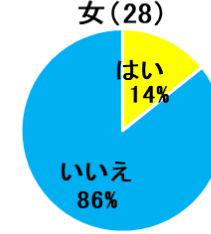
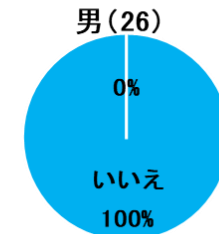
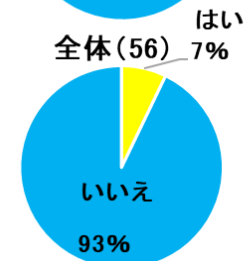
平成28年度
中学生



令和元年度
中学生



令和4年度
中学生



松崎町

Q1:今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

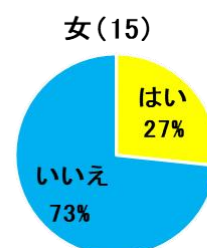
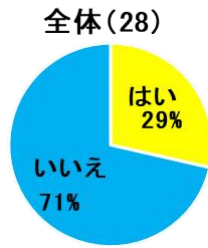
平成28年度
小学生



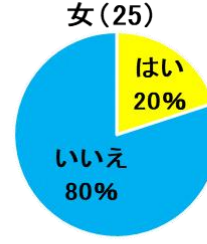
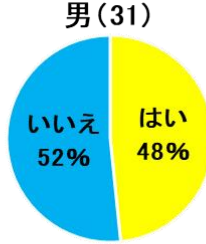
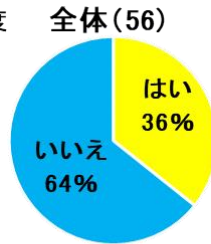
令和元年度
小学生



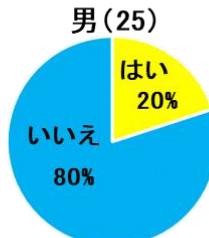
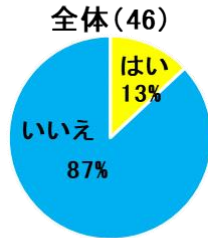
令和4年度
小学生



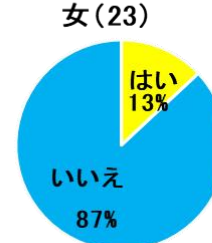
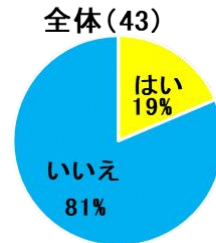
平成28年度
中学生



令和元年度
中学生



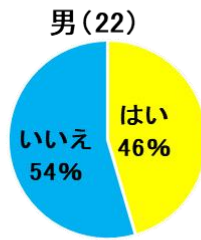
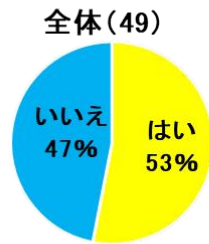
令和4年度
中学生



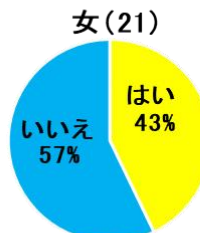
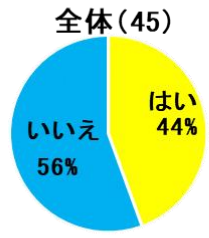
西伊豆町

Q1:今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

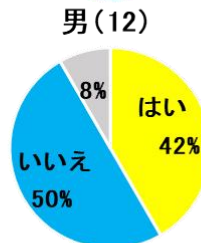
平成28年度
小学生



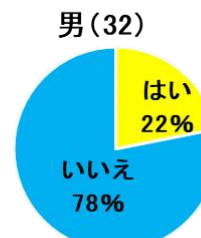
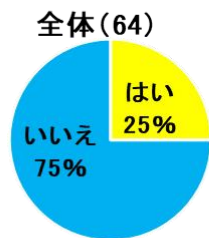
令和元年度
小学生



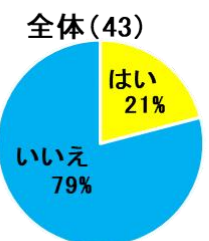
令和4年度
小学生



平成28年度
中学生



令和元年度
中学生



令和4年度
中学生



【賀茂地域局からアンケートのお願い】

～賀茂地域の学生の声を聞いて、皆さんの御意見をお聞かせください～

賀茂地域局では、平成28年度から3年毎に、賀茂地域の最終学年(小6、中3、高3)を対象に、「15年後に賀茂地域に住んでいたいかな」を問うアンケート調査を実施し、その結果をもとに「賀茂地域の将来像」を取りまとめてまいりました。今年で3回目となる調査を実施し、学生たちの反応をまとめましたので、このアンケート結果を皆さんに御覧いただき、賀茂地域のこれからについて、皆様の率直な御意見を伺いたいと思います。

webアンケートはこちら→<https://forms.gle/XgE25AaxcekXuS5v5>



- 問1 あなたは将来的にたくさんの人に地元に住んでほしいと思いますか。
- 問2 ① 問1で「はい」と答えた方にお伺いします。その理由を1つ選んでください。
② 問1で「いいえ」と答えた方にお伺いします。その理由を1つ選んでください。
- 問3 お子さんやお孫さんがいる場合にお伺いします。あなたのお子さんやお孫さんに将来的に地元に住んでほしいと思いますか？
- 問4 ① 問3で「はい」と答えた方にお伺いします。その理由を1つ選んでください。
② 問3で「いいえ」と答えた方にお伺いします。その理由を1つ選んでください。
- 問5 ① お子さんやお孫さんにどのような仕事に就いて欲しいですか？
② その理由は何ですか？
③ その仕事は賀茂地域にありますか？
- 問6 今回の調査で、子供たちは賀茂地域に将来やりたい仕事はあるが、「住んでたくない」という傾向が見られます。
将来的に子供たちが帰ってくるような地域にするには、どうすれば良いと思いますか？
(複数選択可)
- 問7 ① お住まいの市町の魅力を教えてください。
② その魅力は地域の方へ十分に伝わっていると思いますか？
③ 問7②で、「いいえ」と答えた方にお伺いします。
お住まいの市町の魅力をどのように発信すれば、地域の方に伝わると思いますか？
- 問8 ① 今後、観光資源に活用するために、あなたの趣味について教えてください。
あなたの趣味は何ですか？(複数回答可)
② その趣味は他人に指導することはできますか？

回答用紙(裏面もあります。)

あなたについて教えてください。該当する数字に○をつけてください。

性別 1:男 2:女 3:無回答	年代	1:10代 2:20代 3:30代 4:40代 5:50代 6:60代 7:70代以上
職種	1:会社員 2:会社役員 3:自営業 4:自由業 5:専業主婦(夫) 6:パート・アルバイト 7:公務員 8:学生 9:無職 ※4:自由業とは、デザイナー、ユーチューバー、投資家など、自分で働き方をコントロール出来る職種です。	
お住まいの地域	1:下田市 2:東伊豆町 3:河津町 4:南伊豆町 5:松崎町 6:西伊豆町	

問1 1:はい 2:いいえ

問2 ① 1:地域の暮らしを未来につなげるため 2:住んでいる人の気質が良い
3:地元の歴史・文化を残したい 4:豊かな自然など魅力が多い
5:その他

② 1:地震・津波がくる 2:働く場所がない 3:平穏な暮らしを壊されたくない
4:その他

問3 1:はい 2:いいえ

問4 ① 1:地域の暮らしを未来につなげるため 2:住んでいる人の気質が良い
3:地元の歴史・文化を残したい 4:豊かな自然など魅力が多い
5:その他

② 1:地震・津波が心配 2:この地域には若者が活躍できる場がない 3:地元はしがらみが多い
4:その他

問5 ① ・農林水産業(1農業 2畜産業 3林業 4漁業 5水産加工業)
・建設業(6建設 7土木 8建築 9その他)
・飲食、サービス業(10飲食業 11宿泊業 12その他)
・医療、福祉(13医師 14看護師 15その他)
・教育関係(16教師 17保育士 18その他)
19会社員 20公務員 ・その他(21美容系 22動物・ペット系 23芸能系)
24上記以外

② 1:家業のため 2:やりがいがあるため 3:地域へ貢献できるため 4:給与が高いため
5:その他

③ 1:はい 2:いいえ

裏面へ

- 問6 1:交通網の整備 2:空き家を活用した町おこし 3:魅力的な商業施設の誘致
4:子育てがしやすい環境整備 5:仕事と趣味が両立できる環境整備
6:地域の文化や伝統を継承し、発信する 7:美しい風景や自然を守る
8:メジャーな企業の誘致
9:その他

- 問7 ① 1:豊かな自然 2:住んでいる人の気質が良い 3:歴史や文化が素晴らしい
4:仕事と趣味が両立しやすい 5:ビジネスチャンスがある
6:その他

- ② 1:はい 2:いいえ

- ③ 1:学校教育 2:メディアで発信 3:SNSで発信 4:市町や県の施策
5:その他

- 問8 ① 1:サーフィン 2:カヤック 3:釣り 4:自転車 5:ハイキング、山歩き 6:キャンプ 7:野球
8:サッカー 9:テニス 10:農園芸 11:カメラ 12:絵画 13:音楽鑑賞 14:演奏 15:料理
16:陶芸 17:歴史 18:手芸 19:読書 20:ダンス、踊り 21:映画鑑賞 22:お茶 23:お花
24:旅行 25:SNS 26:動画配信 27:ゲーム 28:eスポーツ 29:まちおこし 30:特になし
31:その他

- ② 1:指導できる 2:指導方法を教えてもらえばできる
3:グループの一員としてなら可能 4:趣味は個人的にするものである 5:指導できない

◆全般的にその他ご意見がございましたらお書きください



ご協力ありがとうございました！

アンケート回収期日 令和4年12月28日
アンケート配布、回収場所 ・賀茂地区の各商工会 ・下田商工会議所
・下田総合庁舎1階ロビー ・カネサ鯉節商店(西伊豆町)
・下賀茂熱帯植物園(南伊豆町) ・伊豆バス(松崎町)

主体事業者:静岡県賀茂地域局
事業:賀茂地域住民アンケート調査委託事業

(実施者、お問い合わせ先)
一般社団法人伊豆半島創造研究所
0558-36-4086 担当:内田 山田

令和4年度学生アンケートの結果および、前回調査との比較

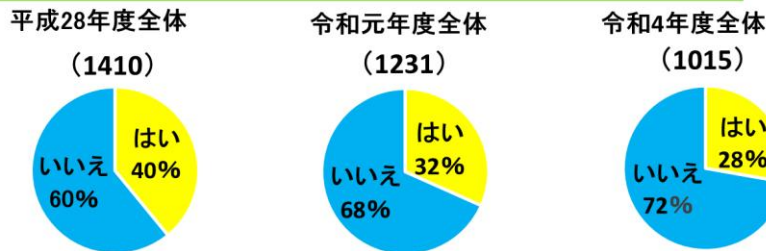
配布先 : 賀茂地域内の小、中、高 全31校
 実施期間 : 令和4年9月1日～9月15日
 対象者数 : 1085 回答者数 :1027 回答率94.7%

平成28年度に始まった、賀茂地域の学生アンケートも今回で3回目となりました。
 伊豆半島でもオリンピックの開催があり、外向けにアピールする一方、新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光地としての経済の停滞にも大いに苦しんだ時期でした。
 学生たちも抑圧された学校生活を体験した中で、どのように賀茂地域をとらえているのか？
 賀茂地域に対する思いがどのように変化したのかを調査しました。

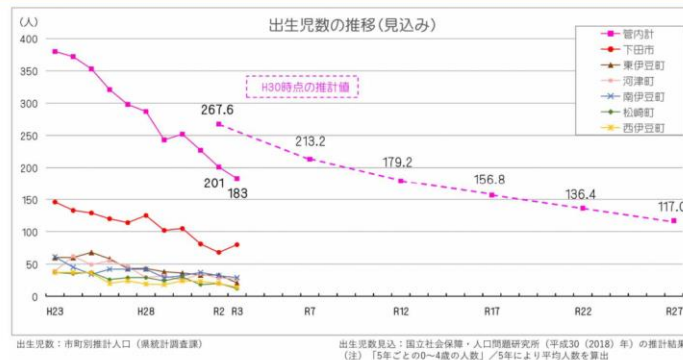
Q1 あなたは賀茂地域が好きですか？

各学年共に、地域への愛着が強く、特に賀茂地域が好きと答えた小学生は95%、中学生は77%、高校生は87%となり、特に河津町や松崎町の小学生は100%を記録しました。
 賀茂地域が好きなのは、海や山を中心とした自然への愛着が多くを占め、好環境に身を置いている意識が高くなっています。

Q2 今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

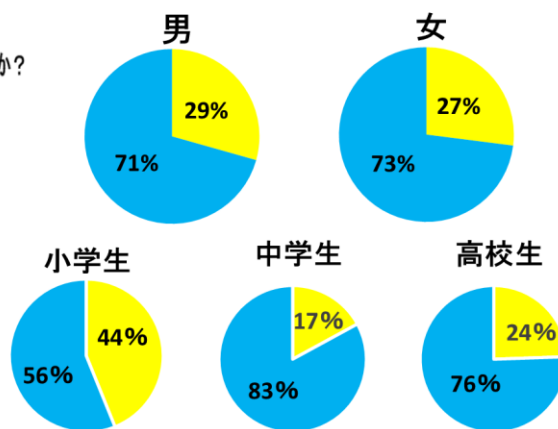
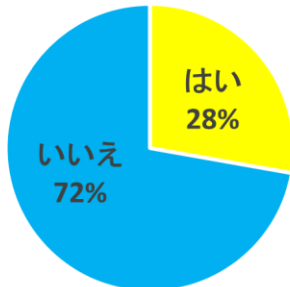


調査を開始してから「住んでいたい」が減ってきている状況で、今回の調査では更に4ポイント減少しました。

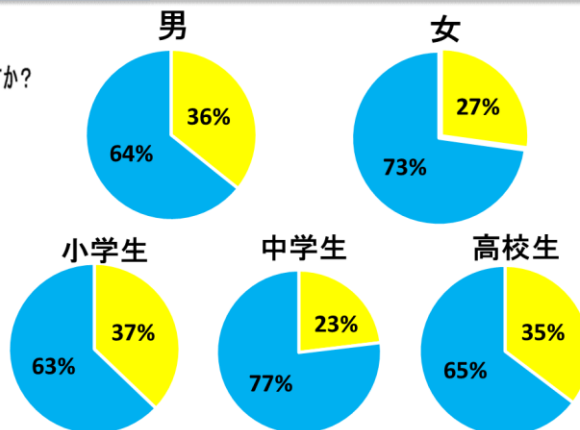
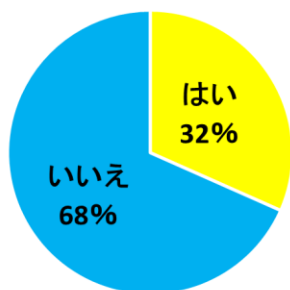


賀茂地域の出生数の推移について、国立社会保障・人口問題研究所の資料によると令和27年から先、5年間の出生数の平均は117人と推測されています。また、平成30年度作成時点の推計値267.6人に対し、実際には201人と、推計よりも急激な減少を見せています。
 子供たちのUターンを促す政策や試みは必須だが、同時に出生数の減少スピードを和らげる為に出来る事を考えるのも急務であります。

令和4年度
今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？



令和元年度
今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

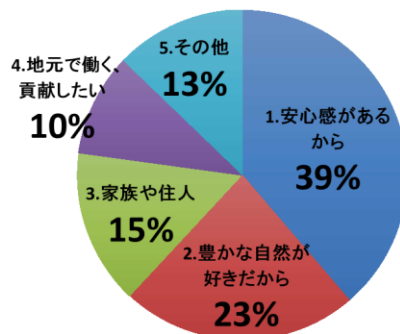


前回調査と比べ、中学、高校は「住んでいきたい」が増える結果となったが、小学生は「住んでいたい」が7ポイント上昇し、河津の男女、南伊豆の女子は「住んでいきたい」が「住んでたくない」を上回りました。
男女比較では、「住んでたくない」が男子で7ポイント増える結果となりました。

「はい」住んでいたい理由

住んでいたい理由は「安心感がある」、「豊かな自然が好き」、「家族や住人」の順で、恵まれた環境に身を置き、住人を含めた地元の雰囲気を良しとする学生が多い。

令和4年度調査結果 住んでいたい理由



☆安心感がある

- ・家族が出来たら安心して暮らせそうだから
- ・都会は遊びに行く程度でいい。住み慣れているから
- ・静かで落ち着く。慣れていて道にも迷わない

☆豊かな自然が好き

- ・自然がいっぱいで海、山がきれいで色々なことを学べる。他では学べないことがある
- ・自然がたくさんで、静かだから
- ・釣りが出来るから

☆家族や仲間が居るから

- ・地域の人との関わりを大切にしながら生活していきたいから
- ・親がいるから

☆その他

- ・もっと人気で有名な街にしたいから
- ・この町を助けたいから
- ・事件などが少なく安心して住むことができる

[いいえ] 住んでいきたい理由

住んでいきたい理由は、「不便な田舎」、「外の世界への憧れ」、「仕事や夢を外に求める」回答が91%となった。

交通網、大型商業施設を求める声が多く、外の世界への憧れが増大する結果となった。

★田舎は不便過ぎる

- ・田舎はもう十分だから 不便だから
- ・子育てがしにくい 大きな病院がない
- ・遊ぶ場所が少ない、遠くに行くのにお金がかかりすぎる
- ・交通手段が少なく、外に出るのに時間が掛かるから

★将来の夢や仕事のため

- ・仕事を探すのに不便にも程があるから
- ・仕事が無い

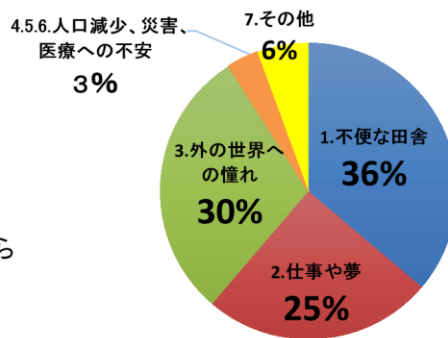
・近所のつきあいが好きではない

- ・他の所の方がなりたい職に就けるから
- ・県外で就職したいと考えているから

★都会や地域外への憧れ

- ・賀茂地域に残りたいという思いもあるけれど、将来、職につくと考えて外に出たほうが良いと思うから
- ・外に出ているんなことをしてみたいから
- ・一度は都会に住んでみたいから

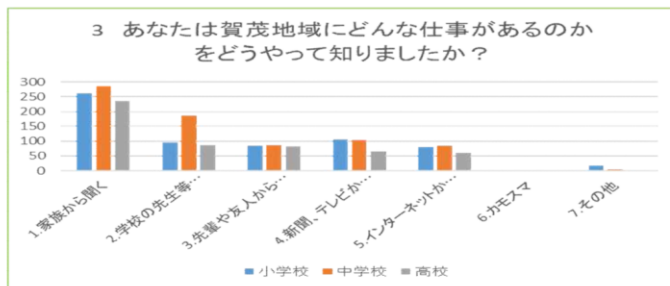
令和4年度調査結果 住んでいきたい理由



★その他

- ・他の所に住んで、久しぶりに帰ってくるとかがいい。
- ・他で色々経験してから戻って来たい
- ・津波や地震の対策に強い不安を感じるから
- ・多分下田に人がいなくなる

Q3 あなたは賀茂地域にどんな仕事があるのかをどうやって知りましたか？



各学年で最も多かったのが「家族から聞く」であり、家族がどのように情報を得ていて、子供たちにどのように伝えているのかを調査していきます。中学生が「学校の先生等に聞く」の比率が大変高くなっています。

資料編⑧住民アンケート依頼文

令和4年12月吉日

〇〇市 商工会議所 会頭 様
〇×町 商工会長 様

主体事業者：静岡県賀茂地域局
実 施 者：(一社)伊豆半島創造研究所
代表理事 田中 豊

「令和4年度賀茂地域住民アンケート調査委託事業」への協力について（お願い）

拝啓 晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、県事業に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

この度、貴市町小中学校（高校）の最高学年生徒へ、この地域をどう思うか、この地域に住み続けたいかなどについて「学生アンケート」を実施し、添付の「学生アンケート調査の分析結果」にまとめました。

今後は、今回の「学生アンケート調査の分析結果」を新聞やホームページなどで公表し、賀茂地域に通学している最高学年の子供たちの考え方や感じ方を受けて、賀茂地域の「住民アンケート」を実施して、どんな捉え方をするのか調査分析を行います。

つきましては、貴商工会議所（商工）会員の皆様や職員の皆様、住民の皆様にも「住民アンケート」に回答していただきたく、下記の内容にてお力添えをお願い申し上げます。

敬具

記

- 1・依頼期間 令和4年12月5日～令和4年12月20日
- 2・対象者 貴商工会議所会員（商工会員）様・職員の皆様・住民の皆様
- 3・回収日 令和4年12月21日以降に当所担当者が引き取りに伺います。
- 4・回収方法 「住民アンケート」は回収箱を用意しますので、受付に設置願います。
- 5・受付事務 〒415-0502 静岡県下田市二丁目12-17
(一社)伊豆半島創造研究所 担当者 内田・山田
電話 0558-36-4086 FAX0558-36-4087
Mail : info@izu-soken.com
携帯電話 090-7676-1283 (山田)
※日中に、事務所不在の場合は山田携帯電話までお願いいたします。
- 6・その他 別添 (A3紙二つ折り)
令和4年度学生アンケートの結果および、前回調査との比較
賀茂地域局からアンケートのお願いおよび、回答用紙(別紙A4紙)

以上

令和4年12月吉日

〇〇市町 教育委員長 様

主体事業者：静岡県賀茂地域局
実 施 者：(一社)伊豆半島創造研究所
代表理事 田中 豊

「令和4年度賀茂地域住民アンケート調査委託事業」への協力について（お願い）

拝啓 晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、県事業に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

この度の、貴市町小中学校最高学年生徒への「学生アンケート」に際しましては、ご協力いただきありがとうございました。集計したアンケートにつきましては、別添の分析結果となりましたので、ご報告させていただきます。

今後は、今回の「学生アンケート調査の分析結果」を新聞やホームページなどで公表し、賀茂地域に通学している最高学年の子供たちの考え方や感じ方を受けて、賀茂地域の「住民アンケート」を実施して、どんな捉え方をするのか調査分析を行います。

つきましては、今回の「学生アンケート」にお答えいただいた生徒様の親御さんにも、「住民アンケート」へ回答していただきたく、下記の内容にて引き続きのお力添えをお願い申し上げます。

敬具

記

- 1・依頼期間 令和4年12月5日～令和4年12月15日
- 2・対象者 「学生アンケート」に回答してくれた生徒の親御さん
- 3・回収日 令和4年12月19日（月曜日）までに当所が回収予定
- 4・回収方法 各学校依頼文に、貴教育委員会まで届けていただくようお願いしておりますので、当所が引き取りに伺うまでの保管をお願いいたします。
※全校分が集まりましたら、当所担当者が引き取りに伺います。
- 5・受付事務 〒415-0502 静岡県下田市二丁目12-17
(一社)伊豆半島創造研究所 担当者 内田・山田
電話 0558-36-4086 FAX0558-36-4087
Mail : info@izu-soken.com
携帯電話 090-7676-1283 (山田)
※日中に、事務所不在の場合は山田携帯電話までお願いいたします。
- 6・その他 別添 (A3紙二つ折り)
令和4年度学生アンケートの結果および、前回調査との比較
賀茂地域局からアンケートのお願いおよび、回答用紙(別紙A4紙)

以上

令和4年(2022年)12月14日 (水曜日) 日刊

県賀茂地域局

地元離れ 対策探る

一般住民対象にアンケート

賀茂地域局は、県内各地の移住促進を目的としたアンケート調査を実施している。市町の小学生、高校生を対象に本年実施したアンケート調査の結果を、子どもが育つ地域に「地元離れ」対策を探る。調査結果は本年12月14日(水曜日)の伊豆新聞に掲載する。調査結果は本年12月14日(水曜日)の伊豆新聞に掲載する。

2010年の国勢調査によると、全国で約100万人が「地元を離れて住む」と回答している。これは、1990年代後半から急激に増加している。賀茂地域局は、この「地元離れ」対策を探る。調査結果は本年12月14日(水曜日)の伊豆新聞に掲載する。

調査対象は、賀茂地域局管内の小学生、中学生、高校生。調査期間は、令和4年12月1日(水曜日)から12月15日(木曜日)まで。調査方法は、紙質アンケートとウェブアンケート。調査結果は、本年12月14日(水曜日)の伊豆新聞に掲載する。

調査結果は、本年12月14日(水曜日)の伊豆新聞に掲載する。



伊豆新聞 下田支社
〒411-0035
電話 0550-122122
FAX 0550-122122
松崎支所
電話 0550-142122
FAX 0550-142122
伊豆新聞本社
〒411-0004
伊豆市藤原1293-5
電話 0557-1361234
印刷部 0557-1361234
〒411-0004 伊豆市藤原1293-5



ウェブページ
QRコード

『賀茂地域局からアンケートのお願い』

令和4年12月8日掲載

～賀茂地区の学生の声を聞いて、皆様のご意見をお聞かせください～

令和4年度 学生アンケートの結果

配布先：賀茂地域内の小学校・中学校・高等学校 全31校
実施期間：令和4年9月1日～9月15日
対象者：小学6年生、中学3年生、高校3年生
対象者数：1,085人 回答者数：1,027人 回答率：94.7%

Q1. 今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

性別	小学生	中学生	高校生
全体	はい 28% いいえ 72%	はい 17% いいえ 83%	はい 24% いいえ 76%
男	はい 29% いいえ 71%	はい 17% いいえ 83%	はい 27% いいえ 73%


■全体で約7割の生徒が「住んでたくない」と答え、年代では中学生・高校生の割合が特に多い
※その他のアンケート結果は下記の配布・回収場所、webページでご覧いただけます

このアンケート結果を見て、あなたは、どう思いますか？
…率直な意見でのご協力をお願いします

アンケート配布・回収場所 ※回収期日=令和4年12月28日

賀茂地区の各商工会・商工会議所、カネサ軽節商店(西伊豆)、伊豆バス(松崎)
下賀茂熱帯植物園(南伊豆)、下田総合庁舎1階ロビー

Webからはこちら ⇒ <https://forms.gle/XgE25AaxcekXuS5v5>



二十歳を迎える皆様へ アンケートのお願い

皆様のふるさとである賀茂地域が将来にわたって新たな価値の創造・生き方が実現できる場所、少子高齢化の課題を克服し、持続可能な地域となるためのアイデアをいただきたく、WEBアンケートを実施します。

アンケート項目には、皆様自身の考えをお尋ねするものに加え、今年9月に実施した皆様の後輩である賀茂地域の小6、中3、高3の生徒へのアンケート結果を踏まえた項目もございますので、忌憚のないご意見をお寄せください。

是非ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

こちらを読み込んでください→



二十歳の若者アンケートURL→ <https://forms.gle/pminzVUNMm1raMg37>

事業主体：静岡県賀茂地域局

事業実施者：一般社団法人 伊豆半島創造研究所

ご不明な点がございましたら、こちらへ御連絡ください。 info@izusoken.com

二十歳を迎える皆様へ アンケートのお願い

本日はおめでとうございます。

皆様のふるさとである賀茂地域が将来にわたって新たな価値の創造・生き方が実現できる場所、少子高齢化の課題を克服し、持続可能な地域となるためのアイデアをいただきたく、WEBアンケートを実施します。

アンケート項目には、皆様自身の考えをお尋ねするものに加え、今年9月に実施した皆様の後輩である賀茂地域の小6、中3、高3の生徒へのアンケート結果を踏まえた項目もございますので、忌憚のないご意見をお寄せください。

是非ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

こちらを読み込んでください→



二十歳の若者アンケートURL→ <https://forms.gle/pminzVUNMm1raMg37>

事業主体：静岡県賀茂地域局

事業実施者：一般社団法人 伊豆半島創造研究所

ご不明な点がございましたら、こちらへ御連絡ください。 info@izusoken.com

管内各市町長 様
管内各市町教育委員会教育長 様

静岡県賀茂地域局長

賀茂地域住民アンケート調査委託事業について

日頃より、県行政の推進につきまして御理解、御協力いただき、お礼申し上げます。

また、9月に実施いたしました、各学校の最高学年を対象とした学生アンケートにつきましては、実施に御協力いただき、重ねて御礼申し上げます。

さて、この度、前述のアンケート結果を踏まえ、二十歳の若者アンケートを実施する運びとなりました。

つきましては、下記の内容について、御承知おきくださいますようお願いいたします。

記

1 二十歳の若者アンケート

- (1) 実施時期 令和4年10月～11月
- (2) 対 象 二十歳の集い対象者
- (3) 実施方法 WEB アンケート方式
- (4) そ の 他 調査に係る説明・広報チラシの配布につきましては、事業委託先（一般社団法人伊豆半島創造研究所）より各教育委員会担当課へ御連絡いたします。

2 そ の 他 ・住民アンケートについては、詳細が決まり次第お知らせいたします。

- ・本事業について、令和4年7月6日に開催した第31回賀茂地域広域連携会議及び令和4年8月8日付け賀地地第21号通知より情報提供しております。

担 当：地域課 福地
電話番号：0558-24-2204

管内各市町長 様
管内各市町教育委員会教育長 様

静岡県賀茂地域局長

賀茂地域住民アンケート調査委託事業について

日頃より、県行政の推進につきまして御理解、御協力いただき、お礼申し上げます。

この度、9月に実施いたしました、各学校の最高学年を対象とした学生アンケートの結果を踏まえ、住民アンケートを実施する運びとなりました。

つきましては、下記の内容について、御承知おきいただくとともに、周知・回答の促進に御協力いただきますようお願いいたします。

記

1 住民アンケート

- (1) 実施時期 令和 4 年 12 月 1 日(木)～12 月 28 日(水)
- (2) 対 象 賀茂地域の全住民
- (3) 実施方法 アンケート用紙の配布及び WEB アンケート
- (4) そ の 他 ・調査に係るアンケート用紙は賀茂地区の各商工会、下田商工会議所等を通して配布いたします。
・配布、集計等につきましては、事業委託先（一般社団法人伊豆半島創造研究所）が実施いたします。

2 その他

本事業について、令和 4 年 7 月 6 日に開催した第 31 回賀茂地域広域連携会議及び令和 4 年 8 月 8 日付け賀地地第 21 号通知、令和 4 年 9 月 30 日付け賀地地第 30 号より情報提供しております。

担 当：地域課 福地
電話番号：0558-24-2204

綺麗な海・山・花・人情にあふれた伊豆の未来を見据えて

賀茂地域の将来を創造する 賀茂地域住民アンケート調査報告会

令和5年3月10日 15:30～16:30 (会場15:20)

会場：下田総合庁舎2階 賀茂キャンパス
(下田市中531-1)

入場無料

内 容

平成28年度から始まった賀茂地域の住民アンケートも、今年度で3回目を迎えました。賀茂地域内の小、中、高の全校の最高学年に回答してもらった「**学生アンケート**」・賀茂地域の全住民に向けて行った「**住民アンケート**」・賀茂地域（1市5町）の二十歳の集い対象者に回答いただいた「**二十歳の若者アンケート**」の**3つのアンケート結果を報告**いたします。

幅広い年代の意見を集計して、賀茂地域の将来を創造する可能性を探る機会にしたいと思っておりますので、お気軽にご参加ください。

今ここで地域の魅力を再発見するとともに、新しい賀茂地域を創造する機会を作りませんか！！

その他

- ・当日会場にお越しになれない場合はZOOMでのオンライン参加も可能です。
- ・参加申し込みはこちらから

↳<https://forms.gle/hqxmQGMm321F4iCZ9>



■ 本件に関する問合せ先 ■

受託事業者 一般社団法人 伊豆半島創造研究所

TEL0558-36-4086

主催：静岡県賀茂地域局

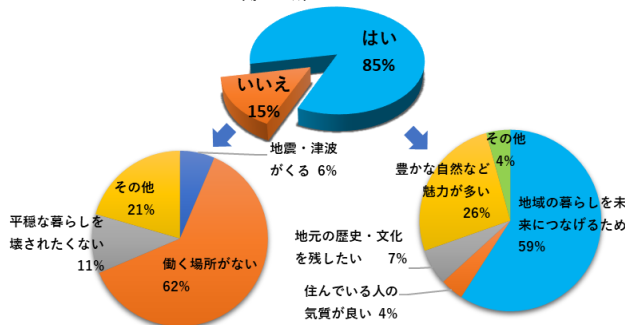
令和4年度 静岡県賀茂地域 住民意識調査 ● 住民アンケート

賀茂地域（1市5町）の最終学年（小6、中3、高3）を対象に行った「15年後に賀茂地域に住んでみたいか？」を問うアンケート調査の結果を元に賀茂地域の住民を対象としたアンケートを実施しました。

- 調査実施時期：令和4年12月1日～12月28日
- サンプル数（有効回答数）：1,021名

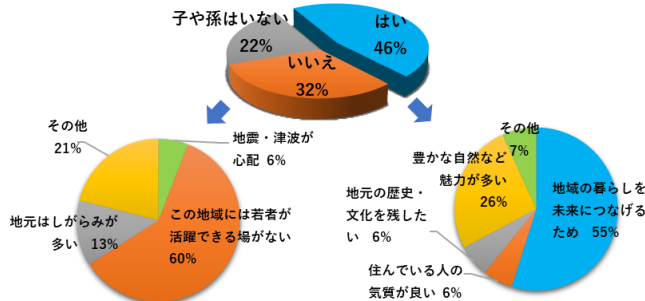
地域の暮らしを未来につなげるために
将来 賀茂地域にたくさんの人に住んでほしい

- Q 将来 たくさんの人に地元に住んでほしいと思いますか？
- はい 85% ～ 地域の暮らしを未来につなげるため 59%
- いいえ 15% ～ 働く場所がない 62%



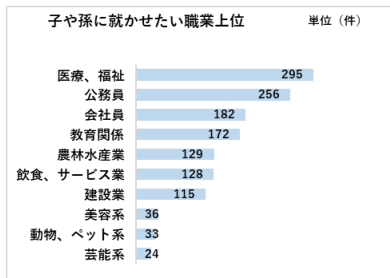
地域の暮らしを未来につなげるために
子や孫に将来、地元に住んでほしい

- Q 子供や孫に将来、地元に住んでほしいと思いますか？
- はい 46% ～ 地域の暮らしを未来につなげるため 55%
- いいえ 32% ～ 若者の活躍できる場がない 60%

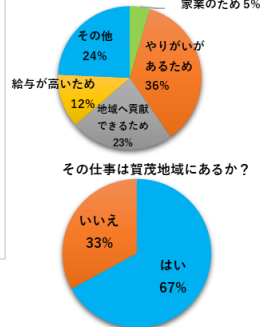


子や孫には、地元で安定した仕事についてほしい

- Q 子供や孫に将来、地元でどのような仕事に就いてほしいか？
- 上位は安定した仕事～医療福祉系、公務員、会社員、教育関係
- その理由は～ やりがい (36%)、地域貢献 (23%)
- 賀茂地域にそういう仕事はあるか？ ～ ある 67%



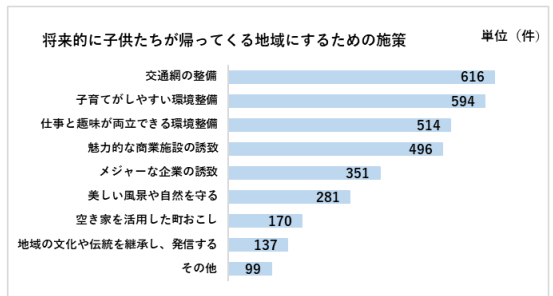
なぜその仕事に就いてほしいか？



将来、子や孫が帰ってくる地域にするための施策は？

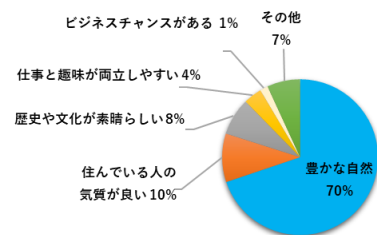
- 交通網の整備
- 子育て環境の整備
- 仕事と趣味が両立できる環境の整備
- 魅力的な商業施設の誘致

Q 将来 子供たちが帰ってくるような地域にするために施策とは？



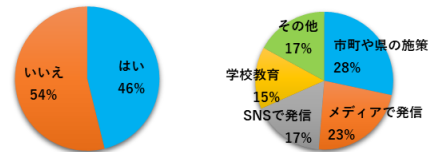
賀茂地域の魅力は、豊かな自然
市町や県の施策としての発信に期待

Q 地域の魅力とは何ですか？



Q 地域の魅力は地域の方へ十分伝わっていますか？

地域の魅力を地域の方へ伝えるのは、市町や県の施策 (28%)

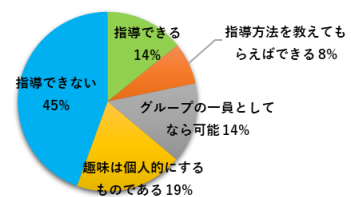


個人の趣味を観光資源に活かす

Q あなたの趣味は何ですか？

Q その趣味は他人に指導することはできますか？

なんらかの形で趣味を指導出来ると答えた方は全体の36%



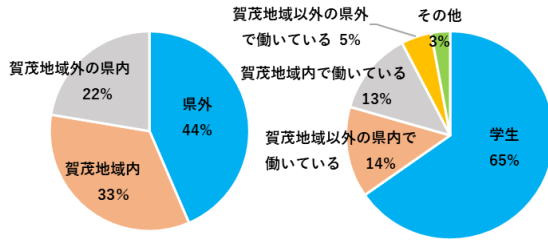
資料編⑮二十歳の若者アンケート概要版

令和4年度 静岡県賀茂地域 住民意識調査 ●二十歳の若者アンケート

賀茂地域（1市5町）の最終学年（小6、中3、高3）を対象に行った「15年後に賀茂地域に住んでいたいか？」を問うアンケート調査の結果を元に、二十歳を迎える若者を対象としたアンケートを実施しました。

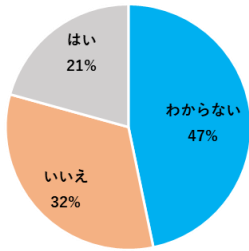
- 調査実施時期 令和4年10月1日～令和5年1月10日
- サンプル数（有効回答数）：169名

賀茂地域および県内外に在住する若者たちを対象

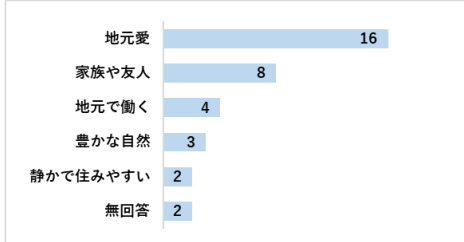


将来、賀茂地域で生活し続けたいか「わからない」、「いいえ」と回答した方が大半を占める

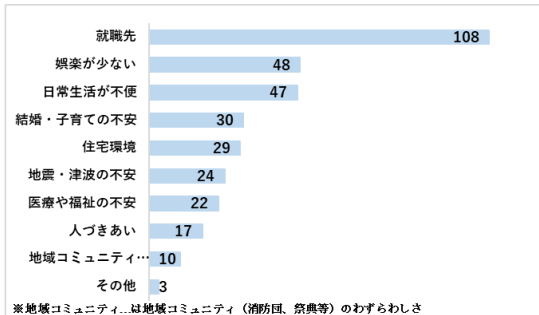
Q 将来 出身地、賀茂地域内で生活し続けたいと思いますか？



生活し続けたい理由は 地元愛や好環境を推す方が多い 単位（件）

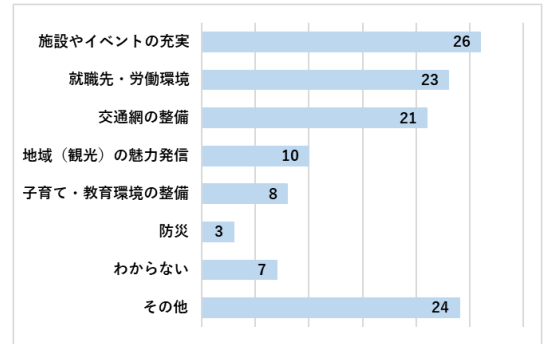


生活し続けたくない、わからない理由は、就職先への不安、娯楽の少なさ、日常生活の不便が多い 単位（件）



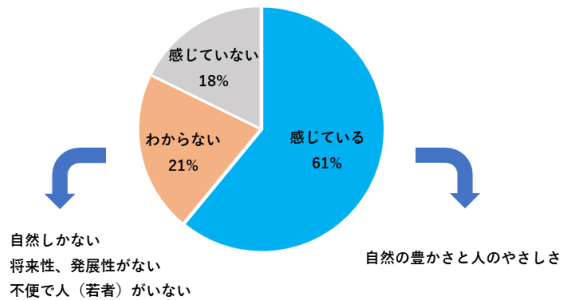
賀茂地域に住み続けるためには、安定した生活基盤と社会インフラの整備が求める回答が多数

Q 賀茂地域に住み続けるために必要なことはなんですか？ 単位（件）



「自然の豊かさ」と「人のやさしさ」が魅力と感じる一方、地域の将来性や発展性に不安を感じている

Q 賀茂地域に魅力を感じていますか？



魅力ある郷土だが、将来の生活したいかは「わからない」と回答する方が多数

Q 賀茂地域に魅力を感じている人に聞きました

